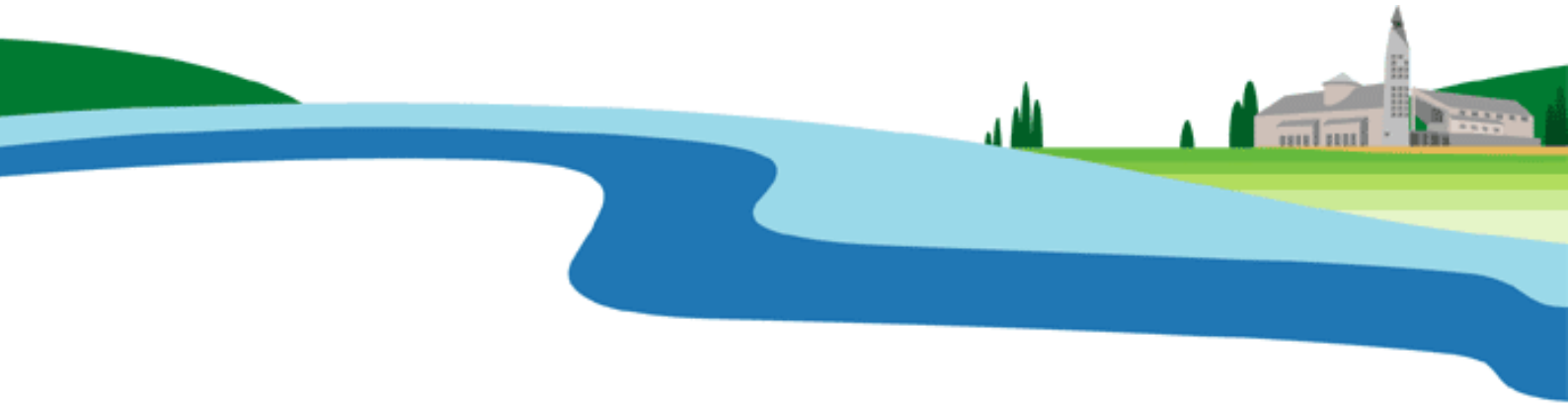
滋賀県立大学



滋賀県立大学
２０２２年度

講義概要（シラバス）

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo（https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/）で、ご確認ください。

目　　次

1110011 英語ＩＡ（活性化コース）（環境①）佐久間　思帆※ 前期 ・・・ 1
1110012 英語ＩＢ（活性化コース）（環境①）佐久間　思帆※ 後期 ・・・ 3
1110021 英語ＩＡ（活性化コース）（環境②）木村　紀子※ 前期 ・・・ 5
1110022 英語ＩＢ（活性化コース）（環境②）木村　紀子※ 後期 ・・・ 7
1110031 英語ＩＡ（活性化コース）（環境③）Matthew　Thornton※ 前期 ・・・ 9
1110032 英語ＩＢ（活性化コース）（環境③）Matthew　Thornton※ 後期 ・・・ 11
1110041 英語ＩＡ（活性化コース）（環境④）西澤　裕一※ 前期 ・・・ 13
1110042 英語ＩＢ（活性化コース）（環境④）西澤　裕一※ 後期 ・・・ 15
1110051 英語ＩＡ（活性化コース）（環境⑤）築地原　尚美※ 前期 ・・・ 17
1110052 英語ＩＢ（活性化コース）（環境⑤）築地原　尚美※ 後期 ・・・ 19
1110061 英語ＩＡ（活性化コース）（環境⑥）近藤　佑樹 前期 ・・・ 21
1110062 英語ＩＢ（活性化コース）（環境⑥）近藤　佑樹 後期 ・・・ 23
1110221 英語ⅡＡ（応用コース）（環境①）Jean-Baptiste M.B. SANFO 前期 ・・・ 25
1110222 英語ⅡＢ（応用コース）（環境①）Jean-Baptiste M.B. SANFO 後期 ・・・ 27
1110231 英語ⅡＡ（応用コース）（環境②）Ashley Stevens※ 前期 ・・・ 29
1110232 英語ⅡＢ（応用コース）（環境②）Ashley Stevens※ 後期 ・・・ 31
1110241 英語ⅡＡ（応用コース）（環境③）真島　アマンダ 前期 ・・・ 33
1110242 英語ⅡＢ（応用コース）（環境③）真島　アマンダ 後期 ・・・ 35
1110251 英語ⅡＡ（応用コース）（環境④）Alexandra Jane Burke※ 前期 ・・・ 37
1110252 英語ⅡＢ（応用コース）（環境④）Alexandra Jane Burke※ 後期 ・・・ 39
1110261 英語ⅡＡ（応用コース）（環境⑤）Karl Hedberg※ 前期 ・・・ 41
1110262 英語ⅡＢ（応用コース）（環境⑤）Karl Hedberg※ 後期 ・・・ 43
1110271 英語ⅡＡ（応用コース）（環境⑥）真島　アマンダ 前期 ・・・ 45
1110272 英語ⅡＢ（応用コース）（環境⑥）真島　アマンダ 後期 ・・・ 47
1110421 英語ⅢＡ（充実コース）（環境①）市場　史哉※ 前期 ・・・ 49
1110422 英語ⅢＢ（充実コース）（環境①）市場　史哉※ 後期 ・・・ 51
1110431 英語ⅢＡ（充実コース）（環境②）西澤　裕一※ 前期 ・・・ 53
1110432 英語ⅢＢ（充実コース）（環境②）西澤　裕一※ 後期 ・・・ 55
1110441 英語ⅢＡ（充実コース）（環境③）真田　満※ 前期 ・・・ 57
1110442 英語ⅢＢ（充実コース）（環境③）真田　満※ 後期 ・・・ 59
1110451 英語ⅢＡ（充実コース）（環境④）近藤　佑樹 前期 ・・・ 61
1110452 英語ⅢＢ（充実コース）（環境④）近藤　佑樹 後期 ・・・ 63
1110461 英語ⅢＡ（充実コース）（環境⑤）Janeth Hori※ 前期 ・・・ 65
1110462 英語ⅢＢ（充実コース）（環境⑤）Janeth Hori※ 後期 ・・・ 67
1110471 英語ⅢＡ（充実コース）（環境⑥）Jean-Baptiste M.B. SANFO 前期 ・・・ 69
1110472 英語ⅢＢ（充実コース）（環境⑥）Jean-Baptiste M.B. SANFO 後期 ・・・ 71
1110631 英語ⅣＡ（展開コース）（環境①）坂本　輝世 前期 ・・・ 73
1110632 英語ⅣＢ（展開コース）（環境①）坂本　輝世 後期 ・・・ 75
1110641 英語ⅣＡ（展開コース）（環境②）真島　アマンダ 前期 ・・・ 77
1110642 英語ⅣＢ（展開コース）（環境②）真島　アマンダ 後期 ・・・ 79
1110651 英語ⅣＡ（展開コース）（環境③）西堀　彰子※ 前期 ・・・ 81
1110652 英語ⅣＢ（展開コース）（環境③）西堀　彰子※ 後期 ・・・ 83
1110661 英語ⅣＡ（展開コース）（環境④）Jean-Baptiste M.B. SANFO 前期 ・・・ 85
1110662 英語ⅣＢ（展開コース）（環境④）Jean-Baptiste M.B. SANFO 後期 ・・・ 87
1110671 英語ⅣＡ（展開コース）（環境⑤）近藤　佑樹 前期 ・・・ 89
1110672 英語ⅣＢ（展開コース）（環境⑤）近藤　佑樹 後期 ・・・ 91
1110681 英語ⅣＡ（展開コース）（環境⑥）坂本　輝世 前期 ・・・ 93
1110682 英語ⅣＢ（展開コース）（環境⑥）坂本　輝世 後期 ・・・ 95
1130010 情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境a）森　將豪※ 前期 ・・・ 97
1130020 情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境b）山本　洋紀※ 前期 ・・・ 99
1130030 情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境c）森　將豪※ 前期 ・・・ 101
1130040 情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境d）山本　洋紀※ 前期 ・・・ 103
1130140 情報科学概論（環境a）森　將豪※ 後期 ・・・ 105
1130150 情報科学概論（環境b）山本　洋紀※ 後期 ・・・ 107
1130160 情報科学概論（環境c）森　將豪※ 後期 ・・・ 109
1130170 情報科学概論（環境d）山本　洋紀※ 後期 ・・・ 111
1150050 環境行動論 迫田　正美 前期 ・・・ 113
1150300 人間探求学（環境政策・計画） 学科教員 前期 ・・・ 115
1200050 ＧＩＳ演習 香川　雄一 後期 ・・・ 117
1200102 環境政策デザイン論・演習 瀧　健太郎 前期 ・・・ 119
1200150 応用数学 井手　慎司 後期 ・・・ 121
1200160 応用統計学Ⅰ 白木　裕斗 前期 ・・・ 123
1200170 応用統計学Ⅱ 村上　一真 後期 ・・・ 125
1200300 環境アセスメント 錦澤　滋雄※ 前期集中 ・・・ 127
1200330 環境会計 北田　真紀※ 前期 ・・・ 129
1200370 環境化学Ⅰ 丸尾　雅啓 前期 ・・・ 131
1200390 環境科学概論Ⅰ 小泉　尚嗣 前期 ・・・ 133
1200400 環境科学概論Ⅱ 瀧　健太郎 後期 ・・・ 135
1200440 環境学原論/ 村上　修一 前期 ・・・ 137
1200480 環境監査 池北　實※ 前期集中 ・・・ 139
1200555 環境経営学 高橋　卓也 後期 ・・・ 141
1200560 環境計画学 瀧　健太郎 後期 ・・・ 143
1200571 環境経済演習 林　宰司 後期 ・・・ 145
1200580 環境経済学 林　宰司 後期 ・・・ 147
1200581 環境経済学入門 高橋　卓也 前期 ・・・ 149

1200582 環境財政 村上　一真 前期 ・・・ 151
1200620 環境シミュレーション 井手　慎司 後期 ・・・ 153
1200630 環境社会学 平岡　俊一 後期 ・・・ 155
1200645 環境情報 白木　裕斗 後期 ・・・ 157
1200661 環境心理学 佐々木　和之※ 前期 ・・・ 159
1200665 環境水文学 大久保　卓也 前期 ・・・ 161
1200700 環境政策学 上河原　献二 後期 ・・・ 163
1200770 環境生物学Ⅰ 浦部　美佐子 後期 ・・・ 165
1200890 地球科学Ⅰ[環境地球科学Ⅰ] 堂満　華子 前期 ・・・ 167
1200960 環境フィールドワークⅠ 学部教員 前期 ・・・ 169
1200970 環境フィールドワークⅡ 学部教員 前期 ・・・ 171
1200980 環境フィールドワークⅢ 学部教員 通年集中 ・・・ 173
1200990 環境物理学Ⅰ 小泉　尚嗣 後期 ・・・ 175
1201039 環境法 上河原　献二 前期 ・・・ 177
1201060 環境マネジメント演習 高橋　卓也 前期 ・・・ 179
1201085 環境公正論 土屋　正春※ 前期 ・・・ 181
1201110 基礎数学Ⅰ 清瀬　周※ 前期 ・・・ 183
1201120 基礎数学Ⅱ 清瀬　周※ 後期 ・・・ 185
1201130 基礎統計 村上　一真 後期 ・・・ 187
1201160 景観計画 村上　修一 後期 ・・・ 189
1201170 経済学Ⅰ 林　宰司 後期 ・・・ 191
1201180 経済学Ⅱ（国際経済を含む） 村上　一真 前期 ・・・ 193
1201331 合意形成支援技法・演習 吉川　直樹 後期 ・・・ 195
1201380 国際環境資源論 高橋　卓也 後期 ・・・ 197
1201465 サスティナブルデザイン論 芦澤　竜一 前期 ・・・ 199
1201470 資源経済学 高橋　卓也 前期 ・・・ 201
1201550 市民参加論 平岡　俊一 後期 ・・・ 203
1201560 社会学 平岡　俊一 前期 ・・・ 205
1201621 社会システム分析設計・演習 和田　有朗 後期 ・・・ 207
1201630 社会調査実習（政策） 平岡　俊一 通年 ・・・ 209
1201790 森林環境学 野間　直彦 前期 ・・・ 211
1201930 政策計画演習Ⅰ 学科教員 前期 ・・・ 213
1201940 政策計画演習Ⅱ 学科教員 後期 ・・・ 215
1201950 政策計画演習Ⅲ 学科教員 前期 ・・・ 217
1201960 政策計画演習Ⅳ 学科教員 後期 ・・・ 219
1201961 政策計画基礎演習Ⅰ 学科教員 前期 ・・・ 221
1201962 政策計画基礎演習Ⅱ 学科教員 後期 ・・・ 223
1201970 政策形成・施設演習 学科教員 後期 ・・・ 225
1201980 政治学Ⅰ 松本　浩延※ 前期 ・・・ 227
1201990 政治学Ⅱ（国際政治を含む） 松本　浩延※ 後期 ・・・ 229
1202441 卒業研究Ⅰ（環境政策・計画） 学科教員 前期研究 ・・・ 231
1202442 卒業研究Ⅱ（環境政策・計画） 学科教員 後期研究 ・・・ 233
1202550 地域開発論 平山　奈央子 前期 ・・・ 235
1202580 地域環境政策論 香川　雄一 前期 ・・・ 237
1202640 地域システム論 和田　有朗 前期 ・・・ 239
1202660 地域調査法 香川　雄一 前期 ・・・ 241
1202670 地域調査法演習 香川　雄一 後期 ・・・ 243
1202710 地球環境システム論 上河原　献二 後期 ・・・ 245
1202750 動物生態学 高倉　耕一 後期 ・・・ 247
1202950 廃棄物管理論 吉川　直樹 前期 ・・・ 249
1203061 ファシリテーション技法・演習 平山　奈央子 後期 ・・・ 251
1203110 法学概論（国際法を含む） 坂田　雅夫※ 前期 ・・・ 253
1203150 水環境政策論 井手　慎司 前期 ・・・ 255
1300040 エネルギー変換工学 河﨑　澄 後期 ・・・ 257

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境①）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110011	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きくだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト（筆記式）と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に英文の暗唱テストを行います。

なお状況によりシラバスは変更になりますのでご了承ください。

到達目標

（１）語彙力の向上
（２）リスニング力の向上
（３）読解力の向上
（４）英語での思考力の向上
（５）英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%

学期末に講義で英文暗唱テストが行われます（定期テスト50点中10点分になります）
5回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません、自分で管理してください）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口優美子、柳田真知子	金星堂	978-4-7647-4089-1
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要であれば辞書を持参のこと

前提学力等

※２回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず１回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境①）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110011	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	英語の基礎事項の確認	基礎事項の確認	2		
				授業内容の復習	1
第2回	Unit1	Part3, 5, 7	2		
				授業内容の確認、音読	1
第3回	Unit1	Part1, 2, 4, 6	2		
				授業内容の確認、音読	1
第4回	Unit2	Part3, 5, 7	2		
				授業内容の確認、音読	1
第5回	Unit2	Part1, 2, 4, 6	2		
				授業内容の確認、音読	1
第6回	Unit3	Part3, 5, 7	2		
				授業内容の確認、音読	1
第7回	Unit3	Part1, 2, 4, 6	2		
				授業内容の確認、音読	1
第8回	Unit4	Part3, 5, 7	2		
				授業内容の確認、音読	1
第9回	Unit4	Part1, 2, 4, 6	2		
				授業内容の確認、音読	1
第10回	Unit5	Part3, 5, 7	2		
				授業内容の確認、音読	1
第11回	Unit5	Part1, 2, 4, 6	2		
				授業内容の確認、音読	1
第12回	Unit6	Part3, 5, 7	2		
				授業内容の確認、音読	1
第13回	Unit6	Part1, 2, 4, 6	2		
				授業内容の確認、音読	1
第14回	Unit7	Part3, 5, 7	2		
				授業内容の確認、音読	1
第15回	まとめ	まとめ	2	これまでの復習	

担当者から

※授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境①）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110012	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きくだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト（筆記式）と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に英文の暗唱テストを行います。

なお状況によりシラバスは変更になりますのでご了承ください。

到達目標

（１）語彙力の向上
（２）リスニング力の向上
（３）読解力の向上
（４）英語での思考力の向上
（５）英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	（１）語彙力10% （２）リスニング力10% （３）読解力10%

学期末に講義で英文暗唱テストが行われます（定期テスト50点中10点分になります）
5回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません、自分で管理してください）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口優美子、柳田真知子	金星堂	978-4-7647-4089-1
2				
3				

前期と同じ教科書です。前期受講した人は購入する必要はありません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要であれば辞書を持参のこと

前提学力等

※２回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず１回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境①）							担当教員	佐久間　思帆※
講義コード	1110012	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Unit7	Part1, 2, 4, 6	2	授業内容の確認、音読	1
第2回	Unit8	Part3, 5, 7	2	授業内容の確認、音読	1
第3回	Unit8	Part1, 2, 4, 6	2	授業内容の確認、音読	1
第4回	Unit9	Part3, 5, 7	2	授業内容の確認、音読	1
第5回	Unit9	Part1, 2, 4, 6	2	授業内容の確認、音読	1
第6回	Unit10	Part3, 5, 7	2	授業内容の確認、音読	1
第7回	Unit10	Part1, 2, 4, 6	2	授業内容の確認、音読	1
第8回	Unit11	Part3, 5, 7	2	授業内容の確認、音読	1
第9回	Unit11	Part1, 2, 4, 6	2	授業内容の確認、音読	1
第10回	Unit12	Part3, 5, 7	2	授業内容の確認、音読	1
第11回	Unit12	Part1, 2, 4, 6	2	授業内容の確認、音読	1
第12回	Unit13	Part3, 5, 7	2	授業内容の確認、音読	1
第13回	Unit13	Part1, 2, 4, 6	2	授業内容の確認、音読	1
第14回	Unit14	Part3, 5, 7	2	授業内容の確認、音読	1
第15回	まとめ	まとめ	2	これまでの復習	

担当者から

※授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、Twitter、Line等の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境②）							担当教員	木村　紀子※
講義コード	1110021	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

本授業の目的は、英語の話を聴き取る、読み取る、書く、話す技術を伸ばすことである。具体的には、身近な話題についての話を聴いて、ノートを取り、それに関する英文を読み、まとめや意見を書き、発表する技術を伸ばすことである。

到達目標

(1) 英語の語彙の意味を理解して、使用することができる。
(2) 英語の話を聴いて理解し、ノートを取ることができる。
(3) 英文を読んで、主旨を理解することができる。
(4) まとめや意見を、英語で書くことができる。
(5) まとめや意見を、英語で発表することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	10%	到達目標(1)～(4)について、試験を行う。
レポート課題		
上記以外	90%	到達目標(1)～(4)について、毎回の小テストと宿題を評価する。(60%) 到達目標各項目について、発表、授業中の活動・提出物を評価する。(20%) 到達目標(1)～(4)について、到達確認テストを行う。(10%)

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。
評価に関する重要な事柄が、初回の授業で説明されるので、必ず出席する必要がある。

授業外学習

毎回、宿題と小テストへの備えをする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 1 (Fourth Edition)	Helen Solorzano & Laurie Frazier	Pearson	978-0-13-440064-8
2				
3				

教科書は、新品（オンライン・リソース・アクセス・コードが未使用のもの）を購入しておき、必ず初回授業に持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境②）							担当教員	木村　紀子※
講義コード	1110021	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーション Psychology: Happiness	評価方法と授業の進め方を理解する 授業：　教科書2-11頁	2	新品の教科書（オンライン・リソー 授業で学習した内容を復習し、配布	 1
第2回	Psychology: Happiness 2	小テスト 授業：　教科書2-11頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第3回	Psychology: Happiness 3	小テスト 授業：　教科書2-11頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第4回	Psychology: Happiness 4	小テスト 授業：　教科書2-11頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第5回	Public health: Sleep 1	小テスト 授業：　教科書22-31頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第6回	Public health: Sleep 2	小テスト 授業：　教科書22-31頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第7回	Public health: Sleep 3	小テスト 授業：　教科書22-31頁	2	前回配布された宿題をして提出す 学期前半に学習した内容を復習し、	1 1
第8回	到達確認テスト 学習活動	到達確認テスト 英語の学習活動をする	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第9回	Business: Negotiating for success 1	小テスト 授業：　教科書32-41頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第10回	Business: Negotiating for success 2	小テスト 授業：　教科書32-41頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第11回	Business: Negotiating for success 3	小テスト 授業：　教科書32-41頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第12回	Engineering: Robots 1	小テスト 授業：　教科書52-61頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第13回	Engineering: Robots 2	小テスト 授業：　教科書52-61頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第14回	Engineering: Robots 3	小テスト 授業：　教科書52-61頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第15回	Engineering: Robots 4 その他の学習活動	小テスト 授業：　教科書52-61頁	2	前回配布された宿題をして提出す 学期後半に学習した内容を復習し、	1 1

担当者から

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境②）							担当教員	木村　紀子※
講義コード	1110022	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

本授業の目的は、英語の話を聴き取る、読み取る、書く、話す技術を伸ばすことである。具体的には、身近な話題についての話を聴いて、ノートを取り、それに関する英文を読み、まとめや意見を書き、発表する技術を学ぶことである。

到達目標

(1) 英語の語彙の意味を理解して、使用することができる。
(2) 英語の話を聴いて理解し、ノートを取ることができる。
(3) 英文を読んで、主旨を理解することができる。
(4) まとめや意見を、英語で書くことができる。
(5) まとめや意見を、英語で発表することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	10%	到達目標(1)～(4)について、試験を行う。
レポート課題		
上記以外	90%	到達目標(1)～(4)について、毎回の小テストと宿題を評価する。(60%) 到達目標各項目について、発表、授業中の活動・提出物を評価する。(20%) 到達目標(1)～(4)について、到達確認テストを行う。(10%)

４回以上欠席した場合は、評価の対象としない。
評価に関する重要な事柄が、初回の授業で説明されるので、必ず出席する必要がある。

授業外学習

毎回、宿題と小テストへの備えをする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 1 (Fourth Edition)	Helen Solorzano & Laurie Frazier	Pearson	978-0-13-440064-8
2				
3				

教科書は、前期に新品（オンライン・リソース・アクセス・コードが未使用のもの）を購入して使用していたものを、引き続き初回授業から使用す

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境②）							担当教員	木村　紀子※
講義コード	1110022	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーション Linguistics: A time	評価方法と授業の進め方を理解する 授業：　教科書12-21頁	2	教科書は、前期に新品（オンライン 授業で学習した内容を復習し、配布	 1
第2回	Linguistics: A time to learn 2	小テスト 授業：　教科書12-21頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第3回	Linguistics: A time to learn 3	小テスト 授業：　教科書12-21頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第4回	Linguistics: A time to learn 4	小テスト 授業：　教科書12-21頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第5回	Biology: Genetically modified food 1	小テスト 授業：　教科書72-81頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第6回	Biology: Genetically modified food 2	小テスト 授業：　教科書72-81頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第7回	Biology: Genetically modified food 3	小テスト 授業：　教科書72-81頁	2	前回配布された宿題をして提出す 学期前半に学習した内容を復習し、	1 1
第8回	到達確認テスト 学習活動	到達確認テスト 英語の学習活動をする	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第9回	Business: Design thinking 1	小テスト 授業：　教科書82-91頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第10回	Business: Design thinking 2	小テスト 授業：　教科書82-91頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第11回	Business: Design thinking 3	小テスト 授業：　教科書82-91頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第12回	Information technology 1	小テスト 授業：　教科書112-121頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第13回	Information technology 2	小テスト 授業：　教科書112-121頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第14回	Information technology 3	小テスト 授業：　教科書112-121頁	2	前回配布された宿題をして提出す 授業で学習した内容を復習し、配布	1 1
第15回	Information technology 4	小テスト 授業：　教科書112-121頁	2	前回配布された宿題をして提出す 学期後半に学習した内容を復習し、	1 1

担当者から

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境③）							担当教員	Matthew　Thornton※
講義コード	1110031	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

The purpose of this class is to cultivate various skills in English through activities based about topics of the selected TED talks. We will spend two classes per Unit in our textbook, covering the first half of the book. The students will give one presentation in front of class, turn in various short writing assignments, and take quizzes for each Unit. Please keep in mind that the class will take place entirely in English.

到達目標

1) By the end of the semester, you will be able to further reach the A2/B1 range (CEFR standard) in all four skills of English language. 2) You will have familarized yourself with various ideas offered by TED talks, to further your learning on your own in the future.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% - Class participation
30% - Quizzes
25% - Writing assignments

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage Learning	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境③）							担当教員	Matthew　Thornton※
講義コード	1110031	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric	90		
第2回	Unit 1	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第3回	Unit 1	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第4回	Unit 2	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第5回	Unit 2	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第6回	Unit 3	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第7回	Unit 3	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第8回	Unit 4	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第9回	Unit 4	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第10回	Unit 5	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第11回	Unit 5	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第12回	Unit 6	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第13回	Unit 6	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第14回	Presentation	Presentation in front of class	90		90
第15回	Presentation	Presentation in front of class	90		90

担当者から

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境③）							担当教員	Matthew　Thornton※
講義コード	1110032	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

The purpose of this class is to cultivate various skills in English through activities based about topics of the selected TED talks. We will spend two classes per Unit in our textbook, covering the first half of the book. The students will give one presentation in front of class, turn in various short writing assignments, and take quizzes for each Unit. Please keep in mind that the class will take place entirely in English.

到達目標

1) By the end of the semester, you will be able to further reach the A2/B1 range (CEFR standard) in all four skills of English language. 2) You will have familarized yourself with various ideas offered by TED talks, to further your learning on your own in the future.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% - Class participation
30% - Quizzes
25% - Writing assignments

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage Learning	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境③）							担当教員	Matthew　Thornton※
講義コード	1110032	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Course Introduction	Warming up to class by engaging in various activities	90		
第2回	Unit 7	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第3回	Unit 7	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第4回	Unit 8	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第5回	Unit 8	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第6回	Unit 9	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第7回	Unit 9	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第8回	Unit 10	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第9回	Unit 10	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第10回	Unit 11	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第11回	Unit 11	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第12回	Unit 12	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第13回	Unit 12	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第14回	Presentation	Presentation in front of class	90		90
第15回	Presentation	Presentation in front of class	90		90

担当者から

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境④）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110041	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

この授業では、TOEIC受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上を目標とします。　語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1.TOEICで高得点が狙えるような比較的短い時間で長文の内容を理解できる英語の読解力を身につけること。
2.TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力（特に基本的なビジネス英語の知識）を身につけること。
3.TOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
4.これらのTOEICについての学習を通じて各自の英語力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習（予習・復習）をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト　20%　　授業態度（授業への参加度）　15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど）の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったリスニング活動とそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Gear Up for the TOEIC Test	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子	金星堂	9784764739581
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
3	TOEIC L&R 出る単語特急金のフレーズ		朝日新聞出版	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境④）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110041	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス/Events (1)	授業の進め方の説明とTOEIC問題演習	90分	指定された教科書を授業までに必ず ガイダンスの内容をしっかりと理解	45 45
第2回	Events (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第3回	Eating Out (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第4回	Eating Out (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第5回	Shopping (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第6回	Shopping (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第7回	Office(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第8回	Office(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第9回	Housing (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第10回	Housing (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第11回	Community(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第12回	Community(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第13回	Facilities(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第14回	Facilities(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第15回	Personnel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第16回	Personnel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第17回	Meeting and Workshops (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第18回	Meeting and Workshops (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第19回	Transaction and Finance (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第20回	Transaction and Finance (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第21回	Travel　(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第22回	Travel　(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第23回	Health (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第24回	Health (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第25回	Letter and Email (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第26回	Letter and Email (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第27回	Ads and Notice (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第28回	Ads and Notice (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第29回	News (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第30回	News (2)/まとめ	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	

担当者から

TOEIC試験に向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。また適時TOEIC以外の内容も扱う予定です。とにかく授業に集中して、課題にも積極的に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境④）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110042	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

この授業では、TOEIC受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上を目標とします。　語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1.TOEICで高得点が狙えるような比較的短い時間で長文の内容を理解できる英語の読解力を身につけること。
2.TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力（特に基本的なビジネス英語の知識）を身につけること。
3.TOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
4.これらのTOEICについての学習を通じて各自の英語力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習（予習・復習）をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト　20%　　授業態度（授業への参加度）　15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど）の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったリスニング活動とそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Gear Up for the TOEIC Test	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子	金星堂	9784764739581
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
3	TOEIC L&R 出る単語特急金のフレーズ		朝日新聞出版	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境④）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110042	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス/Events (1)	授業の進め方の説明とTOEIC問題演習	90分	指定された教科書を授業までに必ず ガイダンスの内容をしっかりと理解	45 45
第2回	Events (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第3回	Eating Out (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第4回	Eating Out (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第5回	Shopping (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第6回	Shopping (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第7回	Office(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第8回	Office(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第9回	Housing (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第10回	Housing (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第11回	Community(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第12回	Community(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第13回	Facilities(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第14回	Facilities(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第15回	Personnel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第16回	Personnel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第17回	Meeting and Workshops (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第18回	Meeting and Workshops (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第19回	Transaction and Finance (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第20回	Transaction and Finance (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第21回	Travel　(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第22回	Travel　(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第23回	Health (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第24回	Health (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第25回	Letter and Email (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第26回	Letter and Email (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第27回	Ads and Notice (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第28回	Ads and Notice (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第29回	News (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第30回	News (2)/まとめ	語彙の確認とTOEIC問題演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	

担当者から

TOEIC試験に向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。また適時TOEIC以外の内容も扱う予定です。とにかく授業に集中して、課題にも積極的に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境⑤）							担当教員	築地原　尚美※
講義コード	1110051	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

ニュースの英語が読めるようになる。ニュースや時事英語に必要なボキャブラリーを身につけ、運用できるレベルまでになる。ニュースの音声に気をつけながら、シャドウィング、オーバーラッピング、リプロダクションできるようになる。ペアの人と確認をし合ったり、アプリ等を使って発音チェックをする。ニュースで扱われているトピックについてペアの人やグループの人と話し合う。またある意見について賛成か、反対か、について意見を交わし合い、さらにその結果を通じて自分がどう考えたのかについてまとまった文章を書いてみる。書いたものを共同推敲する。さらに出来上がった文章を皆の前でプレゼンテーションする。

到達目標

(1) ニュース英語を中心とした語彙力を身につける
(2) シャドウィングの訓練を用いたリスニング能力の向上
(3) チャンクリーディング速読の技術を用いたリーディング能力の向上
(4) 機械翻訳を取り入れ、内容、構造面に注目したライティング能力の向上
(5) ディスカッション、ディベートを目標とした、スピーキング能力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Reading testの点数　読解の理解度 Listening testの点数　聴解の理解度 Writing testの点数　ライティングの理解度
レポート課題		
上記以外	50	平常点 単語テストの点数 speakingのパフォーマンスの点数

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Develop Four Skills through English News	日本メディア英語学会他	三修社	9784384334951
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境⑤）							担当教員	築地原　尚美※
講義コード	1110051	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーションとUnit１(1)	授業の進め方　Unit 1　Japan Post to start test deliveries using drones	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第2回	Unit 1(2)	（単語小テスト、ライティング及びスピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第3回	Unit 2(1)	Unit 2　Toyosu market reels in 40,000 visitors on first public day	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第4回	Unit 2(2)	Unit 2 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第5回	Unit 3(1)	Unit 3 Foreign cooks flocking to Japanese culinary schools amid boom in cuisine's global popularity.（単語小テスト、リー	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第6回	Unit 3(2)	Unit 3 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第7回	Unit 4(1)	Unit 4 Solar-powered Flower Bed Automatically Water Plants （単語小テスト、リーディング・リスニング活動）	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第8回	Unit 4(2)	Unit 4 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第9回	Unit 5(1)	Unit 5 Facial looks top priority for Japanese in cosmetic surgery	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第10回	Unit 5(2)	Unit 5 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第11回	Unit 6(1)	Unit 6　Oita Prefecture temple holding study meetings on Islam to spread understanding	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第12回	Unit 6(2)	Unit 6 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第13回	Unit 7(1)	Unit7 Tiny orgamism that eats plastic spawns race its secrets （単語小テスト、リーディング・リスニング活動）	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第14回	Unit 7(2)	Unit7 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
			90		15 15

担当者から

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境⑤）							担当教員	築地原　尚美※
講義コード	1110052	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

ニュースの英語が読めるようになる。ニュースや時事英語に必要なボキャブラリーを身につけ、運用できるレベルまでになる。ニュースの音声に気をつけながら、シャドウィング、オーバーラッピング、リプロダクションできるようになる。ペアの人と確認をし合ったり、アプリ等を使って発音チェックをする。ニュースで扱われているトピックについてペアの人やグループの人と話し合う。またある意見について賛成か、反対か、について意見を交わし合い、さらにその結果を通じて自分がどう考えたのかについてまとまった文章を書いてみる。書いたものを共同推敲する。さらに出来上がった文章を皆の前でプレゼンテーションする。

到達目標

(1) ニュース英語を中心とした語彙力を身につける
(2) シャドウィングの訓練を用いたリスニング能力の向上
(3) チャンクリーディング速読の技術を用いたリーディング能力の向上
(4) 機械翻訳を取り入れ、内容、構造面に注目したライティング能力の向上
(5) ディスカッション、ディベートを目標とした、スピーキング能力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Reading testの点数　読解の理解度 Listening testの点数　聴解の理解度 Writing testの点数　ライティングの理解度
レポート課題		
上記以外	50	平常点 単語テストの点数 speakingのパフォーマンスの点数

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

(1) ニュース英語を中心とした語彙力を身につける
(2) シャドウィングの訓練を用いたリスニング能力の向上

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Develop Four Skills through English News	日本メディア英語学会他	三修社	9784384334951
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境⑤）							担当教員	築地原　尚美※
講義コード	1110052	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーションと Unit 8	授業の進め方についての説明 Unit 8 Health care system could collapse itf elderly people's	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第2回	Unit 8(2)	（単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第3回	Unit 9(1)	Unit 9 Glue sold over counter cheapest wat to cultivate stem cells	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第4回	Unit 9(2)	Unit 9 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリにアプリによる発音チェッ	15 15
第5回	Unit 10(1)	Unit 10 Plane-Warming Gases Make Some Food Less Nutritions, Study Says	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第6回	Unit 10(2)	Unit 10 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプアプリによる発音チェック、ス	15 15
第7回	Unit 11(1)	Unit 11 Therapy dogs giving comfort at dementia café in Tochigi	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第8回	Unit 11(2)	Unit 11 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第9回	Unit 12(1)	Unit 12 More home appliances for pets hitting score shelves （単語小テスト、リーディング・リスニング活動）	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第10回	Unit 12(2)	Unit 12 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第11回	Unit 13(1)	Unit 13 DISCOVER ANIME/ Reverse phenomenon of 'Radiant' （単語小テスト、リーディング・リスニング活動）	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第12回	Unit 13(2)	Unit 13 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
第13回	Unit 14(1)	Unit 14 JET Programme Voices / Multicultural symboisis （単語小テスト、リーディング・リスニング活動）	90	語句を確認しながら、本文をよく読 単語テストの準備、スピーキング、	15 15
第14回	Unit 14(2)	Unit 14 （単語小テスト、ライティング・スピーキング活動）	90	Activate Your Language ③を解い アプリによる発音チェック、スクリ	15 15
			90		15 15

担当者から

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境⑥）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110061	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

映画とは文化を映し出す鏡であり、それを見る我々はその影響下に生きているという点において、単なるエンターテインメントに留まらない側面があります。本授業では大学における英語学習の入り口として、英語圏の有名映画を題材にした教材を用いて、英語の４技能の向上に努めると同時に、各作品の背景を学ぶことで異文化理解を深めていくことも目的としています。

到達目標

1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		成績評価備考欄を参照

40%　授業の出席・参加
30%　授業内の課題（期末提出のエッセイを含む）
30%　到達度確認小テスト(2回)

授業外学習

予習は次のUnitのPreviewingの問題を解いておいてください。授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The Truman Show New Format Edition	Andrew Niccol著 Kim R. Kanel/神谷久美子 編著	松柏社	978-4-88198-569-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

電子辞書を毎回持参するようにしてください。他の点については初回授業で説明します。

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境⑥）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110061	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス、自己紹介	授業の進め方説明、自己紹介	2	電子辞書などを準備しておく 教科書に目を通しておく	0. 0.
第2回	Unit 1	４技能の各アクティビティ	2	教科書に目を通しておく 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第3回	Unit 2	４技能の各アクティビティ	2	Unit 2のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第4回	Unit 3	４技能の各アクティビティ	2	Unit 3のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第5回	Unit 4	４技能の各アクティビティ	2	Unit 4のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第6回	Unit 5	４技能の各アクティビティ	2	Unit 5のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習して、単	0. 0.
第7回	Unit 6、Unit 1-5の単語テスト	４技能の各アクティビティ、Unit 1-5の単語テスト	2	Unit 6のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第8回	Unit 7	４技能の各アクティビティ	2	Unit 7のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第9回	Unit 8	４技能の各アクティビティ	2	Unit 8のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第10回	Unit 9	４技能の各アクティビティ	2	Unit 9のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第11回	Unit 10	４技能の各アクティビティ	2	Unit 10のPreviewingの問題を解い 学習した単語や表現を復習して、単	0. 0.
第12回	Unit 6-10の単語テスト、"The Truman Show"	Unit 6-10の単語テストを行ったのち、"The Truman Show"(前半)の鑑賞・議論を始める。期末レポートの説明も若干行う。	2	単語テストの準備をする 映画鑑賞中にとったメモの内容をま	0. 0.
第13回	"The Truman Show"の鑑賞・議論	"The Truman Show"(後半)の鑑賞・議論を行う	2	レポート作成の準備を進めておく 映画鑑賞中にとったメモの内容をま	0. 0.
第14回	レポート作成Q&A	レポート作成の作業及び質問対応	2	レポート作成の準備を進めておく レポート作成の準備を進めておく	0. 0.
第15回	レポート提出、ピア・レビュー	プリントアウトしたレポートを持参し、グループワークで自分のレポートへのコメントをもらう	2	レポートを完成させておく レポートへのコメント内容を振り返	0. 0.

担当者から

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境⑥）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110062	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

映画とは文化を映し出す鏡であり、それを見る我々はその影響下に生きているという点において、単なるエンターテインメントに留まらない側面があります。本授業では大学における英語学習の入り口として、英語圏の有名映画を題材にした教材を用いて、英語の４技能の向上に努めると同時に、各作品の背景を学ぶことで異文化理解を深めていくことも目的としています。

到達目標

1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		成績評価備考欄を参照

40%　授業の出席・参加
30%　授業内の課題（期末提出のエッセイを含む）
30%　到達度確認小テスト(2回)

授業外学習

予習は次のUnitのPreviewingの問題を解いておいてください。授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The Devil Wears Prada	Aline Brosh McKenna 著　神谷久美子/Kim R. Kanel	松柏社	978-4-88198-636-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

電子辞書を毎回持参するようにしてください。他の点については初回授業で説明します。

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境⑥）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110062	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	101ENG102								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス、イントロダクション	授業の進め方、教科書の説明	2	電子辞書などを準備しておく 教科書に目を通しておく	0. 0.
第2回	Unit 1	４技能の各アクティビティ	2	教科書に目を通しておく 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第3回	Unit 2	４技能の各アクティビティ	2	Unit 2のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第4回	Unit 3	４技能の各アクティビティ	2	Unit 3のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第5回	Unit 4	４技能の各アクティビティ	2	Unit 4のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第6回	Unit 5	４技能の各アクティビティ	2	Unit 5のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習して、単	0. 0.
第7回	Unit 6、Unit 1-5の単語テスト	４技能の各アクティビティ、Unit 1-5の単語テスト	2	Unit 6のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第8回	Unit 7	４技能の各アクティビティ	2	Unit 7のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第9回	Unit 8	４技能の各アクティビティ	2	Unit 8のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第10回	Unit 9	４技能の各アクティビティ	2	Unit 9のPreviewingの問題を解き、 学習した単語や表現を復習しておく	0. 0.
第11回	Unit 10	４技能の各アクティビティ	2	Unit 10のPreviewingの問題を解い 学習した単語や表現を復習して、単	0. 0.
第12回	Unit 6-10の単語テスト、"The Truman Show"	Unit 6-10の単語テストを行ったのち、"The Truman Show"(前半)の鑑賞・議論を始める。期末レポートの説明も若干行う。	2	単語テストの準備をする 映画鑑賞中にとったメモの内容をま	0. 0.
第13回	"The Truman Show"の鑑賞・議論	"The Truman Show"(後半)の鑑賞・議論を行う	2	レポート作成の準備を進めておく 映画鑑賞中にとったメモの内容をま	0. 0.
第14回	レポート作成Q&A	レポート作成の作業及び質問対応	2	レポート作成の準備を進めておく レポート作成の準備を進めておく	0. 0.
第15回	レポート提出、ピア・レビュー	プリントアウトしたレポートを持参し、グループワークで自分のレポートへのコメントをもらう	2	レポートを完成させておく レポートへのコメント内容を振り返	0. 0.

担当者から

講義名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境①）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110221	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms

2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English

3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（応用コース）（環境①）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110221	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Course orientation and introduction	Course introduction, getting to know each other	1時	Read the syllabus beforehand Will be decided in class	1 1
第2回	Unit 1	Five Things You Can't Buy on High Street <Shopping>	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第3回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第4回	Unit 2	High Tech High School <School>	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第5回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第6回	Unit 3	Plogging <Environment>	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第7回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第8回	Mid-term Test	Essay-writing	1時	Units and materials covered. Not applicable	1 1
第9回	Unit 4	Debate Challenge <Education>	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第10回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第11回	Unit 5	The Real Story of Tukankhamun <History>	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第12回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第13回	Unit 6	Saving the Flying Rivers <Environment>	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第14回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1
第15回	Unit 7	Race to the Pole <Sports>	1時	An announcement will be made in Parts students do not understand	1 1

担当者から

1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境①）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110222	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms

2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English

3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境①）						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110222	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Unit 8	Bringing Light <Science>	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第2回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第3回	Unit 9	A Family Business <Work>	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第4回	Unit 10	Heston We Have a Problem <Food>	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第5回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第6回	Unit 11	Cops on the Job <Work>	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第7回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第8回	Mid-term Test	Essay-writing	1時	Units and materials covered.	1
				Not applicable	1
第9回	Unit 12	Things I ’ve Learned About Failure <Life>	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第10回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第11回	Unit 13	Powwow: A Gathering for Native Americans	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第12回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第13回	Unit 14	Wildlife Filmmaker <Work>	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第14回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.	1時	An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1
第15回	Final presentations and course wrap-up	Final presentations and course wrap-up		An announcement will be made in	1
				Parts students do not understand	1

担当者から

1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.

講義名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境②）							担当教員	Ashley Stevens※
講義コード	1110231	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours).Topic-related writing (6 hours).Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境②）							担当教員	Ashley Stevens※
講義コード	1110231	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric.	90 Mi	
第2回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on hotels and	90 Mi	
第3回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on hotels and	90 Mi	
第4回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. with a focus on map reading	90 Mi	
第5回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. with a focus on map reading	90 Mi	
第6回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on talking	90 Mi	
第7回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on talking	90 Mi	
第8回	Shopping	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on money and	90 Mi	
第9回	Shopping	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on money and	90 Mi	
第10回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on ailments and	90 Mi	
第11回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on ailments and	90 Mi	
第12回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on talking	90 Mi	
第13回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on talking	90 Mi	
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.	90 Mi	
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.	90 Mi	

担当者から

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境②）							担当教員	Ashley Stevens※
講義コード	1110232	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours).Topic-related writing (6 hours).Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＢ（応用コース）（環境②）							担当教員	Ashley Stevens※
講義コード	1110232	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric.	90 Mi	
第2回	Where we live	Focusing on the functional language used in real life situations for discussing where we live with a focus on	90 Mi	
第3回	Where we live	Focusing on the functional language used in real life situations for discussing where we live with a focus on	90 Mi	
第4回	Friends and family	Focusing on the functional language used in real life situations regarding our lives with a focus on describing	90 Mi	
第5回	Friends and family	Focusing on the functional language used in real life situations regarding our lives with a focus on describing	90 Mi	
第6回	Sports and activities	Focusing on the functional language used in real life situations when discussing our hobbies with a focus on verbs.	90 Mi	
第7回	Sports and activities	Focusing on the functional language used in real life situations when discussing our hobbies with a focus on verbs.	90 Mi	
第8回	Life experiences	Focusing on the functional language used in real life situations when the things we have done with a focus on the	90 Mi	
第9回	Life experiences	Focusing on the functional language used in real life situations when the things we have done with a focus on the	90 Mi	
第10回	Jobs and the wrokplace	Focusing on the functional language used in real life situations regarding the wrokplace with a focus on describing	90 Mi	
第11回	Jobs and the workplace	Focusing on the functional language used in real life situations regarding the wrokplace with a focus on describing	90 Mi	
第12回	The biggest and the best	Focusing on the functional language used in real life situations discussing opinions and facts with a focus on	90 Mi	
第13回	The biggest and the best	Focusing on the functional language used in real life situations discussing opinions and facts with a focus on	90 Mi	
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.	90 Mi	
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.	90 Mi	

担当者から

講義名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境③）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110241	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the spring semester covers the following topics: Hometown, music, books, and family.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

(1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
(2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
(3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
(4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を５回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、３０分以上の遅刻は欠席扱いとなります。３回の遅刻で１回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（応用コース）（環境③）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110241	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction & Unit 1: Hometown ①	Self-introductions and introduction to the class. Pair and group work on the topic, "Hometown."	1.5	Prepare the unit's picture page Study the vocabulary list. Take	1 0.
第2回	Unit 1: Hometown ②	Pair and group work on the topic, "Hometown." Writing Workshop #1.	1.5	Complete the writing assignment Study the phrase list. Take the	1 0.
第3回	Unit 1: Hometown ③	Pair and group work on the topic, "Hometown."	1.5	Prepare to take Speaking Test 1 Review the contents of Unit 1.	1 0.
第4回	Speaking Test 1	Speaking Test 1 in class.	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第5回	Unit 2: Music ①	Pair and group work on the topic, "Music."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第6回	Unit 2: Music ②	Pair and group work on the topic, "Music." Writing Workshop #2.	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 2.	1 0.
第7回	Unit 2: Music ③ & Speaking Test 2	Pair and group work on the topic, "Music." Speaking Test 2 in class.	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第8回	Unit 3: Books and Movies ①	Pair and group work on the topic, "Books and Movies."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第9回	Unit 3: Books and Movies ②	Pair and group work on the topic, "Books and Movies." Writing Workshop #3.	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 3.	1 0.
第10回	Unit 3: Books and Movies ③	Pair and group work on the topic, "Books and Movies."	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第11回	Unit 4: Family ①	Pair and group work on the topic, "Family."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第12回	Unit 4: Family ②	Pair and group work on the topic, "Family."	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 4.	1 0.
第13回	Unit 4: Family ③	Pair and group work on the topic, "Family."	1.5	Complete the supplementary Prepare to submit the final	1 0.
第14回	Speaking Test 3	Speaking Test 3 in class.	1.5	Complete the final writing Review the contents of Units 1-	1 0.
第15回	Review of Unit 1~4	Review activities to prepare for fall semester	1.5	Complete homework exercises Review the contents of Units 1-	1 0.

担当者から

In order to learn as much as possible from the course, please make sure to speak English as much as you can!

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境③）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110242	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

We will continue to develop the skills that were practiced in the spring semester.

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the fall semester covers the following topics: Travel, school, food, and friends.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

(1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
(2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
(3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
(4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を５回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、３０分以上の遅刻は欠席扱いとなります。３回の遅刻で１回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境③）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110242	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction & Unit 5: Travel ①	Self-introductions and introduction to the class. Pair and group work on the topic, "Travel."	1.5	Prepare the unit's picture page Study the vocabulary list. Take	1 0.
第2回	Unit 5: Travel ②	Pair and group work on the topic, "Travel." Writing Workshop #1.	1.5	Complete the writing assignment Study the phrase list. Take the	1 0.
第3回	Unit 5: Travel ③	Pair and group work on the topic, "Travel."	1.5	Prepare to take Speaking Test 1 Review the contents of Unit 5.	1 0.
第4回	Speaking Test 1	Speaking Test 1 in class.	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第5回	Unit 6: School ①	Pair and group work on the topic, "School."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第6回	Unit 6: School ②	Pair and group work on the topic, "School." Writing Workshop #2.	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 6.	1 0.
第7回	Unit 6: School ③ & Speaking Test 2	Pair and group work on the topic, "School." Speaking Test 2 in class.	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第8回	Unit 7: Food ①	Pair and group work on the topic, "Food."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第9回	Unit 7: Food ②	Pair and group work on the topic, "Food." Writing Workshop #3.	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 7.	1 0.
第10回	Unit 7: Food ③	Pair and group work on the topic, "Food."	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第11回	Unit 8: Friends ①	Pair and group work on the topic, "Friends."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第12回	Unit 8: Friends ②	Pair and group work on the topic, "Friends."	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 8.	1 0.
第13回	Unit 8: Friends ③	Pair and group work on the topic, "Friends."	1.5	Complete the supplementary Prepare to submit the final	1 0.
第14回	Speaking Test 3	Speaking Test 3 in class.	1.5	Complete the final writing Review the contents of Units 1-	1 0.
第15回	Review of Unit 5~8	Review activities to prepare for next year.	1.5	Complete homework exercises Review the contents of Units 1-	1 0.

担当者から

In order to learn as much as possible from the course, please make sure to speak English as much as you can!

講義名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境④）							担当教員	Alexandra Jane Burke※
講義コード	1110251	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will get an all-English listening and speaking experience through studying world cultures via a text, interactive activities and multimedia including quizzes. This goal of this course is to build skills and confidence in students to use English in social, research and work situations. Classes will follow the textbook in the order given below. Tasks will include geography, vocabulary building, grammar in context, dictation, reading comprehension, summarising, retelling, analysis and spoken interviews. Regular homework will be assigned. It is also expected that students will read upcoming units in advance.

到達目標

The instructional emphasis will be on communication on themes drawn from the textbook as well as current events. Students will: (1) develop their critical thinking skills using English on issues in Japan and internationally,
(2) be able to use new vocabulary in speaking and writing.
(3) be able to work independently outside of class and work together cooperatively inside class.
(4) be able to gain confidence in using English pitch intonation, word & sentence stress.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	A solo presentation and a 2-way discussion (videod) (30%) participation in pair-work, small group and small and large group activities (25%) completion of set quizzes (30%) 2 short videos. (15%). Students will be assessed on how well they demonstrate progress on goals 1 - 4.

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

The goal is to talk freely about the difference between other countries and Japan. We will use free study games you can play on a phone/computer by yourself or with classmates. Study a little, daily.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Around the World in 15 Chapters Beginner Book 2nd Edition	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-56-1
2				
3				

Bring textbook, device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＡ（応用コース）（環境④）							担当教員	Alexandra Jane Burke※
講義コード	1110251	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction	Introduction, syllabus, study hints Get Class User ID. Sign up for Teams, Duolingo Classroom, FlipGrid, Quizlet, Use teams.	90		
				Pre-read pages 4-8. Do set quiz	60
第2回	Unit 1-Europe-Germany	Text Book Page 79 Map P4 P5 Timeline Tenses Quiz Activities	90	Study page 79. Do set quiz	30
				Submit Flipgrid video 1	30
第3回	Unit 1-Europe-Germany	U1 Germany Page 6-8 Pairwork on P 6 using p79	90	Pre-read pages 9-12	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第4回	Unit 1-Europe-Italy	U1 Italy. P 9-10 Pairwork on P10	90		
				Do set quiz activities. Speaking	60
第5回	Unit 1-Europe-Italy	U1 Italy. P 11-12 Reading & Pronunciation focus. Quizzes	90		
				Do set quiz activities. Speaking	60
第6回	Unit 1-Europe-Denmark	U1 Denmark P 13-14 Pairwork on p 14. Quizzes	90	Pre-read pages 13-16	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第7回	Unit 1-Europe-Denmark	U1 Denmark P 15-16 Preparation for solo presentation video. Quizzes	90		
				Submit Flipgrid video 2	60
第8回	Unit 2-Asia-Korea	U2 Asia Map, Korea P 19, 20. Quizzes		Pre-read pages 19-22	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第9回	Unit 2-Asia-Korea	U2 Korea P 21, 22 Quizzes	90		
				Do set quiz activities. Speaking	60
第10回	Unit 2-Asia-Vietnam	U2 Vietnam P 23, 24 Pairwork on P24 Quizzes	90	Pre-read pages 23-26	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第11回	Unit 2-Asia-Vietnam	U2 Vietnam P 25, 26. Listening and speaking focus. Quizzes.	90		
				Do set quiz activities. Speaking	60
第12回	Unit 2-Asia-Indonesia.	U2 Indonesia. P27, 28 Pairwork on P 28. Quizzes	90	Pre-read pages 27-30	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第13回	Unit 2-Asia-Indonesia.	U2 Indonesia. P29, 30 Preparation for Pair video Quizzes			
				Do set quiz activities. Speaking	60
第14回	Unit 1 and 2 Skill practice pairs	Record Pair video on any 2 countries from Semester 1 Conversation Practice Quizzes	90		
				Submit Flipgrid Video 3	60
第15回	Unit 1 and 2 Skill practice groups	Pair / Trio conversations on any countries from Units 1 & 2, Quiz on Units 1 and 2. Student reflection on learning.	90	Speaking practice.	
				Final Flipgrid Video: Something	30

担当者から

We will use Microsoft Teams to communicate and to give/submit assignments. Please feel free to contact me by email halexandra.j@ec.usp.ac.jp I am at the university on Tuesdays (前後期) and Wednesdays (前期). Please write your class day/time, Name

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境④）							担当教員	Alexandra Jane Burke※
講義コード	1110252	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Students will get an all-English listening and speaking experience through studying world cultures via a text, interactive activities and multimedia including quizzes. This goal of this course is to extend the comversational skills used in English IIA. Classes will follow the textbook in the order given below. Tasks will include geography, vocabulary building, grammar in context, dictation, reading comprehension, summarising, retelling, analysis and spoken interviews. Regular homework will be assigned. It is also expected that students will read upcoming units in advance.

到達目標

The instructional emphasis will be on communication on themes drawn from the textbook as well as current events. Students will:
(1) develop their critical thinking skills using English on issues in Japan and internationally,
(2) be able to use new vocabulary in speaking and writing.
(3) be able to work independently outside of class and work together cooperatively inside class.
(4) be able to gain confidence in using English pitch intonation, word & sentence stress.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	A pair discussion and a 3-way discussion (videod) (30%) participation in pair-work, small group and small and large group activities (25%) completion of set quizzes (30%) 2 short videos. (15%). Students will be assessed on how well they demonstrate progress on goals 1 - 4.

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

The goal is to talk freely about the difference between other countries and Japan. We will use free study games you can play on a phone/computer by yourself or with classmates. Study a little, daily.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Around the World in 15 Chapters Beginner Book 2nd Edition	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-56-1
2				
3				

Bring textbook, device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＢ（応用コース）（環境④）							担当教員	Alexandra Jane Burke※
講義コード	1110252	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Unit 3-Americas-Mexico	Introduction, syllabus, study hints, Change of conversation style from semester I	90	Pre-read pages 34, 35. Quizzes Video 1 preparation	15 30
第2回	Unit 3-Americas-Mexico	U 3 Mexico P 34, 35 Conversation in groups of 3	90	Submit video 1 (Free choice Do set quiz activities. Speaking	45 15
第3回	Unit 3-Americas-Costa Rica	U 3 Costa Rica P 37, 38 Conversation focus	90	Pre-read pages 37-40. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第4回	Unit 3-Americas-Costa Rica	U 3 Costa Rica P 39, 40 Listening focus	90	Pre-read pages 37-40. Pre-read pages 41-44. Quizzes.	15 45
第5回	Unit 3-Americas-Argentina	U 3 Argentina P 41, 42 Conversation focus	90	Pre-read pages 41-44. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第6回	Unit 3-Americas-Argentina	U 3 Argentina P 43, 44 listening focus and preparation for video 2	90	Do set quiz activities. Speaking Submit video 2 (pair)	15 45
第7回	Unit 4- Africa-Ghana	U 4 Africa Map, Ghana P 47, 48 conversation	90	Pre-read pages 47-50 Quizzes. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第8回	Unit 4- Africa-Ghana	U 4 Ghana P49, 50 Listening focus	90	Pre-read pages 47-50 Quizzes. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第9回	Unit 4- Africa-Morocco	U 4 Morocco P 51, 52 Conversation focus	90	Pre-read pages 51-54 Quizzes. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第10回	Unit 4- Africa-Morocco	U 4 Morocco P 53, 54	90	Pre-read pages 51-54 Quizzes. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第11回	Unit 5- The Middle East- Iran	U5 Iran P 57, 58	90	Pre-read pages 61-64 Quizzes. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第12回	Unit 5- The Middle East- Turkey	Turkey P 63, 64	90	Pre-read pages 61-64 Quizzes. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第13回	Unit 6-Island Countries-Jamaica	Jamaica P 67, 68 Preparation for 3 way video	90	Pre-read pages 66-70 Quizzes. Do set quiz activities. Speaking	15 45
第14回	Unit 6-Island Countries-Iceland	Iceland P 71, 72 - Record 3 way video on any 3 countries from Semester 2	90	Pre-read pages 71-74 Quizzes. Submit video 3 (3 way)	15 45
第15回	Unit 3-6 Review	Pair / Trio conversations on any country from Units 3-6, Final quiz on Units 3-6.	90	 Flipgrid Video 4 something you	15 30

担当者から

We will use Microsoft Teams to communicate and to give/submit assignments. Please feel free to contact me by email halexandra.j@ec.usp.ac.jp I am at the university on Tuesdays (前後期) and Wednesdays (前期). Please write your class day/time, Name

講義名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境⑤）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1110261	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（応用コース）（環境⑤）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1110261	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.	2	Please buy the textbook before	1
				Review the useful English	1
第2回	Getting to Know You	Making friends and exchanging (or not exchanging) personal information.	2	There will be a quiz on useful	1
				Review the useful English	1
第3回	Getting to Know You	Learning to learn 1, going beyond first introductions, Quiz 1.	2	Be prepared to finish unit 1.	1
				Study the vocabulary for unit 2.	1
第4回	Family & Friends	Quiz 2, Talking about your family, memory game 1, song 1.	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 2 vocabulary and	1
第5回	Family & Friends	Talking about your friends and learning to learn 2.	2	Preview the rest of unit 2. We	1
				Study the vocabulary for unit 3.	1
第6回	Around Town	Quiz 3, Describing your hometown and game 2.	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 3 vocabulary and	1
第7回	Around Town	Getting to know Shiga, song 2.	2	Preview the rest of unit 3. We	1
				Prepare for the speaking test.	1
第8回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.	2	Prepare for the mid-term	1
				Study the vocabulary for unit 4.	1
第9回	School & Free Time	Quiz 4, School life, part-time jobs and schedules	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 4 vocabulary and	1
第10回	School & Free Time	Free time and hobbies. Comparing Japanese / American college life.	2	Preview the rest of unit 4. We	1
				Study the vocabulary for unit 5.	1
第11回	What's Going On?	Quiz 5, Talking on the phone, leaving messages.	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 5 vocabulary and	1
第12回	What's Going On?	Making invitations and suggestions, song 3.	2	Preview the rest of unit 5. We	1
				Study the vocabulary for unit 6.	1
第13回	Numbers & Money	Quiz 6, Numbers and money.	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 6 vocabulary and	1
第14回	Numbers & Money	Do the math!	2	Preview the rest of unit 6. We	1
				Start studying for the final	1
第15回	Review, Review, Review	Review.	2	Be prepared to talk to your	1
				Study for the final exam.	2
第16回	Final Exam		2		

担当者から

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境⑤）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1110262	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ＩＩＢ（応用コース）（環境⑤）							担当教員	Karl Hedberg※
講義コード	1110262	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.	2	Please buy the textbook before	1
				Review the useful English	1
第2回	Memory and the Past	Talk about past events.	2	There will be a quiz on useful	1
				Review the useful English	1
第3回	Memory and the Past	Continue talking about past events.	2	Be prepared to finish unit 7.	1
				Study the vocabulary for unit 8.	1
第4回	The Real You	Quiz 8, Talking about your personality.	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 8 vocabulary and	1
第5回	The Real You	Continue talking about your personality.	2	Preview the rest of unit 8. We	1
				Study the vocabulary for unit 9.	1
第6回	My Favorites	Quiz 9, Describing your favorite things..	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 9 vocabulary and	1
第7回	My Favorites	Continue describing your favorite things.	2	Preview the rest of unit 9. We	1
				Prepare for the speaking test.	1
第8回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.	2	Prepare for the mid-term	1
				Study the vocabulary for unit	1
第9回	Let's Eat!	Quiz 10. Making dinner plans with friends and talking about food.	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 10 vocabulary	1
第10回	Let's Eat!	Continue talking about food.	2	Preview the rest of unit 10. We	1
				Study the vocabulary for unit	1
第11回	Experiences	Quiz 11. Talking about experiences.	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 11 vocabulary	1
第12回	Experiences	Continue talking about past experiences.	2	Preview the rest of unit 11. We	1
				Study the vocabulary for unit	1
第13回	Future Plans	Quiz 12. Talk about life after college.	2	There will be a quiz on the unit	1
				Review the unit 12 vocabulary	1
第14回	Future Plans	Continue to talk about life after college.	2	Preview the rest of unit 12. We	1
				Start studying for the final	1
第15回	Review, Review, Review	Review.	2	Be prepared to talk to your	1
				Study for the final exam.	2
第16回	Final Exam		2		

担当者から

講義名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境⑥）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110271	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the spring semester covers the following topics: Hometown, music, books, and family.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

(1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
(2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
(3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
(4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を５回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、３０分以上の遅刻は欠席扱いとなります。３回の遅刻で１回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡA（応用コース）（環境⑥）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110271	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction & Unit 1: Hometown ①	Self-introductions and introduction to the class. Pair and group work on the topic, "Hometown."	1.5	Prepare the unit's picture page Study the vocabulary list. Take	1 0.
第2回	Unit 1: Hometown ②	Pair and group work on the topic, "Hometown." Writing Workshop #1.	1.5	Complete the writing assignment Study the phrase list. Take the	1 0.
第3回	Unit 1: Hometown ③	Pair and group work on the topic, "Hometown."	1.5	Prepare to take Speaking Test 1 Review the contents of Unit 1.	1 0.
第4回	Speaking Test 1	Speaking Test 1 in class.	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第5回	Unit 2: Music ①	Pair and group work on the topic, "Music."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第6回	Unit 2: Music ②	Pair and group work on the topic, "Music." Writing Workshop #2.	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 2.	1 0.
第7回	Unit 2: Music ③ & Speaking Test 2	Pair and group work on the topic, "Music." Speaking Test 2 in class.	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第8回	Unit 3: Books and Movies ①	Pair and group work on the topic, "Books and Movies."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第9回	Unit 3: Books and Movies ②	Pair and group work on the topic, "Books and Movies." Writing Workshop #3.	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 3.	1 0.
第10回	Unit 3: Books and Movies ③	Pair and group work on the topic, "Books and Movies."	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第11回	Unit 4: Family ①	Pair and group work on the topic, "Family."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第12回	Unit 4: Family ②	Pair and group work on the topic, "Family."	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 4.	1 0.
第13回	Unit 4: Family ③	Pair and group work on the topic, "Family."	1.5	Complete the supplementary Prepare to submit the final	1 0.
第14回	Speaking Test 3	Speaking Test 3 in class.	1.5	Complete the final writing Review the contents of Units 1-	1 0.
第15回	Review of Unit 1~4	Review activities to prepare for fall semester	1.5	Complete homework exercises Review the contents of Units 1-	1 0.

担当者から

In order to learn as much as possible from the course, please make sure to speak English as much as you can!

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境⑥）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110272	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

We will continue to develop the skills that were practiced in the spring semester.

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the fall semester covers the following topics: Travel, school, food, and friends.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

(1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
(2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
(3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
(4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を５回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、３０分以上の遅刻は欠席扱いとなります。３回の遅刻で１回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境⑥）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110272	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	101ENG104								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction & Unit 5: Travel ①	Self-introductions and introduction to the class. Pair and group work on the topic, "Travel."	1.5	Prepare the unit's picture page Study the vocabulary list. Take	1 0.
第2回	Unit 5: Travel ②	Pair and group work on the topic, "Travel." Writing Workshop #1.	1.5	Complete the writing assignment Study the phrase list. Take the	1 0.
第3回	Unit 5: Travel ③	Pair and group work on the topic, "Travel."	1.5	Prepare to take Speaking Test 1 Review the contents of Unit 5.	1 0.
第4回	Speaking Test 1	Speaking Test 1 in class.	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第5回	Unit 6: School ①	Pair and group work on the topic, "School."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第6回	Unit 6: School ②	Pair and group work on the topic, "School." Writing Workshop #2.	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 6.	1 0.
第7回	Unit 6: School ③ & Speaking Test 2	Pair and group work on the topic, "School." Speaking Test 2 in class.	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第8回	Unit 7: Food ①	Pair and group work on the topic, "Food."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第9回	Unit 7: Food ②	Pair and group work on the topic, "Food." Writing Workshop #3.	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 7.	1 0.
第10回	Unit 7: Food ③	Pair and group work on the topic, "Food."	1.5	Prepare the next unit's picture Study the vocabulary list. Take	1 0.
第11回	Unit 8: Friends ①	Pair and group work on the topic, "Friends."	1.5	Complete the supplementary Study the phrase list. Take the	1 0.
第12回	Unit 8: Friends ②	Pair and group work on the topic, "Friends."	1.5	Complete the writing assignment Review the contents of Unit 8.	1 0.
第13回	Unit 8: Friends ③	Pair and group work on the topic, "Friends."	1.5	Complete the supplementary Prepare to submit the final	1 0.
第14回	Speaking Test 3	Speaking Test 3 in class.	1.5	Complete the final writing Review the contents of Units 1-	1 0.
第15回	Review of Unit 5~8	Review activities to prepare for next year.	1.5	Complete homework exercises Review the contents of Units 1-	1 0.

担当者から

In order to learn as much as possible from the course, please make sure to speak English as much as you can!

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境①）							担当教員	市場　史哉※
講義コード	1110421	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

(1)ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
(2)アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
(3)ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	期末テスト News Story 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	小テスト　35% Teams上で内容確認問題を行う。

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
中間テスト、期末テストまでに出版社のオンライン動画配信サービスを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Broadcast: ABC WORLD NEWS TONIGHT 2	Shigeru Yamane	金星堂	978-4-7647-4096-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境①）							担当教員	市場　史哉※
講義コード	1110421	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction	授業内容の説明	2時	単語の予習	0.
第2回	News Story 1	Legacy of Captain Mariner	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第3回	News Story 2	America Strong: Foster Grandpatents	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第4回	News Story 3	Weapons Ban in New Zealand	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第5回	News Story　4	Sumo Diplomacy	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第6回	News Story 5	American ISIS Bride	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第7回	News Story 6	Milestone Mission: Virgin Galactic	2時	テスト準備	1
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第8回	中間テスト	News Story 1 からNews Story 6まで	2時	単語の予習	0.
第9回	News Story 7	Notre Dame Cathedral: Full Damage Revealed	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第10回	News Story 8	Three-year-old Boy Fighting Cancer	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第11回	News Story 9	Journey to the Edge	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第12回	News Story 10	Special Olympics Funding Furor	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第13回	News Story 11	American Heroes in Vietnam	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第14回	News Story 12	Measles Outbreak Quarantine in L.A.	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第15回	News Story 13	Mayors Challenge Trump	2時	テスト準備	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.

担当者から

人の動き、表情など、ニュース映像にもヒントがあります。

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境①）							担当教員	市場　史哉※
講義コード	1110422	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

(1)ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
(2)アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
(3)ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	期末テスト Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	小テスト　35% Microsoft Teams上で内容確認問題を行う。

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
中間テスト、期末テストまでに出版社の動画配信サービスを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Broadcast: ABC World News Tonight 3	山根繁	金星堂	978-4-7647-4115-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境①）							担当教員	市場　史哉※
講義コード	1110422	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction	授業内容の説明	2時	単語の予習	0.
第2回	News Story 1	New Company	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第3回	News Story 2	E-cigarette: Partial Ban Backlash	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第4回	News Story 3	The Veteran and His Homemade Toys	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第5回	News Story 4	To the Moon	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第6回	News Story 5	Flooding in Venice	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第7回	News Story 6	Security from Above	2時	テスト準備	1
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第8回	中間テスト	Unit 1からUnit 6まで	2時	単語の予習	0.
第9回	News Story 7	No Limits Cafe	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第10回	News Story 8	Paralyzed Man Walks Again	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第11回	News Story 9	Ending the War?	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第12回	News Story 10	Amazon on the Brink	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第13回	News Story 11	Emergency Business Aid	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第14回	News Story 12	Classic American Cowboy Hat	2時	単語の予習	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.
第15回	News Story 13	Anger Across America	2時	テスト準備	0.
				Microsoft Teamsで課題を出題する	0.

担当者から

人の動きや表情など、ニュースの映像にもヒントがある

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境②）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110431	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む）を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes,すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習（予習・復習）をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト　20%　　授業態度（授業への参加度）　15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど）の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。　通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521
2	TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック	Education Testing Service	IIBC	9784906033560
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境②）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110431	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など	90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容をしっかり理解し	45 45
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	

担当者から

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、積極的に授業に参加して、さらに指定された家庭学習にもしっかりと取り組んで大学生にふさわしい程度の英語力

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境②）							担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110432	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む）を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes,すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習（予習・復習）をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト　20%　　授業態度（授業への参加度）　15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど）の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。　通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521
2	TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック	Education Testing Service	IIBC	9784906033560
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境②）						担当教員	西澤　裕一※
講義コード	1110432	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など	90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容をしっかり理解し	45 45
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ		指定された小テストの範囲をしっか 小テストの内容、及び授業で学習し	

担当者から

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、積極的に授業に参加して、さらに指定された家庭学習にもしっかりと取り組んで大学生にふさわしい程度の英語力

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境③）							担当教員	真田　満※
講義コード	1110441	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

現代社会の諸問題についての英語教材を使い、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またヴィデオ教材等を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において英語を音読し、弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。教科書の設問や教員の質問にグループやペアで討議し、英語で答えることで、英語による発信力も育成する。

到達目標

①一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
②テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
③テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
④自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
⑤正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標①②について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標①②④に関し、2回小テストを行う。 到達目標③と⑤に関しては授業での発表をもとに、毎回の宿題と合わせて評価する。

総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象としない。
30分以上の遅刻は認めない。
遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えることで予習をしっかり行うこと。
語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English in Tune	Robert Hickling他	Cengage	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし。

前提学力等

英語Iおよび英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境③）						担当教員	真田　満※
講義コード	1110441	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction Unit 1 part 1	授業の説明 基本的な英語問題の解答と解説	90分	教科書Unit 1のリーディング部分を 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第2回	Unit 1 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第3回	Unit 1 part 3	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第4回	Unit 2 part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第5回	Unit 2 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第6回	1st Quiz Unit 3 part 1	第1回小テスト 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第7回	Unit 3 part 2	小テストの講評 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第8回	Unit 4, part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第9回	Unit 4 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第10回	Unit 5 part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第11回	Unit 5 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第12回	2nd Quiz Unit 6 part 1	第2回小テスト 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第13回	Unit 6 part 2	小テストの講評 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第14回	Unit 7 part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第15回	Unit 7 part 2 Recapitulation	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30

担当者から

英和辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。

講義名	英語IIIＢ（充実コース）（環境③）							担当教員	真田　満※
講義コード	1110442	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

現代社会の諸問題についての英語教材を使い、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またヴィデオ教材等を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において英語を音読し、弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。教科書の設問や教員の質問にグループやペアで討議し、英語で答えることで、英語による発信力も育成する。

到達目標

①一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
②テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で書くことができる。
③テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
④自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
⑤正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標①②について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標①②④に関し、2回小テストを行う。 到達目標③と⑤に関しては授業での発表をもとに、毎回の宿題と合わせて評価する。

総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象としない。
30分以上の遅刻は認めない。
遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかり行うこと。
語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English in Tune	Robert Hickling他	Cengage	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境③）						担当教員	真田　満※
講義コード	1110442	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction Unit 8 part 1	英語III Aで学んだことの復習 リーディング・パッセージの読解	90分	教科書Unit 8の前半部を予習するこ 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第2回	Unit 8 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第3回	Unit 9 part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第4回	Unit 9 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第5回	Unit 10 part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第6回	Unit 10 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第7回	1st Quiz Unit 11 part 1	第1回小テスト 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第8回	Unit 11 part 2	小テストの講評 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第9回	Unit 12 part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第10回	Unit 12 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第11回	Unit 13 part 1	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第12回	2nd Quiz Unit 13 part 2	第2回小テスト 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第13回	Unit 14 part 1	小テストの講評 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第14回	Unit 14 part 2	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30
第15回	Unit 15 Recapitulation	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外	30 30

担当者から

英和辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境④）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110451	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

本授業の目的は、伝記映画"Bohemian Rhapsody"の内容に沿って、英文読解、リスニング、または動画視聴など、しっかりと英語のインプットを行った上で、スピーキングやライティングなどの形で自分の考えをアウトプットする能力を伸ばすことです。

到達目標

1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、グループアクティビティ(10%)、単語テスト(20%) 映画レビュー(30%)

授業を3分の１以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

テキストに和訳はないので、しっかりと分からないところはその都度辞書で調べることが重要です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Active English Through Movies	塩見佳代子 / Matthew Coomber / 宮林賀奈子	金星堂	978-4-7647-4125-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境④）						担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110451	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーション	授業の進め方説明、自己紹介	2	教科書を入手して目を通しておく シラバスを再読しておく	0. 0.
第2回	Unit 1	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第3回	Unit 2	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第4回	U1&2のグループアクティビティ	U1&2のグループアクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第5回	Unit 3	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第6回	Unit 4	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第7回	U3&4のグループアクティビティ	U3&4のグループアクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第8回	Unit 5	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第9回	U1-5単語テスト、映画鑑賞、解説	Unit 5までの単語テストを行った後で、"Bohemian Rhapsody"の前半を鑑賞し、適宜議論する	2	単語テスト対策を終えておく 映画鑑賞時メモした内容をまとめて	0. 0.
第10回	映画鑑賞、解説	"Bohemian Rhapsody"の後半を鑑賞し、適宜議論する	2	映画鑑賞時メモした内容をまとめて 映画鑑賞時メモした内容をまとめ、	0. 0.
第11回	批評についての講義	映画レビューを書くために、作品批評の基本的なことを講義形式で学ぶ	2	レビューの骨子を考え始める 授業の内容を踏まえて、レビュー執	0. 0.
第12回	批評作業、Q&A	レビューを書き進め、疑問点などがあれば授業中に質問する	2	授業の内容を踏まえて、レビュー執 レビュー執筆を続行する	0. 0.
第13回	レビュー提出、ピア・レビュー	プリントアウトしたレビューを提出し、受講生同士でフィードバックする	2	レビューを完成させ、前もってプリ フィードバックされたことを振り返	0. 0.
第14回	関連作品の鑑賞	「伝記映画」という映画のサブジャンルをより深く理解するために、関連作品の一部を鑑賞し議論する	2	自分の書いたレビューに再度目を通 他作品と比べて見えてくるものを一	0. 0.
第15回	ふりかえり	前期の振り返りをする	2	前期で自分が達成できたことについ 長期休みの間も少しでいいので英語	0. 0.

担当者から

講義名	英語IIIＢ（充実コース）（環境④）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110452	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

本授業の目的は、オフィス映画"The Intern"の内容に沿って、英文読解、リスニング、または動画視聴など、しっかりと英語のインプットを行った上で、スピーキングやライティングなどの形で自分の考えをアウトプットする能力を伸ばすことです。

到達目標

1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、グループアクティビティ(10%)、単語テスト(20%) 映画レビュー(30%)

授業を3分の１以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

テキストに和訳はないので、しっかりと分からないところはその都度辞書で調べることが重要です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Active English Through Movies	塩見佳代子 / Matthew Coomber / 宮林賀奈子	金星堂	978-4-7647-4125-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境④）						担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110452	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーション	授業の進め方説明	2	教科書を入手して目を通しておく シラバスを再読しておく	0. 0.
第2回	Unit 6	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第3回	Unit 7	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第4回	U6&7のグループアクティビティ	U6&7のグループアクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第5回	Unit 8	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第6回	Unit 9	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第7回	U8&9のグループアクティビティ	U8&9のグループアクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第8回	Unit 10	Unitの各アクティビティに取り組む	2	本文中の分からない表現や単語をあ 授業内で学んだ表現を復習する	0. 0.
第9回	U6-10単語テスト、映画鑑賞、解説	Unit 10までの単語テストを行った後で、"The Intern"の前半を鑑賞し、適宜議論する	2	単語テスト対策を終えておく 映画鑑賞時メモした内容をまとめて	0. 0.
第10回	映画鑑賞、解説	"The Intern"の後半を鑑賞し、適宜議論する	2	映画鑑賞時メモした内容をまとめて 映画鑑賞時メモした内容をまとめ、	0. 0.
第11回	批評についての講義	映画レビューを書くために、作品批評の基本的なことを講義形式で学ぶ	2	レビューの骨子を考え始める 授業の内容を踏まえて、レビュー執	0. 0.
第12回	批評作業、Q&A	レビューを書き進め、疑問点などがあれば授業中に質問する	2	授業の内容を踏まえて、レビュー執 レビュー執筆を続行する	0. 0.
第13回	レビュー提出、ピア・レビュー	プリントアウトしたレビューを提出し、受講生同士でフィードバックする	2	レビューを完成させ、前もってプリ フィードバックされたことを振り返	0. 0.
第14回	関連作品の鑑賞	「伝記映画」という映画のサブジャンルをより深く理解するために、関連作品の一部を鑑賞し議論する	2	自分の書いたレビューに再度目を通 他作品と比べて見えてくるものを一	0. 0.
第15回	ふりかえり	前期の振り返りをする	2	前期で自分が達成できたことについ 長期休みの間も少しでいいので英語	0. 0.

担当者から

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境⑤）							担当教員	Janeth Hori※
講義コード	1110461	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

In this course, students will work on improving bother their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

（1）関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
（2）関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
（3）自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の１以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境⑤）							担当教員	Janeth Hori※
講義コード	1110461	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-to-know-you activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
					0
第2回	Unit 1	Theme: Personal Space	90	Purchase book for class 2, unit	1
第3回	Unit 1	Theme: Personal Space	90	Prepare for vocabulary quiz 1	3
				All unit 1 materials	2
第4回	Unit 2	Theme: Japanese Restaurant Culture	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 1 topics	2
第5回	Unit 2	Theme: Japanese Restaurant Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 2	3
				All unit 2 materials	2
第6回	Unit 3	Theme: Collectivism	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 2 topics	2
第7回	Unit 3	Theme: Collectivism	90	Prepare for vocabulary quiz 3	3
				All unit 3 materials	2
第8回	Unit 4	Theme: Natural vs. Artificial Ingredients in Snacks Short presentations	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 3 topics	2
第9回	Unit 4	Theme: Natural vs. Artificial Ingredients in Snacks	90	Prepare for vocabulary quiz 4	3
				All unit 4 materials	2
第10回	Unit 5	Theme: Medical Masks in Japan	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 4 topics	2
第11回	Unit 5	Theme: Medical Masks in Japan	90	Prepare for vocabulary quiz 5	3
				All unit 5 materials	2
第12回	Unit 6	Theme: Japanese Tea	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 6 topics	2
第13回	Unit 6	Theme: Japanese Tea	90	Prepare for vocabulary quiz 6	3
				All unit 6 materials	2
第14回	Unit 7	Theme: Youth Subcultures in Japan	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 7 topics	2
第15回	Unit 7 - Final class	Theme: Youth Subcultures in Japan Short presentations	90	Prepare last vocabulary quiz	3
				All semester materials	3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語IIIＢ（充実コース）（環境⑤）							担当教員	Janeth Hori※
講義コード	1110462	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

In the continuation to this course, students will work on improving bother their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

（１）関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
（２）関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
（３）自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の１以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境⑤）						担当教員	Janeth Hori※
講義コード	1110462	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-back-into-the-swing-of-things activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
					0
第2回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Look over unit 8	1
第3回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 1	3
				All unit 8 materials	2
第4回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 8 topics	2
第5回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	Prepare for vocabulary quiz 2	3
				All unit 9 materials	2
第6回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 9 topics	2
第7回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Prepare for vocabulary quiz 3	3
				All unit 10 materials	2
第8回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 10 topics	2
第9回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	Prepare for vocabulary quiz 4	3
				All unit 11 materials	2
第10回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 11 topics	2
第11回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Prepare for vocabulary quiz 5	3
				All unit 12 materials	2
第12回	Unit13	Theme: Manga	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 12 topics	2
第13回	Unit 13	Theme: Manga	90	Prepare for vocabulary quiz 6	3
				All unit 13 materials	2
第14回	Unit 14	Theme: Karaoke	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 13 topics	2
第15回	Unit 14 - Final class	Theme: Karaoke Short presentations	90	Prepare last vocabulary quiz	3
				All semester materials	3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境⑥）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110471	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.

2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.

3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIA（充実コース）（環境⑥）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110471	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Course Introduction	Course orientation and Self-introduction	1時	Read the syllabus beforehand. Will be decided in class.	1 1
第2回	Chapter 1	Global Perspectives	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第3回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第4回	Chapter 2	Climate Change	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第5回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第6回	Chapter 3	Water	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第7回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第8回	Mid-term test	Essay writing	1時	An announcement will be made in Not applicable	1 1
第9回	Chapter 4	Clean Energy	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第10回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第11回	Chapter 5	Poverty	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第12回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第13回	Chapter 6	Hunger	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第14回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第15回	Chapter 7	Children	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1

担当者から

1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境⑥）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110472	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.

2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.

3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語IIIB（充実コース）（環境⑥）						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110472	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Chapter 8	Gender	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第2回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第3回	Chapter 9	Refugees	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第4回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第5回	Chapter 10	Insects	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第6回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第7回	Chapter 11	Vegetarianism	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第8回	Mid-term test	Essay	1時	An announcement will be made in Not applicable	1 1
第9回	Chapter 12	Plastic Waste	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第10回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第11回	Chapter 13	Shopping	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第12回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第13回	Chapter 14	Partnership	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第14回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第15回	Course wrap-up	A session to wrap up the whole course	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1

担当者から

1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.

講義名	英語IVA（展開コース）（環境①）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110631	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

(1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
(2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
(3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
(4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（環境①）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110631	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Orientation	Introduction to the class English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Unit 1 pre-	1
第2回	Unit 1 Infidelity: Our cheating hearts	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Unit 1 post-	1
第3回	Unit 1 Infidelity: Our cheating hearts	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 4 pre-	1
第4回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	Presentations on Unit 1 English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第5回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第6回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 8 pre-	1
第7回	Unit 8 Violent in Sports	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第8回	Unit 8 Violent in Sports	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 9 pre-	1
第9回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	Presentations on Unit 8 English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第10回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Post-reading	1
第11回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	English activities based on the textbook Presentations on Unit 9	2	Extensive reading; Unit 10 pre-	1
第12回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第13回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Post-reading	1
第14回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	Presentations on Unit 10 Summary activities	2	Preparation for the summary	2
第15回	Summary of the semester		2		

担当者から

We mainly use Teams to communicate and give/submit assignments. If you have any questions about how to use it, please feel free to ask me. My office is A1-111 and email address is sakamoto.ki@office.usp.ac.jp

講義名	英語IVB（展開コース）（環境①）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110632	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

(1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
(2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
(3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
(4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（環境①）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110632	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Orientation	Introduction to the class English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Unit 3 pre-	1
第2回	Unit 3 Internet dating: Is this	English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Unit 3 post-	1
第3回	Unit 3 Internet dating: Is this	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Unit 6 pre-	1
第4回	Unit 6 Advertising: We know what you	Presentations on Unit 3 English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第5回	Unit 6 Advertising: We know what you	English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第6回	Unit 6 Advertising: We know what you	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Unit 11 pre-	1
第7回	Unit 11 Beauty: Mirror, mirror, on	English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第8回	Unit 11 Beauty: Mirror, mirror, on	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Unit 12 pre-	1
第9回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	Presentations on Unit 11 English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第10回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第11回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	English activities based on the textbook Presentations on Unit 12	2		
				Extensive reading; Unit 13 pre-	1
第12回	Unit 13 Child Labor: Who made your	English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第13回	Unit 13 Child Labor: Who made your	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第14回	Unit 13 Child Labor: Who made your	Presentations on Unit 13 Summary activities	2		
				Preparation for the summary	2
第15回	Summary of the semester		2		

担当者から

We mainly use Teams to communicate and give/submit assignments. If you have any questions about how to use it, please feel free to ask me. My office is A1-111 and email address is sakamoto.ki@office.usp.ac.jp

講義名	英語IVA（展開コース）（環境②）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110641	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

Building on the English skills the students practiced in their first year, this course aims to develop students' reading, writing, speaking, and listening skills in topics beyond their own life and interests. Students should expect to consider their own culture and views while practicing expressing their ideas and opinions as a cultural ambassador would.

The course covers a range of topics, supported by nonfiction readings in areas such as technology, ecology, fashion, and psychology.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities, as well as improving students' abilities to engage in group discussions in English.

到達目標

(1) Improve speaking fluency and communicative competence in English, especially in group discussions.
(2) Improve reading and writing fluency on topics further from students' own lives.
(3) Better express complex concepts and personal opinions in English.
(4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Vocabulary quizzes (25%); Content quizzes (25%)
レポート課題	20	Speed writings (10%); Written homework assignments (10%)
上記以外	30	Final project (10%); Speed reading log (5%); Participation (15%)

授業を５回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、３０分以上の遅刻は欠席扱いとなります。３回の遅刻で１回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Core Nonfiction Reading 2	Stephanie Alexander & Liana Robinson	Compass Publishing	9781613527412
2				
3				

You will need a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary (paper or electronic).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（環境②）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110641	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction Unit 1: Our Earth and	Self-introductions and intro to the class. Pair and group work on the current unit's topic:	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第2回	Unit 1: Our Earth and Our Buildings ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 1. Take the unit's	1 0.
第3回	Unit 2: The Ring of Fire ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第4回	Unit 2: The Ring of Fire ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 2. Take the unit's	1 0.
第5回	Unit 3: Technology in the Classroom ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第6回	Unit 3: Technology in the Classroom ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 3. Take the unit's	1 0.
第7回	Unit 4: Phobias ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第8回	Unit 4: Phobias ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 4. Take the unit's	1 0.
第9回	Unit 5: Work, Work, and More Work ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第10回	Unit 5: Work, Work, and More Work ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 5. Take the unit's	1 0.
第11回	Unit 6: Earth People and Outer Space ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第12回	Unit 6: Earth People and Outer Space ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 6. Take the unit's	1 0.
第13回	Unit 7: Women's Fashion in the 1800s	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第14回	Unit 7: Women's Fashion in the 1800s	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the final writing Review Unit 7. Take the unit's	1 0.
第15回	Review of Unit 1~7	Review activities to prepare for fall semester	1.5	Complete homework exercises Review the contents of Units 1-	1 0.

担当者から

In order to learn as much as possible from the course, please make sure to speak English as much as you can!

講義名	英語IVB（展開コース）（環境②）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110642	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

This course is intended to continue to develop the skills practiced in the spring semester.

Building on the English skills the students practiced in their first year, this course aims to develop students' reading, writing, speaking, and listening skills in topics beyond their own life and interests. Students should expect to consider their own culture and views while practicing expressing their ideas and opinions as a cultural ambassador would.

The course covers a range of topics, supported by nonfiction readings in areas such as art, ecology, extreme sports, and culture.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities, as well as improving students' abilities to engage in group discussions in English.

到達目標

(1) Improve speaking fluency and communicative competence in English, especially in group discussions.
(2) Improve reading and writing fluency on topics further from students' own lives.
(3) Better express complex concepts and personal opinions in English.
(4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Vocabulary quizzes (25%); Content quizzes (25%)
レポート課題	20	Speed writings (10%); Written homework assignments (10%)
上記以外	30	Final project (10%); Speed reading log (5%); Participation (15%)

授業を５回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、３０分以上の遅刻は欠席扱いとなります。３回の遅刻で１回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Core Nonfiction Reading 2	Stephanie Alexander & Liana Robinson	Compass Publishing	9781613527412
2				
3				

You will need a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary (paper or electronic).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（環境②）							担当教員	真島　アマンダ
講義コード	1110642	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction Unit 8: Trash and the	Self-introductions and intro to the class. Pair and group work on the current unit's topic:	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第2回	Unit 8: Trash and the Environment ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 8. Take the unit's	1 0.
第3回	Unit 9: The Sweet Honeybee ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第4回	Unit 9: The Sweet Honeybee ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 9. Take the unit's	1 0.
第5回	Unit 10: Mount Everest ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第6回	Unit 10: Mount Everest ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 10. Take the unit's	1 0.
第7回	Unit 11: Which Job Do You Want? ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第8回	Unit 11: Which Job Do You Want? ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 11. Take the unit's	1 0.
第9回	Unit 12: Culture and Habits ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第10回	Unit 12: Culture and Habits ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 12. Take the unit's	1 0.
第11回	Unit 13: Art and People ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第12回	Unit 13: Art and People ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Prepare for the next unit's Review Unit 13. Take the unit's	1 0.
第13回	Unit 14: Extreme Sports ①	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the supplementary Study the vocabulary list. Take	1 0.
第14回	Unit 14: Extreme Sports ②	Pair and group work on the current unit's topic: Speed reading; Speed writing; Group conversations.	1.5	Complete the final writing Review Unit 14. Take the unit's	1 0.
第15回	Review of Units 8~14	Semester review activities	1.5	Complete self-study homework Review the contents of Units 8-	1 0.

担当者から

In order to learn as much as possible from the course, please make sure to speak English as much as you can!

講義名	英語IVA（展開コース）（環境③）							担当教員	西堀　彰子※
講義コード	1110651	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

(1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
(2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
(3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
(4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する　(30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する（30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する（15%) 到達目標(4)について小テストで評価する（25%)

授業を５回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻３回で欠席１回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（環境③）							担当教員	西堀　彰子※
講義コード	1110651	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーション Unit 1 Study Abroad	授業の進め方、評価方法等についての説明。 リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。	2	内容を読み未知の語句・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0. 0,
第2回	Unit 1 Study Abroad	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第3回	Unit 2 Nuclear Power	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第4回	Unit 2 Nuclear Power	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第5回	Unit 3 Immigration	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第6回	Unit 3 Immigration	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第7回	Unit 4 The Social Safety Net	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第8回	Unit 4 The Social Safety Net	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第9回	Unit 5 Global Warming	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0. 0,
第10回	Unit 5 Global Warming	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第11回	Unit 6 Women in the Workplace	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第12回	Unit 6 Women in the Workplace	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第13回	Unit 7 School on Saturdays	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0. 0,
第14回	Unit 7 School on Saturdays / プレゼン	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。プレゼンテーション。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第15回	プレゼンテーション / 総括	スピーキング、リスニング活動。小テスト	2	プレゼンテーションの最終準備、練 他の学生のプレゼンテーションから	0. 0,

担当者から

Teamsを授業で使用します。必要に応じて授業内で使い方の説明をします。

講義名	英語IVB（展開コース）（環境③）							担当教員	西堀　彰子※
講義コード	1110652	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

(1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
(2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
(3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
(4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する　(30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する（30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する（15%) 到達目標(4)について小テストで評価する（25%)

授業を５回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻３回で欠席１回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（環境③）							担当教員	西堀　彰子※
講義コード	1110652	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーション Unit 8 Food Labeling	授業の進め方、評価方法等についての説明。 リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。	2	内容を読み未知の語句・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0. 0,
第2回	Unit 8 Food Labeling	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第3回	Unit 9 Etiquette in the Digital Age	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第4回	Unit 9 Etiquette ... / Unit 10 Merit-based	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文・本文の音読・シャドーイン	0, 0,
第5回	Unit 10 Merit-based Pay	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第6回	Unit 11 American Military Bases in	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第7回	Unit 11 American Military Bases in	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第8回	Unit 12 Taxes	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第9回	Unit 12 Taxes	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0. 0,
第10回	Unit 13 Living Together Before	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第11回	Unit 13 Living Together Before	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第12回	Unit 14 Animal Rights	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り	0, 0,
第13回	Unit 14 Animal ... / Unit 15 Hosting the	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文・本文の音読・シャドーイン	0. 0,
第14回	Unit 15 Hosting the Olympics / プレゼン	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰	0, 0,
第15回	プレゼンテーション / 総括	スピーキング、リスニング活動。小テスト	2	プレゼンテーションの最終準備、練 他の学生のプレゼンテーションから	0. 0,

担当者から

Teamsを授業で使用します。必要に応じて授業内で使い方の説明をします。

講義名	英語IVA（展開コース）（環境④）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110661	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.

2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.

3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（環境④）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110661	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Course Introduction	Course orientation and Self-introduction	1時	Read the syllabus beforehand. Will be decided in class.	1 1
第2回	Chapter 1	Global Perspectives	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第3回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第4回	Chapter 2	Climate Change	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第5回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第6回	Chapter 3	Water	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第7回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第8回	Mid-term test	Essay writing	1時	An announcement will be made in Not applicable	1 1
第9回	Chapter 4	Clean Energy	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第10回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第11回	Chapter 5	Poverty	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第12回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第13回	Chapter 6	Hunger	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第14回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第15回	Chapter 7	Children	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1

担当者から

1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.

講義名	英語IVB（展開コース）（環境④）							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110662	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.

2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.

3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（環境④）						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110662	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Chapter 8	Gender	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第2回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第3回	Chapter 9	Refugees	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第4回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第5回	Chapter 10	Insects	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第6回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第7回	Chapter 11	Vegetarianism	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第8回	Mid-term test	Essay	1時	An announcement will be made in Not applicable	1 1
第9回	Chapter 12	Plastic Waste	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第10回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第11回	Chapter 13	Shopping	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第12回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第13回	Chapter 14	Partnership	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第14回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第15回	Course wrap-up	A session to wrap up the whole course	1時	An announcement will be made in Content students do not	1 1

担当者から

1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.

講義名	英語IVA（展開コース）（環境⑤）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110671	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

英語で書かれた短編作品を、続きが読みたくなるような興味深い形で紹介する教科書を用いて、英語をしっかりとインプット（聞く、読む）した上で、レポートや発話練習などのアウトプット（話す、書く）する能力を培えるような授業にしたいと思っております。適宜、短編の本文を読んでもらうこと、あるいは単語テストを受験してもらうこともあります。

到達目標

1）文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上

2）自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上

3）日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、単語テスト(30%)、期末レポート(30%)

授業を3分の１以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回の内容を参照。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Top 30 Essential Short Stories in English: 1843 to 2000.	Jim Knudsen, Hiromi Tsuda, Ria Taketomi	南雲堂	978-4-523-17875
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（環境⑤）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110671	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction/授業概要	自己紹介/授業の進め方等の説明	2	教科書に目を通しておく シラバスを再読しておく	0. 0.
第2回	Lesson 1	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	教科書に目を通しておく 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第3回	Lesson 2	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第4回	Lesson 3	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第5回	Lesson 4	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第6回	Lesson 5	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第7回	単語テスト、Lesson 6	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第8回	Lesson 7	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第9回	Lesson 8	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第10回	Lesson 9	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第11回	Lesson 10	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第12回	単語テスト、Lesson 11	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく、	0. 0.
第13回	レポート作成講座	レポート作成のための批評講座を行う	2	選んだ作品の原文を読んでおく レポート作成を進める	0. 0.
第14回	期末レポートQ&A	作成中のレポートを持参し、作業を進める。あれば適宜質問する。	2	レポート作成を進める レポート作成を進める	0. 0.
第15回	レポート提出	レポートを提出した後で、ピア・レビューを行う	2	レポートを完成させておく フィードバックを振り返って、次回	0. 0.

担当者から

講義名	英語IVB（展開コース）（環境⑤）							担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110672	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

英語で書かれた短編作品を、続きが読みたくなるような興味深い形で紹介する教科書を用いて、英語をしっかりとインプット（聞く、読む）した上で、レポートや発話練習などのアウトプット（話す、書く）する能力を培えるような授業にしたいと思っております。適宜、短編の本文を読んでもらうこと、あるいは単語テストを受験してもらうこともあります。後期はLesson 20からLesson 30を扱います。

到達目標

1）文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2）自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
3）日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、単語テスト(30%)、期末レポート(30%)

授業を3分の１以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回の内容を参照。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Top 30 Essential Short Stories in English: 1843 to 2000.	Jim Knudsen, Hiromi Tsuda, Ria Taketomi	南雲堂	978-4-523-17875
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（環境⑤）						担当教員	近藤　佑樹
講義コード	1110672	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Introduction/授業概要	授業の進め方等の説明	2	教科書に目を通しておく シラバスを再読しておく	0. 0.
第2回	Lesson 20	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	教科書に目を通しておく 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第3回	Lesson 21	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第4回	Lesson 22	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第5回	Lesson 23	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第6回	Lesson 24	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第7回	単語テスト、Lesson 25	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第8回	Lesson 26	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第9回	Lesson 27	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第10回	Lesson 28	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第11回	Lesson 29	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0. 0.
第12回	単語テスト、Lesson 30	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく、	0. 0.
第13回	レポート作成フィードバック	前期のレポートについての総評を行う	2	選んだ作品の原文を読んでおく レポート作成を進める	0. 0.
第14回	期末レポートQ&A	作成中のレポートを持参し、作業を進める。あれば適宜質問する。	2	レポート作成を進める レポート作成を進める	0. 0.
第15回	レポート提出	レポートを提出した後で、ピア・レビューを行う	2	レポートを完成させておく フィードバックを振り返って、次回	0. 0.

担当者から

講義名	英語IVA（展開コース）（環境⑥）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110681	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

(1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
(2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
(3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
(4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVA（展開コース）（環境⑥）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110681	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Orientation	Introduction to the class English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Unit 1 pre-	1
第2回	Unit 1 Infidelity: Our cheating hearts	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Unit 1 post-	1
第3回	Unit 1 Infidelity: Our cheating hearts	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 4 pre-	1
第4回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	Presentations on Unit 1 English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第5回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第6回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 8 pre-	1
第7回	Unit 8 Violent in Sports	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第8回	Unit 8 Violent in Sports	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 9 pre-	1
第9回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	Presentations on Unit 8 English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第10回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Post-reading	1
第11回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	English activities based on the textbook Presentations on Unit 9	2	Extensive reading; Unit 10 pre-	1
第12回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading	1
第13回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Post-reading	1
第14回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	Presentations on Unit 10 Summary activities	2	Preparation for the summary	2
第15回	Summary of the semester		2		

担当者から

We mainly use Teams to communicate and give/submit assignments. If you have any questions about how to use it, please feel free to ask me. My office is A1-111 and email address is sakamoto.ki@office.usp.ac.jp

講義名	英語IVB（展開コース）（環境⑥）							担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110682	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

(1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
(2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
(3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
(4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語IVB（展開コース）（環境⑥）						担当教員	坂本　輝世
講義コード	1110682	単位数	1	開講期	後期	授業方法	①演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	Orientation	Introduction to the class English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Unit 3 pre-	1
第2回	Unit 3 Internet dating: Is this	English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Unit 3 post-	1
第3回	Unit 3 Internet dating: Is this	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Unit 6 pre-	1
第4回	Unit 6 Advertising: We know what you	Presentations on Unit 3 English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第5回	Unit 6 Advertising: We know what you	English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第6回	Unit 6 Advertising: We know what you	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Unit 11 pre-	1
第7回	Unit 11 Beauty: Mirror, mirror, on	English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第8回	Unit 11 Beauty: Mirror, mirror, on	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Unit 12 pre-	1
第9回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	Presentations on Unit 11 English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第10回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第11回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	English activities based on the textbook Presentations on Unit 12	2		
				Extensive reading; Unit 13 pre-	1
第12回	Unit 13 Child Labor: Who made your	English activities based on the textbook	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第13回	Unit 13 Child Labor: Who made your	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2		
				Extensive reading; Post-reading	1
第14回	Unit 13 Child Labor: Who made your	Presentations on Unit 13 Summary activities	2		
				Preparation for the summary	2
第15回	Summary of the semester		2		

担当者から

We mainly use Teams to communicate and give/submit assignments. If you have any questions about how to use it, please feel free to ask me. My office is A1-111 and email address is sakamoto.ki@office.usp.ac.jp

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境a)							担当教員	森　將豪※
講義コード	1130010	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101INF102								

授業概要

情報処理技術を習得することは，日常生活に資するだけでなく，大学で学び研究する上で必要不可欠なものです．
本授業では，高年次で開講される授業や演習および実習等で必要とされる情報技術（Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術，文書作成処理技術など）や情報倫理について説明する．
具体的には，レポートおよび論文作成の基本的な方法について詳しく説明するとともに，プレゼンテーションソフトによる成果発表の手法についても言及する．

到達目標

(1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること．情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができるようになる．そして情報倫理についても理解を深める．
(2) 論文やレポートの作成のために必要不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得する．
(3) 設定した問題に対し，彼我の論点を整理・対比させ，論理的に議論を展開し結論づけることができるようになる．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標で示す (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること．情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること．情報倫理についても理解を深めること（20%）， (2) 論文やレポートの作成のために必要不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得する． (3) 設定した問題に対し，彼我の論点を整理・対比させ，論理的に議論を展開し結論づけることができるようになる．
上記以外	40	毎回の授業において，受講生には到達目標項目等についてレスポンスペーパへの記入を要求し，各人の授業への参加度をチェックし評価する．

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・ テキストに代わる授業資料を適宜配布する．

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	9784130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力操作に慣熟しておくこと．

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境a)							担当教員	森　将豪※
講義コード	1130010	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	情報処理環境の基本構成と操作	・ 情報処理（演習室）環境の基本構成と利用方法 ・ パスワードの設定	2	キーボードからの入力に慣れてお ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第2回	情報処理環境の慣熟操作と各種設定	・ 情報処理（演習室）環境の慣熟操作 ・ 電子メールおよびインターネット環境の設定と実践	2	キーボードからの入力に慣れてお ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第3回	情報倫理について ～情報の保護と責務～	・ 個人情報の管理とインターネット使用上の留意点 ・ 電子メールの使い方について	2	配布予定の「2022年度版 情報倫理 ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第4回	文書作成ソフトウエアの基礎	・ 文書作成ソフトウエアの起動と作成文書の保存(先) ・ OneDrive の使い方，USBメモリの使い方，等	2	配布資料「OneDriveの使い方」を一 ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第5回	表現の形態 ～論文を書くとは～	・ 論文を書くとはどのようなことか，レポートとの相違点 ・ レポートを書くときの注意点，論文の標準的なスタイル．	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第6回	論文作法－１ ～書式設定の詳細～	・ 文書を入力する（書く）前に必要なこと ・ 書式設定の詳細（マージン，フォントとサイズ，段組，等）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第7回	論文作法－２ ～論文の構成～	・ 具体的な入力法（章だて，段落，脚注，インデント，参考文献，等）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第8回	論文作法－３ ～Excel による表デー	・ 作表および表データの可視化 ・ エクセルからの可視化データの読み込み，等	2	高校の「情報」の授業で学んだ ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第9回	論文作法－４ ～論文の形式～	・ 論文の形式と文章の特徴（文体）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第10回	情報倫理について ～剽窃は犯罪～	・ 情報発信と著作権侵害 ・ 知的財産権について	2	「2022年度版 情報倫理ハンドブッ ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第11回	図書文献検索ガイダンス	・ 資料検索ツールおよび図書館での資料検索技術の習得	2	オリエンテーションで説明された図 ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第12回	論文作法－５ ～剽窃防止と文献引用	・ 剽窃防止の徹底と文献引用の仕方について ・ 知的所有権と情報へのアクセスの確保	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第13回	論文作法－６ ～論文発表の基本～	・ パワーポイントを用いた論文発表の基本とその注意点	2	（資料として配布する） Power ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第14回	表現の形態 ～まとめ～	・ 論文作法のまとめ ・ 作成課題（「表現の形態～論文を書くこと」）の印刷	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第15回	課題レポートの準備	・ 課題レポート（小論文）について	2	課題レポート（小論文）を執筆する 配布資料「表現の形態～論文を書く	1 16

担当者から

・ 毎回実習を伴う授業ですので，授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し，実習内容を習得しておくことが必要不可欠です．

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境b)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130020	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

（1）本学演習室が利用できるように環境を整えること。
（2）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
（3）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
（4）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
（5）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%）。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境b)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130020	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第2回	図書検索	文献検索の方法	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第5回	情報倫理（1）	インターネットの利用と安全性	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第6回	情報倫理（2）	著作権、研究倫理	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第7回	WORDによる文書作成（1）	基本操作	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第8回	WORDによる文書作成（2）	書式	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第9回	WORDによる文書作成（3）	表	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第10回	WORDによる文書作成（4）	図	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第11回	Excelによる表計算（1）	基本操作	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第12回	Excelによる表計算（2）	書式	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第13回	Excelによる表計算（3）	関数	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第14回	Excelによる表計算（4）	グラフ	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2

担当者から

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境c)							担当教員	森　將豪※
講義コード	1130030	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101INF102								

授業概要

情報処理技術を習得することは，日常生活に資するだけでなく，大学で学び研究する上で必要不可欠なものです．
本授業では，高年次で開講される授業や演習および実習等で必要とされる情報技術（Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術，文書作成処理技術など）や情報倫理について説明する．
具体的には，レポートおよび論文作成の基本的な方法について詳しく説明するとともに，プレゼンテーションソフトによる成果発表の手法についても言及する．

到達目標

(1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること．情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができるようになる．そして情報倫理についても理解を深める．
(2) 論文やレポートの作成のために必要不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得する．
(3) 設定した問題に対し，彼我の論点を整理・対比させ，論理的に議論を展開し結論づけることができるようになる．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標で示す （1）大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること．情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること．情報倫理についても理解を深めること（20%），
上記以外	40	毎回の授業において，受講生には到達目標項目等についてレスポンスペーパへの記入を要求し，各人の授業への参加度をチェックし評価する．

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・ テキストに代わる授業資料を適宜配布する．

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	9784130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力操作に慣熟しておくこと．

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境c)							担当教員	森　將豪※
講義コード	1130030	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	情報処理環境の基本構成と操作	・ 情報処理（演習室）環境の基本構成と利用方法 ・ パスワードの設定	2	キーボードからの入力に慣れてお ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第2回	情報処理環境の慣熟操作と各種設定	・ 情報処理（演習室）環境の慣熟操作 ・ 電子メールおよびインターネット環境の設定と実践	2	キーボードからの入力に慣れてお ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第3回	情報倫理について ～情報の保護と責務～	・ 個人情報の管理とインターネット使用上の留意点 ・ 電子メールの使い方について	2	配布予定の「2022年度版 情報倫理 ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第4回	文書作成ソフトウエアの基礎	・ 文書作成ソフトウエアの起動と作成文書の保存(先) ・ OneDrive の使い方，USBメモリの使い方，等	2	配布資料「OneDriveの使い方」を一 ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第5回	表現の形態 ～論文を書くとは～	・ 論文を書くとはどのようなことか，レポートとの相違点 ・ レポートを書くときの注意点，論文の標準的なスタイル．	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第6回	論文作法－１ ～書式設定の詳細～	・ 文書を入力する（書く）前に必要なこと ・ 書式設定の詳細（マージン，フォントとサイズ，段組，等）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第7回	論文作法－２ ～論文の構成～	・ 具体的な入力法（章だて，段落，脚注，インデント，参考文献，等）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第8回	論文作法－３ ～Excel による表デー	・ 作表および表データの可視化 ・ エクセルからの可視化データの読み込み，等	2	高校の「情報」の授業で学んだ ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第9回	論文作法－４ ～論文の形式～	・ 論文の形式と文章の特徴（文体）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第10回	情報倫理について ～剽窃は犯罪～	・ 情報発信と著作権侵害 ・ 知的財産権について	2	「2022年度版 情報倫理ハンドブッ ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第11回	図書文献検索ガイダンス	・ 資料検索ツールおよび図書館での資料検索技術の習得	2	オリエンテーションで説明された図 ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第12回	論文作法－５ ～剽窃防止と文献引用	・ 剽窃防止の徹底と文献引用の仕方について ・ 知的所有権と情報へのアクセスの確保	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第13回	論文作法－６ ～論文発表の基本～	・ パワーポイントを用いた論文発表の基本とその注意点	2	（資料として配布する） Power ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第14回	表現の形態 ～まとめ～	・ 論文作法のまとめ ・ 作成課題（「表現の形態～論文を書くこと」）の印刷	2	配布資料「表現の形態～論文を書く ノートを整理し，新たに学んだこと	1 2
第15回	課題レポートの準備	・ 課題レポート（小論文）について	2	課題レポート（小論文）を執筆する 配布資料「表現の形態～論文を書く	1 16

担当者から

・ 毎回実習を伴う授業ですので，授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し，実習内容を習得しておくことが必要不可欠です．

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境d)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130040	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

（1）本学演習室が利用できるように環境を整えること。
（2）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
（3）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
（4）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
（5）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%）。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境d)							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130040	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第2回	図書検索	文献検索の方法	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第5回	情報倫理（1）	インターネットの利用と安全性	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第6回	情報倫理（2）	著作権、研究倫理	2	1）タッチタイピングの練習	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第7回	WORDによる文書作成（1）	基本操作	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第8回	WORDによる文書作成（2）	書式	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第9回	WORDによる文書作成（3）	表	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第10回	WORDによる文書作成（4）	図	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第11回	Excelによる表計算（1）	基本操作	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第12回	Excelによる表計算（2）	書式	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第13回	Excelによる表計算（3）	関数	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第14回	Excelによる表計算（4）	グラフ	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成	2	1）前回の授業で指示された事前学	2
				1）指示された課題を完成し、MS-	2

担当者から

講義名	情報科学概論（環境a）							担当教員	森　將豪※
講義コード	1130140	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101INF101								

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術を含む情報リテラシーの習得を前提とし，高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ．
特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について，表計算ソフトを利用して関数による計算処理や基礎的な統計技法等について学ぶ．
さらに，学術論文作成のための基本的なデータ処理手法などについても学ぶ．

到達目標

(1) 数式バーに自由に計算式を書くことができ，かつ組込関数も利用できる．
(2) 表の可視化を行うことができ，それについて科学的な考察を加えることができる．
(3) What-If分析を理解し，応用できる．
(4) 回帰分析を理解し，収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる．
(5) アンケート分析の手法を理解するとともにクロス集計等ができる．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標で示す （1）数式バーに自由に計算式を書くことができ，かつ組込関数も利用できる（12%）． (2) 表の可視化を行うことができ，それについて科学的な考察を加えることができる（12%）， (3) What-If分析を理解し，応用できる（12%），
上記以外	40	毎回の授業において，受講生には到達目標項目等についてレスポンスペーパーへの記入を要求し，各人の授業への参加度をチェックし評価する．

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・ テキストに代わる授業資料を適宜配布する．

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル（浅井・村上 訳）	培風館	978-4563008390
2				
3				

前提学力等

・ 全学共通科目「情報リテラシー」が履修済みであることが望ましい．

履修資格

講義名	情報科学概論（環境a）							担当教員	森　將豪※
講義コード	1130140	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101INF101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	表計算ソフトの概要と データサイエンス	・　Excel機能のいくつかの重要なポイント ・　ビッグデータとＡＩについて	2	高校の「情報」の授業で学んだ ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第2回	セルの概念と基本操作	・　カーソルの形と意味．文字列，数値，数式，書式設定 ・　データの移動・複写・変更・消去，等	2	「授業資料」のpp.1-6.までを熟読 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第3回	行と列の基本操作	・　行・列データの計算．数式を自分で書くvs組込関数群 ・　表データの可視化，グラフ要素の設定	2	「授業資料」のpp.7-11.までを熟読 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第4回	What-If分析－１	・　ケーススタディ・モデル ・　相対番地と絶対番地	2	「授業資料」のpp.12-14.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第5回	What-If分析－２	・　利益計画シミュレーション ・　シナリオマネージャ	2	「授業資料」のpp.14-15.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第6回	What-If分析－３	・　Diet Planモデル ・　IF文とゴールシーク	2	「授業資料」のpp.16-19.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第7回	回帰分析	・　分析ツール ・　相関図と回帰分析，回帰直線，最小２乗法	2	「授業資料」のpp.20-22.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第8回	単回帰分析	・　度数分布表と散布図 ・　グラフに合う回帰直線の式，重決定係数	2	「授業資料」のpp.22-24.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第9回	重回帰分析	・　分析ツールと説明変数が２つの場合 ・　p値の理解	2	「授業資料」のpp.25-27.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第10回	演 習 （課題） ～データの可視化と分	・　課題の演習	2	課題を与えて演習を行いますので， ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第11回	データ集計－１	・　アンケート分析の方法 ・　頻度の集計，合計・平均，階級別ヒストグラム化	2	「授業資料」のpp.28-31.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第12回	データ集計－２	・　クロス集計とピボットテーブル ・　集計方法	2	「授業資料」のpp.32-36.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第13回	データベース機能－１	・　リレーショナルデータベース ・　ソーティングと検索・追加・削除・変更	2	「授業資料」のpp.37-43.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第14回	データベース機能－２	・　フィルタリング ・　マクロ処理（プログラミング）	2	「授業資料」のpp.44-48.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第15回	まとめ	情報科学概論の総括	2	「授業資料」のpp.1-48.までを通読 情報科学概論で学んだことを駆使し	2 2

担当者から

・　毎回実習を伴う授業ですので，授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し，実習内容を習得しておくことが必要不可欠です．

講義名	情報科学概論（環境b）							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130150	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF101								

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

（1）表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
（2）データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出（８０%）と最終課題の達成度（２０%）

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計･データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論（環境b）							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130150	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	エクセルの基本操作1	計算、数式	2	1）教科書の第0章に目を通してお 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第2回	エクセルの基本操作2	グラフ	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第3回	データの抽出・集計1	データの並べ替え 集計	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第4回	データの抽出・集計2	自動集計 クロス表	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第5回	データの特徴をつかむ1	合計 比率	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第6回	データの特徴をつかむ2	平均 モード	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第7回	データの特徴をつかむ3	分散 標準偏差	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第8回	量的データの関連性を見る1	散布図 相関係数	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第9回	量的データの関連性を見る2	相関係数の定義 類似度	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第10回	量的データの関連性を見る3	相関解析演習	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第11回	質的データの関連性を見る1	クロス表とその視覚化 期待度数	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第12回	質的データの関連性を見る2	カイ２乗値 統計検定	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第13回	回帰分析と予測1	単回帰分析 残差と決定係数	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第14回	回帰分析と予測2	時系列データの分析 回帰係数の計算	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第15回	最終課題	実データを用いたクロス表分析、相関解析、回帰分析の演習	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2

担当者から

講義名	情報科学概論（環境c）							担当教員	森　將豪※
講義コード	1130160	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101INF101								

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術を含む情報リテラシーの習得を前提とし，高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ．
特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について，表計算ソフトを利用して関数による計算処理や基礎的な統計技法等について学ぶ．
さらに，学術論文作成のための基本的なデータ処理手法などについても学ぶ．

到達目標

(1) 数式バーに自由に計算式を書くことができ，かつ組込関数も利用できる．
(2) 表の可視化を行うことができ，それについて科学的な考察を加えることができる．
(3) What-If分析を理解し，応用できる．
(4) 回帰分析を理解し，収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる．
(5) アンケート分析の手法を理解するとともにクロス集計等ができる．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標で示す （1）数式バーに自由に計算式を書くことができ，かつ組込関数も利用できる（12%）． (2) 表の可視化を行うことができ，それについて科学的な考察を加えることができる（12%）， (3) What-If分析を理解し，応用できる（12%），
上記以外	40	毎回の授業において，受講生には到達目標項目等についてレスポンスペーパーへの記入を要求し，各人の授業への参加度をチェックし評価する．

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・ テキストに代わる授業資料を適宜配布する．

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル（浅井・村上 訳）	培風館	978-4563008390
2				
3				

前提学力等

・ 全学共通科目「情報リテラシー」が履修済みであることが望ましい．

履修資格

講義名	情報科学概論（環境c）							担当教員	森　將豪※
講義コード	1130160	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101INF101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	表計算ソフトの概要と データサイエンス	・　Excel機能のいくつかの重要なポイント ・　ビッグデータとＡＩについて	2	高校の「情報」の授業で学んだ ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第2回	セルの概念と基本操作	・　カーソルの形と意味．文字列，数値，数式，書式設定 ・　データの移動・複写・変更・消去，等	2	「授業資料」のpp.1-6.までを熟読 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第3回	行と列の基本操作	・　行・列データの計算．数式を自分で書くvs組込関数群 ・　表データの可視化，グラフ要素の設定	2	「授業資料」のpp.7-11.までを熟読 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第4回	What-If分析－１	・　ケーススタディ・モデル ・　相対番地と絶対番地	2	「授業資料」のpp.12-14.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第5回	What-If分析－２	・　利益計画シミュレーション ・　シナリオマネージャ	2	「授業資料」のpp.14-15.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第6回	What-If分析－３	・　Diet Planモデル ・　IF文とゴールシーク	2	「授業資料」のpp.16-19.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第7回	回帰分析	・　分析ツール ・　相関図と回帰分析，回帰直線，最小２乗法	2	「授業資料」のpp.20-22.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第8回	単回帰分析	・　度数分布表と散布図 ・　グラフに合う回帰直線の式，重決定係数	2	「授業資料」のpp.22-24.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第9回	重回帰分析	・　分析ツールと説明変数が２つの場合 ・　p値の理解	2	「授業資料」のpp.25-27.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第10回	演 習 （課題） ～データの可視化と分	・　課題の演習	2	課題を与えて演習を行いますので， ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第11回	データ集計－１	・　アンケート分析の方法 ・　頻度の集計，合計・平均，階級別ヒストグラム化	2	「授業資料」のpp.28-31.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第12回	データ集計－２	・　クロス集計とピボットテーブル ・　集計方法	2	「授業資料」のpp.32-36.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第13回	データベース機能－１	・　リレーショナルデータベース ・　ソーティングと検索・追加・削除・変更	2	「授業資料」のpp.37-43.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第14回	データベース機能－２	・　フィルタリング ・　マクロ処理（プログラミング）	2	「授業資料」のpp.44-48.までを熟 ノートを整理し，新たに学んだこと	2 2
第15回	まとめ	情報科学概論の総括	2	「授業資料」のpp.1-48.までを通読 情報科学概論で学んだことを駆使し	2 2

担当者から

・　毎回実習を伴う授業ですので，授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し，実習内容を習得しておくことが必要不可欠です．

講義名	情報科学概論（環境d）							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130170	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF101								

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

（1）表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
（2）データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出（８０%）と最終課題の達成度（２０%）

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計･データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論（環境d）							担当教員	山本　洋紀※
講義コード	1130170	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	エクセルの基本操作1	計算、数式	2	1）教科書の第0章に目を通してお 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第2回	エクセルの基本操作2	グラフ	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第3回	データの抽出・集計1	データの並べ替え 集計	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第4回	データの抽出・集計2	自動集計 クロス表	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第5回	データの特徴をつかむ1	合計 比率	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第6回	データの特徴をつかむ2	平均 モード	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第7回	データの特徴をつかむ3	分散 標準偏差	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第8回	量的データの関連性を見る1	散布図 相関係数	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第9回	量的データの関連性を見る2	相関係数の定義 類似度	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第10回	量的データの関連性を見る3	相関解析演習	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第11回	質的データの関連性を見る1	クロス表とその視覚化 期待度数	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第12回	質的データの関連性を見る2	カイ２乗値 統計検定	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第13回	回帰分析と予測1	単回帰分析 残差と決定係数	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第14回	回帰分析と予測2	時系列データの分析 回帰係数の計算	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2 2
第15回	最終課題	実データを用いたクロス表分析、相関解析、回帰分析の演習	2	1）前回の授業で指示された事前学 1）指示された課題を完成し、MS-	2

担当者から

講義名	環境行動論							担当教員	迫田　正美
講義コード	1150050	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312PEL302-C,313ARC208								

授業概要

人間の環境は主体がそこを生きる生きられた空間である。人間の空間としての環境は与えられた自然環境であるとともに、行為する身体によって常に構築されつつある生成的空間でもある。
本講義ではこのような生成する空間について、その存在と認識の在り方についていくつかの基礎的な事項を紹介し、知覚と行為との相互的生成の過程について心理学、解釈学、現象学、生命論などの立場を紹介し、行動の場所としての環境、行動的実践の結果としての環境の形成、及び行為の規範としての慣習や文化の形成と風土性、風景との相互連関について講述する。

到達目標

(1)人間の行動と環境（社会・文化的コンテクスト）の相互作用について事例を挙げて述べることができる。
(2)環境と行動に関する基礎的な知識について説明することができる。
(3)毎回の講義のテーマについて適切な質問または意見を述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	（１）課題の趣旨に従って適切な対象を選択し考察できている （２）授業で得た知識を基に事象について正しく説明できている
レポート課題	30	（３）毎回の授業で課す小レポートに適切な解答や質問を記述できている
上記以外	出席	４）上記の小レポートの提出をもって出席とする

授業外学習

講義で示した参考文献・資料についてしっかり目を通し、疑問等あれば小レポートに質問などを追加してほしい。
質問内容については、次回の授業などで補足・説明をするようにしているので、積極的に質問し、また、授業で提示した文献や関連する書籍などを

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境と人間-生態学的であることについて	滋賀県立大学環境ブックレット４	サンライズ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	かくれた次元	E.T.ホール	みすず書房	
2	発生的認識論	J.ピアジェ	白水社	
3	生きた隠喩	P.リクール	岩波書店	

資料は適宜講義の中で配布、提示する。

前提学力等

特に指定しない。

履修資格

講義名	環境行動論							担当教員	迫田　正美
講義コード	1150050	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312PEL302-C,313ARC208								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	概説１	環境行動論の概観１―認知と行為	2		
				授業で提示する関連する人物とその	4
第2回	概説２	環境行動論の概観２－身体と環境	2	前回配布した資料を参考にして、関	2
				授業で提示する関連する人物とその	2
第3回	概説３	環境行動論の概観３－行為と環境	2	前回配布した資料を参考にして、関	2
				授業で提示する関連する人物とその	2
第4回	環境の意味１	現象学的見解（環境世界と生活世界）	2	フッサール、ハイデッガーの思想に	2
				近年の現象学の動向を調べる。	2
第5回	環境の意味２	解釈学的見解（生の構造連関とテクスト世界）	2	ヴィルヘルム・ディルタイ、ポール	2
				ガストン・バシュラール、ミルチャ	2
第6回	環境の意味３	いくつかの心理学的立場について クオリア問題について（ニュートンの「光学」とゲーテの「色彩	2	行動主義心理学、ゲシュタルト心理	2
				科学的なものの見方（客観主義）と	2
第7回	環境世界の構造１	なわばり・パーソナルスペース―生命（個体性）と距離	2	『生物から見た世界』ユクスキュ	2
				生物の作る巣、世界各地の民家や集	2
第8回	環境世界の構造２	パーソナルスペースと社会的距離	2	『隠れた次元』E.T. ホールに目を	2
				身近な人の行動を観察し、E.T.	2
第9回	行為と環境世界１	J.ピアジェの発生的認識論―行為のシェマ（図式）の概念、ワロンの立場（場面の知）	2	J.ピアジェ、あるいは発達心理学に	2
				行為、身体、環境（の意味）の関係	2
第10回	行為と環境世界２	ゲシュタルト心理学と環境認知	2	ゲシュタルト心理学について調べ	2
				ゲシュタルト心理学と行動主義心理	2
第11回	行為と環境世界３	生態学的視覚論から観た行為と環境の意味－アフォーダンスの概念	2	アフォーダンスという語、『生態学	2
				ゲシュタルト心理学とアフォーダン	2
第12回	自己と環境の自己生成	オートポイエーシスシステム論における自己・環境及び社会システム	2	「オートポイエーシス」という語、	2
				河本英夫の著作物について調べ、興	2
第13回	行為の実践と環境・社会システム	実践的相互行為と環境・社会システムの変容	2	ニコラス・ルーマンについて調べ	2
				ニコラス・ルーマンの主張と他の社	2
第14回	行為の表現と環境・社会システム	行為の表現的側面と生活（居住）形式及び社会システムの変容	2	G.H.von ウリクトについて調べる。	2
				「説明することのできるもの」と	2
第15回	行為環境と景観・風土・自然	世界に住まうことと制作すること。そこでの自然・風土との関係	2	『建てる・住まう・考える』、『芸	2
				地域の風土と生活行為、制作のあり	2

担当者から

配布・提示する資料は、１）主に授業のテーマと相互の関連などを示すもの、２）毎回の授業の補足として必要なビジュアル資料、などにとどめているので、講義内容について適宜メモやノートをしっかり取ってほしい。黒板等に板書する場合も講義内容についての主題、補足が中心となるの

講義名	人間探求学（環境政策・計画）							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1150300	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101HUM101								

授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。授業形態は各学部により異なるが、学部毎に１年生を少人数グループ（５～６名）に分け、担当教員が割り当てられる。

各教員が、以下のことをねらいとして独自のプログラムを工夫する。
・大学で学ぶことの意義付け、人生における位置付け等について考えさせる機会とする。
・高校の教育課程から大学の教育課程にスムーズに移行できるようにする（受け身的な教育→自発的に学ぶ姿勢）。
・教員や他の学生のものの見方、考え方に直接触れ、触発される機会を提供する。
・教育の原点である人間と人間のふれあいの機会をつくる。
・人権感覚を磨く。

到達目標

(1)自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養う
(2)多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける
(3)人権感覚を磨く

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	55%	到達目標の(1)，(2)　45% 到達目標の(3)　10%
上記以外	45%	プレゼンテーション 到達目標の(1)，(2)　45%

到達目標の(1)～(2)はレポート（45%）およびプレゼンテーション（45%）、(3)はレポート（10%）で各担当教員が評価を行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導教員より適宜指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間探求学（環境政策・計画）							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1150300	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	101HUM101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	個別クラスでのガイダンス	研究倫理教育／アンケート／履修時間割の確認／ポータルサイトUSPoへの住所登録・メッセージ転送設定／学科関係部屋・図書館棟の掲示	2		
第2回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第3回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第4回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第5回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第6回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第7回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第8回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第9回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第10回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第11回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第12回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第13回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第14回	全体／個別クラスによる講義等	具体的な内容は学年担任／担当教員により提示される。	2		
第15回	個別クラスでのまとめ	学外現場演習の助言など	2		

担当者から

講義名	ＧＩＳ演習							担当教員	香川　雄一
講義コード	1200050	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実習		
ナンバリング番号	212ETR303								

授業概要

GIS（地理情報システム）は現在計画分野で活用されつつある。その基本を学び、GISを環境計画に応用するためのデータ作成方法、データ解析および表示方法について課題演習を通じて学習する。

到達目標

(1) GISの仕組みについて理解することができる。
(2) GISソフトを操作することができる。
(3) GISを利用するためのデジタル地図を選択することができる。
(4) GISを用いてオリジナルな主題図を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(4) GISを用いてオリジナルな主題図を作成することができる。・・・50%
上記以外	50	(1) GISの仕組みについて理解することができる。・・・10% (2) GISソフトを操作することができる。・・・30% (3) GISを利用するためのデジタル地図を選択することができる。・・・10%

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
4回以上欠席した場合（授業後の課題未提出を含む）は、課題をすべて提出しないと評価の対象としない。

授業外学習

授業の進度にしたがって小レポートを数回提出する。課題に必要な作業を宿題として出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図解！ArcGIS 10 Part1	佐土原聡編	古今書院	9784772241564
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Windowsを扱えること。

履修資格

講義名	ＧＩＳ演習							担当教員	香川　雄一
講義コード	1200050	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実習		
ナンバリング番号	212ETR303								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	GISの基礎	GISの仕組み、GISの応用分野、GISで利用可能なデータや地図投影法と測地系の説明	3	
第2回	ArcGISによる地図表示とレイアウト	GISソフト　ArcGISの使い方	3	
第3回	地図データの作成と編集（1）	人口密度図と建物構造分布図の作成	3	
第4回	地図データの作成と編集（2）	キャンパスマップの作成	3	
第5回	ベクターデータの解析（1）	引っ越しに必要なデータの表示	3	
第6回	ベクターデータの解析（2）	引っ越しに必要なデータの空間解析	3	
第7回	ラスターデータの解析（1）	雨量観測図の作成	3	
第8回	ラスターデータの解析（2）	パークアンドライドに適した駐車場の立地	3	
第9回	ラスターデータの解析（3）	パークアンドライド政策における条件決定	3	
第10回	データの作成・編集（1）	デジタル教育マップの作成	3	
第11回	データの作成・編集（2）	デジタル教育マップに必要なデータの表示	3	
第12回	データの作成･編集（3）	イメージデータのジオリファレンス	3	
第13回	位置データの作成	アドレスマッチングを利用した位置情報の地図化	3	
第14回	位置データの収集	スマートフォンによる位置情報の収集	3	
第15回	課題による演習	位置データの入力と空間解析結果の地図化	3	

担当者から

講義名	環境政策デザイン論・演習							担当教員	瀧　健太郎
講義コード	1200102	単位数	3	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	312ETR302-C								

授業概要

環境課題の解決や地域活性化を図るためには、関係する人びとの行動を喚起するための情報発信が欠かせない。本演習では、政策デザインの基礎能力のうち情報発信力を身に着けるため、地域メディアを制作する
。

演習前半では、情報発信の現場で活躍する実務者をゲスト講師に招き、情報収集・発信の要点について学ぶ。演習後半では、地域の環境・防災・まちづくりに係るテーマとフィールドを選び、学んだ技法を駆使してグループワークを通じて地域メディアを制作する。

演習の最後には、ゲスト講師陣に作成した地域メディアのプロポーザルを行い、評価・助言を受ける。

到達目標

(1) 相手方に寄り添った情報収集・取材の基本を身に着ける。
(2) 説得力があり魅力的な情報発信の基本を身に着ける。
(3) 創造的ディスカッションに貢献する意見発出の方法を身に着ける。
(4) 評価・助言を受け、改善点するプロセスを身に着ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)(2)(3)(4)について、班ごとのプロポーザル（中間発表を含む）、企画会議（創造的な意見交換）、および制作した作品により評価する。

届けなき欠席については１回あたり５点減点する。また、３分の１以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜提示または配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜提示または配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境政策デザイン論・演習							担当教員	瀧　健太郎
講義コード	1200102	単位数	3	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	312ETR302-C								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	ガイダンス	講義の進め方の説明と課題	3	
第2回	プロの目線（その①）	取材・制作・発信方法について、新聞記者の視点からのポイントを習い、演習を通じて身につける。	3	
第3回	プロの目線（その②）	取材・制作・発信方法について、地域メディア記者・編集者の視点からのポイントを習い、演習を通じて身につける。	3	
第4回	プロの目線（その③）	ファシリテーターの視点から、その場の空気を読み、描き、参加者と一体となって議論を前進させるための、グラフィックレコーディング	3	
第5回	プロの目線（その④）	グラフィックデザイナーの視点から、電子デバイスを用いたイラスト作成、グラフィックレコーディングの方法・コツを習得する。	3	
第6回	地域メディア制作①	４～５名にグループ分けをし、テーマ設定を行う。また、取材・制作計画を立てる。	3	
第7回	地域メディア制作②	立案した取材・制作計画に基づき、取材活動・制作作業を進める。	3	
第8回	地域メディア制作③	立案した取材・制作計画に基づき、取材活動・制作作業を進める。	3	
第9回	中間発表 その①	作品をより良いものにするため、各グループの作業経過を相互報告し助言を得る。	3	
第10回	地域メディア制作⑤	立案した取材・制作計画に基づき、取材活動・制作作業を進める。	3	
第11回	地域メディア制作⑥	立案した取材・制作計画に基づき、取材活動・制作作業を進める。	3	
第12回	中間発表 その②	作品をより良いものにするため、各グループの作業経過を相互に報告し助言を得る。	3	
第13回	地域メディア制作⑧	立案した取材・制作計画に基づき、取材活動・制作作業を進める。	3	
第14回	プロポーザル	情報発信のプロに制作したメディアについてプロポーザルを行い、評価・アドバイスを受ける。	3	
第15回	地域メディア制作⑨	プロポーザルでの評価・アドバイスを踏まえて修正し、作品を完成させる。	3	

担当者から

講義名	応用数学							担当教員	井手　慎司
講義コード	1200150	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112BTR202								

授業概要

数式化された問題をいかに解くかを、技術士試験問題を例題として解説する。

到達目標

(1)逆三角・複素関数の問題が解ける。
(2)微分・高次微分・偏微分の問題が解ける。
(3)極限と級数の問題が解ける。
(4)積分・微分方程式の問題が解ける。
(5)ベクトル・行列の問題が解ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標で示す(1)(2)(3)については、定期試験（30%：(1)10%,(2)10%,(3)10%）、(4)については定期試験（20%）、(5)については定期試験（20%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	30	到達目標で示す(1)(2)(3)については、中間試験（15%：(1)5%,(2)5%,(3)5%）、(4)については中間試験（5%）、(5)については中間試験（10%）で評価する。

中間試験を実施する。中間テストでは、H15-24の問題1から10の100問の中から10問だす。
定期試験はH15-24の全200問から20問だす。

授業外学習

毎週、グループ毎に次週までに解いてくる課題を1題ずつ課す。
おそらく授業では100問前後を解くのがやっとだろう。授業中に解説している問題が解ける者は授業を聞いている必要はない。自分で新しい問題を

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	科学技術者のための基礎数学	矢野健太郎・石原繁	裳華房	978-4-7853-1035-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校数学で数II・Bまでの基礎学力をもつこと。
高校で数IIIまでやっていない学生は、基礎数学ＩとIIを履修することが望ましい。

履修資格

講義名	応用数学							担当教員	井手　慎司
講義コード	1200150	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112BTR202								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	曲線・曲面	授業では技術士第一試験（数学）のH24年の問題から過去の問題に遡って1題ずつ解いていく。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第2回	逆三角関数		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第3回	微分		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第4回	高次微分		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第5回	極限		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第6回	級数		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第7回	積分		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第8回	微分方程式		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第9回	偏微分		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第10回	二重積分		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第11回	ベクトル		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第12回	行列		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第13回	行列式		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第14回	固有値（ベクトル）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第15回	まとめ復習		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2

担当者から

講義名	応用統計学Ⅰ							担当教員	白木　裕斗
講義コード	1200160	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212BTR301								

授業概要

社会現象における状況認識や問題発見、そしてその解決には、地域・社会調査により得られた情報、あるいは既存の統計資料を用いたデータ分析が重要となる。本授業では、講義により統計学の知識を習得するとともに、統計解析ソフトを用いたデータ分析の演習を行う。統計学に関する用語を理解した上で、推定や検定などの推測統計を実践する。また、標本サイズの決め方についても解説する。
キーワード：基本統計量、推測統計、検定・推定
この科目は社会調査士資格・地域調査士資格を取得する際に必要となる認定科目である。

到達目標

(1) 統計学的手法（特に検定・推定）について理解する。
(2) 実際の問題・データに対して統計学的手法を応用し、分析できる。
(3) 分析した問題を考察し、レポートとしてまとめられる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		。
レポート課題	40%	到達目標（3）は最終レポートにより評価する。
上記以外	60%	到達目標（1）（2）は実力テスト（（1）～（3）の各回20%）により評価する。なお、当該実力テストの回までの確認テスト（各回のレポートが提出されていない場合、実力テストの受験を認めない場合がある

到達目標（1）は毎回の確認テストで評価する。なお、当該実力テストの回までの確認テストが提出されていない場合、実力テストの受験を認めない場合がある。

授業外学習

配布資料や参考書などを用いて予習・復習をすることが望ましい。
また、毎回の確認テストを行う際に、授業内容についてしっかり復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	統計学がわかる ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学	向後千春・冨永敦子	技術評論社	9784774131900
2	統計学が最強の学問である	西内啓	ダイヤモンド社	978-4478022214
3	入門統計学	栗原伸一	オーム社	978-4274068553

上記以外の統計関連書籍も参考になります。

前提学力等

「基礎統計」の内容を十分理解していること。
MS Excelの基本的な操作ができること（入力・演算・関数の利用など）。

履修資格

講義名	応用統計学Ⅰ							担当教員	白木　裕斗
講義コード	1200160	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212BTR301								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	イントロダクション・基本統計量	授業のイントロダクションを行う。また、基本統計量（記述統計）について、復習する。	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第2回	度数分布・クロス集計・基準化	度数分布表の作成方法、クロス集計、基準化の方法を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第3回	母集団と標本	母集団や標本についての概念、検定・推定の基礎、および中心極限定理について学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第4回	母平均の区間推定	母平均の区間推定の方法を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第5回	母比率・母分散の区間推定	母比率・母分散の区間推定の方法を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第6回	実力テスト（１）	第５回までの内容に関するテストを行う	2	授業中に出題された実力テストを復	2
第7回	独立性の検定・残差分析	独立性の検定、残差分析の方法を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第8回	集団間の差の検定（対応なし）	対応のないデータを用いる場合の母分散・母平均・母比率の差の検定の方法を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第9回	集団間の差の検定（対応あり）	対応のあるデータを用いる場合の母平均・母比率の差の検定の方法を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第10回	実力テスト（２）	第９回までの内容に関するテストを行う	2	授業中に出題された実力テストを復	2
第11回	分散分析（１要因）	分散分析（１要因）の方法を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第12回	分散分析（２要因）	分散分析（２要因）の方法を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第13回	標本サイズの決め方	標本サイズの決め方を学ぶ	2	授業中に出題された確認テスト（各	4
第14回	実力テスト（３）	第１3回までの内容に関するテストを行う	2	授業中に出題された実力テストを復	2
第15回	まとめ	授業のまとめを行う	2	最終レポートを作成すること	10

担当者から

履修者数が55名以上の場合、環境政策・計画学科の学生以外の履修は認めない。

講義名	応用統計学Ⅱ							担当教員	村上　一真
講義コード	1200170	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212BTR302								

授業概要

この授業では、応用統計学Ⅰで取得した統計学についての基礎知識を踏まえ、より高度な統計技法、具体的には多変量解析（多変量解析の概要、重回帰分析、判別分析、因子分析、主成分分析、クラスター分析）の方法を理解すること、および多変量解析の環境問題の調査研究への適用事例概要を理解することを、ねらいとする。授業は、講義およびパソコン演習（統計ソフト使用）形式で行う。

到達目標

(1)統計学の基礎理論を理解し、応用分析に用いることができるようになる
(2)基本統計量を理解し、統計的思考・判断ができるようになる
(3)統計分析のソフトウェアを使用することができ、応用分析ができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)について、それぞれ平常点5（15/3）%、レポート11.7（35/3）%、中間まとめ8.3（25/3）%、期末試験8.3（25/3）%で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)について、それぞれ平常点5（15/3）%、レポート11.7（35/3）%、中間まとめ8.3（25/3）%、期末試験8.3（25/3）%で評価する。
上記以外		

授業外学習

レポート12回

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	RとRコマンダーではじめる多変量解析	荒木孝治	日科技連	
2				
3				

教科書に記載のある手順に従ってパソコン演習を実施するため、初回授業から教科書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	入門はじめての多変量解析	石村貞夫・石村光資郎	東京図書	
2				
3				

授業中にプリント配布

前提学力等

応用統計学Ⅰの内容をほぼ理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	応用統計学 II							担当教員	村上　一真
講義コード	1200170	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212BTR302								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	ガイダンス、多変量解析の概要	ガイダンス、多変量解析の概要、単回帰分析、相関、記述統計等（講義、パソコン演習）	2	
第2回	単回帰分析	単回帰分析、相関、記述統計等（講義、パソコン演習）	2	
第3回	重回帰分析１	重回帰分析１（講義、パソコン演習）	2	
第4回	重回帰分析２	重回帰分析２（講義、パソコン演習）	2	
第5回	重回帰分析３	重回帰分析３（講義、パソコン演習）	2	
第6回	判別分析１	判別分析１（講義、パソコン演習）	2	
第7回	判別分析２	判別分析２（講義、パソコン演習）	2	
第8回	中間まとめ	中間まとめ	2	
第9回	主成分分析１	主成分分析１（講義、パソコン演習）	2	
第10回	主成分分析２	主成分分析２（講義、パソコン演習）	2	
第11回	因子分析１	因子分析１（講義、パソコン演習）	2	
第12回	因子分析２	因子分析２（講義、パソコン演習）	2	
第13回	クラスター分析１	クラスター分析１（講義、パソコン演習）	2	
第14回	クラスター分析２	クラスター分析２（講義、パソコン演習）	2	
第15回	講義のまとめ	講義のまとめ	2	

担当者から

講義名	環境アセスメント							担当教員	錦澤　滋雄※／柴田　裕希※／杉本　卓也※
講義コード	1200300	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM207,312ETR305,313ARC305,314BRM394								

授業概要

環境アセスメントは、開発行為などに伴う環境・社会影響に配慮し、社会とのコミュニケーションを通じて、行政による最適な意思決定を支援する重要な手段である。本講義では、その制度体系と適用事例に基づく実際を論じる。具体的には、アセスの意義や方法論を法や条例の規定内容、それらが導出されるに至った歴史的経緯を踏まえて解説する。方法論については、調査・予測・評価の方法について、大気環境、動植物、景観などを題材に学ぶ。コミュニケーションの観点からは、市民参加や社会的な合意形成の問題も解説する。国内の状況だけでなく、欧米諸国の先進的な制度や実施状況について、新しいアセスである戦略アセスや持続可能性アセスの考え方について、米国における取り組みを中心に紹介する。

到達目標

（1）環境アセスメントとは何か、アセスの目的と要件を説明できる．
（2）調査・予測・評価の具体的手法とその問題点について説明できる．
（3）国内外のアセス法制度の概要、日本の制度の位置づけや課題を説明できる．
（4）SEA／SAの意義や特徴を説明できる．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	25	期末レポートを課す．
上記以外	75	授業中の課題．当日ブリーフレポートなどを課す．

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

環境アセスメントに関する本や論文の他に具体事業で作成された環境アセスメントの図書（方法書、準備書、評価書）を読むことでアセスの実際をより深く学ぶことができる．下記の環境省が提供するアセス支援ネットのページなどで閲覧できる．これらの情報はレポート執筆にも役立つ．

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境アセスメント学入門	環境アセスメント学会編	恒星社厚生閣	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版・環境アセスメント	原科幸彦	放送大学教育振興会	
2	都市・地域の持続可能性アセスメント	原科幸彦・柴田裕希他	学芸出版社	
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

履修資格

講義名	環境アセスメント							担当教員	錦澤　滋雄※／柴田　裕希※／杉本　卓也※
講義コード	1200300	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM207,312ETR305,313ARC305,314BRM394								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	オリエンテーション、アセスの要件と手続き	シラバスの内容の解説をした上で、環境アセスメントの目的、要件、手続概要について説明する．	2時	「環境アセスメント学入門」（恒星 環境アセスメントの要件、手続きに	1 1
第2回	スクリーニングとスコーピング	環境アセスメントを実施するか否かを判断するスクリーニング手続、及び、アセスの方法を決定するスコーピング手続について説明する．	2時	「環境アセスメント学入門」（恒星 環境アセスメントのスクリーニング	1 1
第3回	調査・予測・評価の方法（1）：大気質	大気質の調査・予測・評価の方法を説明する．	2時	「環境アセスメント学入門」（恒星 大気質の調査・予測・評価の方法に	1 1
第4回	調査・予測・評価の方法（2）：動物	動物の調査・予測・評価の方法を説明する．滋賀県立大学整備事業を具体事例として取り上げる。	2時	「環境アセスメント学入門」（恒星 動物の調査・予測・評価の方法につ	1 1
第5回	調査・予測・評価の方法（3）：景観	景観の調査・予測・評価の方法を説明する．滋賀県立大学整備事業を具体事例として取り上げる。	2時	「環境アセスメント学入門」（恒星 景観の調査・予測・評価の方法につ	1 1
第6回	アセス制度の歴史	環境アセスメント制度の創設経緯、制度の変遷について説明する．	2時	1967年（公害対策基本法）や1970年 1967年（公害対策基本法）や1970年	2 2
第7回	現行制度	わが国の環境アセスメントの現行制度について法アセスを中心に説明する．	2時	スクリーニングやスコーピングにつ アセス要綱や制定時（1997年）のア	2 2
第8回	自治体によるアセスの現状と課題	わが国の自治体による条例アセスの制度、実施実態や課題について説明する．	2時	滋賀県の環境アセスメント制度につ 授業で紹介した自治体のアセス制度	2 2
第9回	市民参加とコミュニケーション	アセスにおける市民参加手続やコミュニケーションの方法について説明する．	2時	環境アセスメントの手続きのどの時 環境アセスメントの参加手法やコ	2 2
第10回	意思決定とアセス	アセスに係る許認可や意思決定の問題について解説する．	2時	環境アセスメントの実施タイミング 授業で紹介した例を踏まえて、事業	2 2
第11回	アセスの事例	アセスの具体事例を紹介し、アセスの実際と課題について説明する．	2時	これまでの授業内容を振り返ると 講義で紹介した国内の環境影響評価	2 2
第12回	諸外国の制度（1）：米国NEPA	米国の国家環境政策法にもとづくアセスの取り組みを説明する．	2時	米国の環境影響評価について書かれ 講義で解説した諸外国の制度につい	2 2
第13回	諸外国の制度（2）：英国、EU	欧州諸国におけるアセスの取り組み（特に米国）を説明する．	2時	前回の講義で解説した諸外国の制度 授業で解説した、諸外国の制度と日	2 2
第14回	ミニアセスメント	小規模事業に適用される基礎自治体によるアセス、事業者が任意に行う自主アセス、あるいは簡易アセスについて説明する．	2時	身近な地域における、環境影響評価 講義で解説したミニアセスメントの	2 2
第15回	戦略的環境アセスメント（SEA）、SA	意思決定の上位段階に適用される戦略的環境アセスメントや、経済面・社会面なども含めて包括的に評価する持続可能性アセスメントにつ	2時	戦略的環境アセスメントについて書 講義で解説した戦略的環境アセスメ	2 2

担当者から

環境アセス制度は環境行政の基本的手段の一つであり、公務員を目指す者にとっては特に深い理解が求められる．また，アセスの適用範囲は近年より広くなっており民間企業が関与する機会も増えてきた．広い視野を持って学んでほしい．

講義名	環境会計							担当教員	北田　真紀※
講義コード	1200330	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	312ETC302,314BRM391								

授業概要

本講義では、企業経営における会計の役割を学修したうえで、環境会計を学びます。会計学の基礎からはじめ、財務諸表の読み方を確認します。環境会計では、環境問題の現状と企業経営の関係について学修し、内部環境会計、外部環境会計について理解を深めます。あらゆる業種における企業の環境・CSR報告書を読み、理解する学力をつけることにより、最終的には統合報告書も理解できるよう、講義を行います。

到達目標

会計学の基礎を学修したうえで、環境会計の学修したテーマについて説明できるようになる。

会計学基礎について
(1)会計学の基礎が理解できる。
(2)財務諸表の構成について理解することができる。

環境経営・環境会計について
(3)環境問題の現状と企業経営の関係について説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末試験期間内に期末試験を実施します。会計学の基礎の、環境経営・環境会計についての基礎知識の定着度をはかるため、70点満点で計算問題と論述問題を出題します。
レポート課題		
上記以外	30	授業時間内に中間テストを実施します。会計学の基礎の定着度をはかるため、会計学分野が修了した時点で実施します。 30点満点で簿記会計の計算問題、理論的背景についての基礎問題を出題します。

【秀】環境会計の理論的背景について応用論点も正確に論じられ、会計手続きも正確に解答できる。
【優】環境会計の理論的背景について応用論点も解答できるが少し課題点があり、会計手続きも正確に解答できる。
【良】環境会計の理論的背景について基本問題は解答できるが課題点が残り、会計手続きの基礎は解答できる。

授業外学習

教科書の該当箇所について、予習として1時間、復習として2時間ほど読み込んでおいてください。また日常的に経済新聞に目を通し、企業経営における会計のはたらきについて多くのケースにふれてください。環境問題にも関心を持ち、環境配慮型製品や、企業の取り組みについて積極的に調べ

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経営・会計（第2版）	國部克彦・伊坪徳宏・水口剛	有斐閣	978-4-641-12469-1
2				
3				

教科書を使用する時期をアナウンスしますので、初回から持参していなくても受講できます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布します。

前提学力等

「環境経営論」「環境マネジメント演習」をすでに履修しているか、同年度に履修すれば、より理解が深まるでしょう。

履修資格

講義名	環境会計							担当教員	北田　真紀※
講義コード	1200330	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	312ETC302,314BRM391								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	企業経営と会計の関係	企業経営における会計の役割① 企業経営とはなにか、組織とはなにか、会計学の基礎についてとりあ	120	予習として、企業経営とはなにか、 授業で学修した内容、企業経営とは	120 120
第2回	簿記の基礎	企業経営における会計の役割② 簿記の意義と基礎、貸借対照表と損益計算書の特徴について学びま	120	予習として、簿記の意義と基礎、貸 授業で学修した内容、簿記の意義と	120 120
第3回	簿記の基礎と手続き	企業経営における会計の役割③ 簿記の基礎を学びます。勘定、取引の意義と種類、仕訳と転記につい	120	予習として、簿記の基礎、勘定、取 授業で学修した内容、勘定、取引の	120 120
第4回	決算と財務諸表	企業経営における会計の役割④ 決算の意義と手続き、帳簿の締切りと財務諸表の作成について学びま	120	予習として、決算の意義と手続き、 授業で学修した内容、決算の意義と	120 120
第5回	企業経営と管理会計	企業経営における会計の役割⑤ 管理会計と財務会計の特徴について学びます。	120	予習として、管理会計と財務会計の 授業で学修した内容、管理会計と財	120 120
第6回	管理会計と経営戦略	企業経営における会計の役割⑥ 管理会計の基礎について学修したうえで、経営戦略と管理会計の関係	120	予習として、管理会計の基礎につい 授業で学修した内容、管理会計の基	120 120
第7回	企業経営における会計の役割　「総まとめ」	「企業経営と会計の役割」について学修したことを整理し、定着度を確認します。	120	第1回から第6回までに学修した内容 授業後は、「総まとめ」資料を整理	120 120
第8回	環境問題と企業経営	環境会計① 環境問題と企業のおかれている現状について学修します。	120	予習として、環境問題と企業のおか 授業で学修した内容、環境問題と企	120 120
第9回	環境経営における会計システム20	環境会計② 環境経営と会計システムについて学修します。	120	予習として、環境問題と企業のおか 授業で学修した内容、環境経営の本	120 120
第10回	環境管理会計	環境会計③ 内部環境会計の基礎	120	予習として、内部環境会計の基礎 授業で学修した内容、環境管理会計	120 120
第11回	環境財務会計	環境会計④ 外部環境会計の基礎	120	予習として、内部環境会計の基礎、 授業で学修した内容、外部環境会計	120 120
第12回	CSR経営	環境会計⑤ CSRとは何か、CSRの問題領域について学修し、環境経営からCSR経営	120	予習として、CSRとは何か、CSRの問 授業で学修した内容、CSRとは何	120 120
第13回	環境報告書	環境会計⑥ 環境情報開示と環境報告書について学修します。	120	予習として、環境情報開示と環境報 授業で学修した内容、環境情報開示	120 120
第14回	統合報告書	環境会計⑦ 統合報告書について学修し、事例を取り上げ理解を深めます。	120	予習として、統合報告書とは何か考 授業で学修した内容、統合報告書と	120 120
第15回	会計学基礎・環境会計「総まとめ」	会計学基礎・環境会計　「総まとめ」として、前期で学修した内容を整理し、定着度を確認します。	120	第1回から第15回までに学修した内 授業後は、「総まとめ」資料を整理	120 120

担当者から
授業時間内に中間テストを実施するが、採点後、返却しフィードバックを行う。 中間テスト以降の学修においてつまづかないよう、得点率の低い問題について復習する時間を設ける。

講義名	環境化学Ⅰ							担当教員	丸尾　雅啓
講義コード	1200370	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111DFM109,312PEL304,114BRM121								

授業概要

環境科学の学習、および教員を目標とするにあたり、必要な化学の基礎知識について、物理化学、無機化学を中心に講義する。高等学校で現象のみ扱っていた事項に関し、原理・法則に基づいた理解を深める。また実際の環境での化学物質の形態や変化に適用するための考え方について学ぶ。

各到達目標の達成を目的として、予習用・復習用課題・講義時間内の演習を課す。これに定期試験の成績をあわせて評価する。予習・復習課題の添削補助、講義時間内の演習等に対し、確実な理解と知識定着を促すために、教育補助員を採用して授業を展開する。

到達目標

1）　化学で用いる基本的法則・表記法を理解し、適用できる。
2）　物質の三態と各々の構造、実在気体における状態方程式を理解する。
3）　化学平衡を理解し、溶解平衡、酸塩基平衡の概念を理解して種々の系に応用できる。
4）　酸化還元電位、酸化還元平衡の概念を理解し、実際の系に適用できる。
5）　反応速度、反応機構における律速段階を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	
レポート課題	40	
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版　大学生の化学	大野惇吉	三共出版	978-4-7827-0762-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	メイアン大学の化学　第2版　（絶版：図書館にあり）	メイアン	広川書店	
2	元素発見の歴史１・２・３	大沼正則 訳	朝倉書店	
3	大学の化学講義　改訂版	杉森彰・富田功	裳華房	

講義に関連する内容、課題を含んだプリントを配布します。

前提学力等

高等学校「化学基礎」・「化学」を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境化学Ⅰ							担当教員	丸尾　雅啓
講義コード	1200370	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111DFM109,312PEL304,114BRM121								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	物質の成り立ちと原子（同位体）	物質の構成要素、分離法、原子（同位体）について述べる。	2時	高等学校で学習した物質の構成要 現代科学で用いられる、新規の分離	2 2
第2回	元素の周期律と原子構造	元素の性質の周期性、原子の構造、ボーアの原子模型について述べる。	2時	周期表の持つ意味、原子の構造との 原子の発光、吸光現象の示す意味に	2 2
第3回	原子模型と量子数、電子配置と周期表	4種の量子数について述べる。　原子軌道上の電子配置の法則性と元素の周期について述べる。	2時	4つの量子数が示す、原子の電子配 原子番号に基づいて、正確な電子配	2 2
第4回	混成軌道と分子構造	分子軌道を成立させる混成軌道、構造異性体について述べる。	2時	分子軌道と混成軌道について、教科 構造異性体のうち、sp、sp2、sp3混	2 2
第5回	分子間の引力・溶媒和	分子間に作用する引力、水による溶媒和について述べる。	2時	環境科学で重要な位置を占める水圏 水素都合（分子間、分子内）の存在	2 2
第6回	気体の性質	理想気体、実在気体の持つ性質についてのべる。	2時	理想気体の状態方程式、分圧の法則 実在気体の状態方程式の持つ意味と	2 2
第7回	液体（水）の性質、化学熱力学	水の持つ特殊な性質、化学熱力学に基づいた二相間の相互作用（沸点上昇など）について述べる。	2時	高等学校学習内容における沸点上 ギブズ自由エネルギーの式に基づい	2 2
第8回	化学平衡	化学反応の動的平衡について述べる。	2時	高等学校で学習した、化学平衡の意 平衡定数の式がギブズ自由エネル	2 2
第9回	反応速度・溶解平衡	反応速度の考え方、反応律速段階について述べる。また、溶解度積の取り扱いについて解説する。	2時	化学反応の速度式の扱いについて、 塩化銀など難溶性塩における濃度計	2 2
第10回	酸塩基平衡	水圏の化学を学ぶための基本である酸塩基平衡についてのべる。	2時	酸塩基の各種定義について確認し、 中和反応の量的関係、簡単なｐＨ計	2 2
第11回	緩衝溶液とpH（１）	実験室で用いる、pHの緩衝溶液、緩衝作用について述べる。	2時	緩衝溶液の持つ意味、用途について pH緩衝溶液の調製、緩衝作用の確認	2 2
第12回	緩衝溶液とpH（２）	希薄な酸塩基溶液におけるpHの求め方、弱酸－強塩基の塩、あるいは降水のように緩衝能をほとんど持たない溶液のｐHの取り扱いについ	2時	実際の環境中における緩衝作用の実 緩衝作用のほとんどない溶液におけ	2 2
第13回	酸化と還元	生命現象、環境変化にかかわる酸化還元反応について述べる	2時	高等学校における酸化、還元の定 酸化還元の反応式を作成する課題を	2 2
第14回	酸化還元電位	酸化還元反応の量的扱いを理解するために、標準電極電位、電位の変化を表すNernst式について述べる	2時	イオン化傾向について、高等学校で ネルンスト式に基づいて、各種電極	2 2
第15回	酸化還元平衡	酸化還元電位と平衡定数の関係について説明する。	2時	濃淡電池の意味と応用について調査 各種pH、濃度条件における電池の電	2 2

担当者から

講義名	環境科学概論 I							担当教員	小泉　尚嗣／籠谷　泰行／泉　泰弘／後藤　直成／高倉　耕一
講義コード	1200390	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111FFM103,112BTR101,113ARC102,114BRM101								

授業概要

地球環境を構成する要素と環境変化の時空間スケールを把握した上で，土壌環境ならびに陸域・水域生態系の基本的構造とこれらに見られる今日的な諸問題について学ぶとともに，これからの食料確保と環境保全のあり方を展望する．

到達目標

環境変動の仕組みについて基本的な理解を得るとともに，自然環境と人間活動の関わり方について深く考察できる能力を身につける．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	期末試験の成績により評価する。
レポート課題	40	各担当教員の実施する小テストの結果を積算して評価する。
上記以外		

毎回出欠を確認する。各担当教員は授業内容について小テストを実施する。

授業外学習

授業をきっかけにして自分で参考書類を読むなどしてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：使用しない．プリントした資料を配布する．

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：講義の中で必要に応じて紹介する．

前提学力等

高校理科習得程度．

履修資格

講義名	環境科学概論Ⅰ							担当教員	小泉　尚嗣／籠谷　泰行／泉　泰弘／後藤　直成／高倉　耕一
講義コード	1200390	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111FFM103,112BTR101,113ARC102,114BRM101								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	地球の形成，進化論の受容度	地球の形成について学ぶ．進化論の受容度が国によって違うことを学び，その理由について考察する．	2	地球の形成と進化論について調べ 地球の形成の仕方について復習す	2 2
第2回	プレートテクトニクスと日本列島の形成	プレートテクトニクスの理論とそれに基づく日本列島の形成について学ぶ。	2	プレートテクトニクスについて調べ プレートテクトニクスによる日本列	2 2
第3回	琵琶湖と活断層	日本最大の湖：琵琶湖は断層活動によってできた「断層湖」である．琵琶湖と活断層との関係について学ぶ。	2	琵琶湖周辺の活断層について調べ 琵琶湖と活断層との関係について、	2 2
第4回	生態系の成り立ち	生態系の成り立ち、物質循環・エネルギーの流れと人間活動の影響について学ぶ。	2	生態系の概要、さまざまな生態系に 生態系の成り立ち、さまざまな生態	2 2
第5回	陸域生態系と環境問題①	地域・集水域の環境問題と陸域生態系の関係について学ぶ。	2	さまざまな地域・集水域の環境問題 地域・集水域の環境問題と陸域生態	2 2
第6回	陸域生態系と環境問題②	地球環境問題と陸域生態系の関係について学ぶ。	2	さまざまな地球環境問題について調 地球環境問題と陸域生態系の関係に	2 2
第7回	環境と意識	「人はどのように環境を意識しているのか？」を考える。	2	授業の内容を整理し，理解する。	4
第8回	環境と多角的視点	多角的視点から環境を眺めてみる。	2	授業の内容を整理し，理解する。	4
第9回	環境と循環	物質循環の観点から環境を考える。	2	授業の内容を整理し，理解する。	4
第10回	ヒトの進化と環境	我々は現在に至るまでどのような進化を経てきたのか、その過程で環境とどのような相互作用を経験してきたのかについて学ぶ。	2	ヒトの暴力性の変化について、現在 授業の内容を整理し，理解する。	2 2
第11回	生物の絶滅	生物の絶滅とその要因について、その背景としての人間社会の変遷とともに学ぶ。	2	原始のヒトとともに生きていた大型 授業の内容を整理し，理解する。	2 2
第12回	滋賀県・近畿の外来生物問題	滋賀県をふくむ近畿地方における外来生物問題とその研究の現状について学ぶ。合わせて、科学研究におけるデータの意味について考え	2	身近な絶滅危惧種について調べる。 授業の内容を整理し，理解する。	2 2
第13回	食料は足りているか？	人口問題と食料問題について解説する。	2	世界の人口や食料需給の現状につい 人口増加に見合った食料生産を達成	2 2
第14回	環境問題と農業（１）	種々の環境問題が農業に及ぼす影響について解説する。	2	地球温暖化に関する懐疑論について 植物生産に対する地球温暖化の直接	2 2
第15回	環境問題と農業（２）	農業活動が地球環境に及ぼす影響について解説する。	2	不適切な農業活動によってどのよう 環境保全型農業、持続型農業を実現	2 2

担当者から

授業は原則対面で行うが，新型コロナ感染症の流行状況等によっては，リモート形式で行う場合がある．それに伴って，内容や成績評価手法も変更する場合がある．

講義名	環境科学概論II							担当教員	瀧　健太郎／井手　慎司／増田　清敬／上河原　献二／芦澤　竜一
講義コード	1200400	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111FFM104,112BTR102,113ARC103,114BRM102								

授業概要

多様な形で生じる環境問題は、社会の仕組みや制度と密接な関係を持っている。環境問題の解明と解決のために必要な社会的な視点やアプローチ方法について、具体的問題を取り上げながら教授する。

到達目標

次に例示するような環境問題の社会的側面について多面的に理解し説明できること。
A 環境問題を解決することの難しさを社会的ジレンマ構造によって説明できる。
B 農業が環境に及ぼす正負の影響とそれらに対する政策対応について説明できる。
C 地球環境問題と持続可能な開発の基本的な事項について説明できる。
D 建築と環境との関わりを多角的に説明できる。
E 流域社会で顕在化する課題、および減災の考え方について説明できる。
F すまうという行為と環境との関わりを多面的に説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	環境問題の社会的側面について多面的に理解し説明できること
レポート課題		
上記以外	50%	各回の小テスト

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境科学概論Ⅱ							担当教員	瀧　健太郎／井手　慎司／増田　清敬／上河原　献二／芦澤　竜一
講義コード	1200400	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111FFM104,112BTR102,113ARC103,114BRM102								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	環境問題へのアプローチ －社会的ジレンマと	環境問題に対するいくつかのアプローチ方法について紹介する。まずは，環境問題の根底にある社会的ジレンマの構造をゲーム理論によっ	6		
第2回	環境問題へのアプローチ －社会的ジレンマと	社会的ジレンマ構造は解消できるのか？　すべての社会の仕組みやルールは戦略活用行動として，社会的ジレンマ構造を解消するために	6		
第3回	環境問題へのアプローチ －社会心理学－	人間とは不合理な生き物である。なぜ意識ではわかっている環境配慮が行動につながらないのだろう？ 心理学的なアプローチで説明す	6		
第4回	地球環境問題とは何か	地球環境問題とは何か。どのような問題が起きているのか，どのように認識されてきたのか。国際社会はどのように対応してきたのか。事	6		
第5回	持続可能な開発とは何か	持続可能な開発とは何か。その考え方はどのように形成されたのか。また，事例として，国際的なアフリカゾウ論争を取り上げる。	6		
第6回	生物多様性保全とは何か	生物多様性とは何か、生物多様性保全はどのようにして国際的政策となったのかについて学ぶとともに、生物多様性はなぜ保全しなければ	6		
第7回	環境保全型農産物：生産編	環境保全型農業は，環境影響を緩和する持続可能な農法と考えられているが，果たして本当にそうなのだろうか。滋賀県の環境こだわり農	6		
第8回	環境保全型農産物：消費編	環境保全的に栽培された農産物について，消費者は環境にやさしいと思っているのだろうか。滋賀県でのアンケート調査を例として取り上	6		
第9回	環境と建築－歴史的考察	歴史において，建築やまちづくりと環境がどのような関係をもってきたか考察する。	6		
第10回	環境と建築－現在から未来へ	20世紀以前の建築を振り返りながら，21世紀における環境と関係をつくる建築の役割や可能性について考察する。	6		
第11回	治水論	古来、水を制するものは国を制すると言われる。近年、気候変動に伴い洪水災害のリスクが高まり治水が再び重視されている。国土管理・	6		
第12回	防災教育	地震・津波・洪水・土砂災害など、自然災害から地域コミュニティを守るためには、日頃からの防災教育が重要な役割を果たす。効果的な	6		
第13回	ZEBの概要と動向	ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）とは何か。省エネルギー建築とZEBの概要を勉強する。また、これらに関する日本と世界の動向について説	6		
第14回	ZEBの事例_日本	日本の事例を通じて、ZEBを実現するために必要な様々な技術を紹介し、今後の展望について検討する。	6		
第15回	ZEBの事例_海外	海外の事例を通じて、各国でZEBに導入されている技術と地域特性による違いを紹介し、今後の展望について検討する。	6		

担当者から

講義名	環境学原論/							担当教員	村上　修一
講義コード	1200440	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	212BTR201								

授業概要

本科目では，専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる，川の問題をとりあげる。まず，国内における川の未来像の決め方について現状が理解できるよう，河川行政に関する資料を用いて説明する。次に，川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになるために，特定の事例を紹介しながら問題点について説明する。その上で，川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになるために，参考となる国内外の事例を紹介し，改善策案出のポイントを説明する。

到達目標

(1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
(2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。
(3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標（1）： ワークシート1（30%） 到達目標（2）： ワークシート2（30%） 到達目標（3）： ワークシート3（40%）

ワークシート1，2，3は，それぞれ第5，10，14回の授業時間内に履修生が記述し，回収される。第6，11，15回に解説が行われ，履修生は理解を深める。

授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票―市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学―吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田滋　他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境学原論/							担当教員	村上　修一
講義コード	1200440	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	212BTR201								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	あなたにとって川とは？	川との関わりを再認識し，川の未来を考えることの重要性を意識するようになる。	2	あなたの身近にある川を地図などで 授業内容をふまえて，あなたの身近	2 2
第2回	川の未来像を決める5W1H	国内における川の未来像の決め方について基本を理解する。	2	国土交通省の河川事業についての 授業内容にもとづき，国土交通省の	2 2
第3回	川の未来像を決める最初の一歩	河川整備基本方針の内容を理解する。	2	国土交通省のホームページで吉野川 授業内容にもとづき，河川整備基本	2 2
第4回	川の未来像を決める具体的な内容とは？	河川整備計画の内容を理解する。	2	Teamsで示すリンク先にて吉野川水 授業内容にもとづき，河川整備計画	2 2
第5回	ワークシート1	国内における川の未来像の決め方について理解したことを書いてみる。	2	第2～4回で学習した内容を見直して ワークシート1と第2～4回で学習し	2 2
第6回	ワークシート1の解説	国内における川の未来像の決め方について理解を深める。	2	ワークシート1と第2～4回で学習し 解説にもとづき，ワークシート1の	2 2
第7回	これだけは変えられない？	川の未来像を決める二重構造－河川整備基本方針と河川整備計画との間に存在する問題点を理解する。	2	吉野川の第十堰可動堰化問題に関す 授業内容にもとづき，川の未来像を	2 2
第8回	川は「溝」なのか？	河道主義にもとづく川の未来像の決め方について現状と問題点を理解する。	2	Teamsで示すリンク先にて吉野川流 授業内容にもとづき，河道主義にも	2 2
第9回	川の未来像を決める「みんな」とは？	流域委員会の現状と問題点を理解する。	2	Teamsで示すリンク先にて吉野川流 授業内容にもとづき，流域委員会の	2 2
第10回	ワークシート2	川の未来像の決め方における問題点を特定し書いてみる。	2	第6～8回で学習した内容を見直して ワークシート1と第6～8回で学習し	2 2
第11回	ワークシート2の解説	川の未来像の決め方における問題点について理解を深める。	2	ワークシート2と第6～8回で学習し 解説にもとづき，ワークシート2の	2 2
第12回	国内の事例にはどのようなヒントがある？	川の未来像の決め方はどうあるべきか，新たな方向を示す国内の事例について理解しヒントを得る。	2	武庫川流域委員会と滋賀県流域治水 授業内容にもとづき，第11回で理解	2 2
第13回	海外の事例にはどのようなヒントがある？	川の未来像の決め方はどうあるべきか，新たな方向を示す海外の事例について理解しヒントを得る。	2	シンガポールのABC Water Program 授業内容にもとづき，第11回で理解	2 2
第14回	ワークシート3	川の未来像の決め方に対して改善策を案出し書いてみる。	2	第12～13回で学習した内容を見直し ワークシート3と第12～13回で学習	2 2
第15回	ワークシート3の解説	川の未来像の決め方に対する改善策について理解を深める。	2	ワークシート3と第12～13回で学習 解説にもとづき，ワークシート3の	2 2

担当者から

講義名	環境監査							担当教員	池北　實※
講義コード	1200480	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM204,312ETR303,313ARC304,314BRM392								

授業概要

地球温暖化防止をはじめとした環境問題の解決には、各組織の継続的な取り組みが欠かせない。このためには、経営に環境マネジメントシステムを導入することが不可欠とされ、多くの組織で導入されている。一方、マネジメントシステムには公正性と透明性が必要である。その健全性を確保し運用の実態を検証するために監査が必要となる。
本講では、環境マネジメントシステム（ISO14001)及び環境監査（ISO19011）を中心に学び、環境マネジメントシステム及びそのチェック機能としての環境監査のあり方や手法を理解する。更に、環境政策、企業の環境対応の現状、森林認証など監査（認証）の多様性を学ぶ。
キーワード：環境監査、内部監査、環境マネジメントシステム、ISO14001、ISO19011

到達目標

（１）地球環境問題及び対応する取り組み並びに環境管理に関する国際規格について概要を説明できる。
（２）環境監査の基準となるISO14001環境マネジメントシステム規格について、全体構築を含めて説明できる。
（３）ISO19011マネジメントシステム監査のための指針に準拠した内部環境監査の運用を説明できる。
（４）多様な分野における各種マネジメントシステムの特徴や政策科学の視座での手法を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	（１）第１回～第２回：１回の小テスト１０％ （２）第３回～第６回：１回の演習１５％、１回の小テスト１５％ （３）第７回～第１２回：１回の演習２０％、１回の小テスト２０％

小テストの一つは、内部環境監査の理解度テストとして位置づけて、「内部環境監査員養成講座修了証」授与の条件にもなります。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは、毎回講義でプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新・よくわかるISO環境法[改訂第16版	鈴木敏央	ダイヤモンド社	9784478113196
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境監査							担当教員	池北　實※
講義コード	1200480	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM204,312ETR303,313ARC304,314BRM392								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス　授業方針	・地球環境問題とISO14001環境マネジメントシステム規格の制定 ・BS7750環境管理･監査システムの概要	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第2回	ISO14001支援ツール規格と概要	・環境監査/ISO19011 ・環境パフォーマンス評価/ISO14031	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第3回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の解	規格要求事項／ISO14001:2015	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第4回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の解	規格要求事項／ISO14001:2015	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第5回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の解	規格要求事項／ISO14001:2015	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第6回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の解	規格要求事項／ISO14001:2015	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第7回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の運	・環境側面集計と環境影響評価の手法	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第8回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の運	・環境法規の体系、主要環境法規の概要	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第9回	環境監査（1）	・環境監査の種類、環境監査のシステム、環境監査の実施プロセス ・ISO19011マネジメントシステム監査のための指針の解説	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第10回	環境監査（2）	・ISO19011マネジメントシステム監査のための指針の解説 ・監査計画と監査チェックリストの作成	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第11回	環境監査（3）	・内部監査/是正処置報告書の作成 ・演習とレビュー（1）	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第12回	環境監査（4）	・演習とレビュー（2）	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第13回	中小事業者向け環境マネジメントシステム	・エコアクション21、KES、エコステージ ・ISO14005段階的実施環境マネジメントシステム規格	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第14回	監査の多様性	・品質、情報セキュリティ、食品安全、森林認証	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2
第15回	政策科学から見た環境マネジメントシステム	・政策手法、政策事例、企業の対応	2	授業業開始までにUSPoで通知する指 授業での学習内容や確認した不明点	2 2

担当者から

講義名	環境経営学							担当教員	高橋　卓也
講義コード	1200555	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212BTR204								

授業概要

企業は環境破壊について多大な責任を有する一方、そのダイナミックな革新能力によって問題解決への貢献をなしうる。この授業では，企業経営者または株主（所有者）の視点に限定されることなく、従業員、政府、社会全体の視点からも、企業と自然環境の関係をいかに改善するかについて考えていきたい。その枠組みとして、経済学、経営学、政治学、社会学といった社会科学の諸分野を援用する。

到達目標

(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快に説明できるようになる。(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快に説明できるようになる、および(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる、については、期末筆記試験（50%：(1)25%,(2)25%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快に説明できるようになる、および(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる、については、各回の参加および課題作業内容（20%：(1)10%,(2)10%）、事例報告（30%：(1)15%,(2)15%）で評価する。

授業外学習

講義内容の復習。事例研究報告のための準備。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	適宜、資料を配布する。			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	自然資本の経済―「成長の限界」を突破する新産業革命	ポール・ホーケン、L．ハンター・ロビンス、エイモリー・B．ロ	日本経済新聞社	978-4532148713
2	ディープエコノミー 生命を育む経済へ	ビル・マッキベン	英治出版	978-4862760296
3	グリーン・トゥ・ゴールド―企業に高収益をもたらす「環境マネジメント」戦略	ダニエル・C．エスティ	アスペクト	978-4757214927

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境経営学							担当教員	高橋　卓也
講義コード	1200555	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212BTR204								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	導入―なぜ環境経営を考えるのか	環境経営とは何か、環境経営について考える意義について論ずる。	2	導入―なぜ環境経営を考えるのか、 導入―なぜ環境経営を考えるのか、	 4
第2回	環境マネジメントシステム：　その経緯、本	ISO14001などの環境マネジメントシステムの実態、効果、課題について講義をおこなう。	2	環境マネジメントシステムについて 環境マネジメントシステムについて	 4
第3回	環境と金融・財務：お金と環境はどう関係	金融・財務がどのように環境問題の解決に貢献できるのか講義をおこなう。	2	環境と金融・財務について予習す 環境と金融・財務について復習す	 4
第4回	環境効率、ファクター：　ファクター	環境効率という概念および応用例について解説する。	2	環境効率、ファクターについて予習 環境効率、ファクターについて復習	 4
第5回	環境マーケティング：　どのようにすれば環	環境配慮をマーケティング概念を用いて売り込む手法について学ぶ。環境配慮行動を普及する方法についてもマーケティングの考え方を応	2	環境マーケティングについて予習す 環境マーケティングについて復習す	 4
第6回	環境ビジネス、環境産業：　その意義と可能	環境ビジネス、環境産業の定義、分類と実態。成功のためのヒントについて学ぶ。	2	環境ビジネス、環境産業について予 環境ビジネス、環境産業について復	 4
第7回	リーダーシップ・企業文化の変革	環境配慮型企業にどのようにすれば転換できるのか、企業変革論を参考にして考える。	2	リーダーシップ・企業文化の変革に リーダーシップ・企業文化の変革に	 4
第8回	環境経営の意義（１）：経営戦略とし	環境経営を実践する意義について、利益に貢献するという経営戦略面から考察する。	2	環境経営の意義（１）：経営戦略と 環境経営の意義（１）：経営戦略と	 4
第9回	環境経営の意義（２）：企業の社会的	環境経営を実践する意義について、企業の社会的責任、企業市民としての役割りという面から考察する。	2	環境経営の意義（２）：企業の社会 環境経営の意義（２）：企業の社会	 4
第10回	環境経営最前線（１）	環境経営の新たな話題について紹介する。	2	環境経営の新たな話題について予習 環境経営の新たな話題について復習	 4
第11回	環境経営最前線（２）	環境経営の新たな話題について紹介する。	2	環境経営の新たな話題について予習 環境経営の新たな話題について復習	 4
第12回	環境経営最前線（３）（ゲストスピー	ゲストスピーカーによる講義	2	ゲストスピーカーについて予習す ゲストスピーカーについて復習す	 4
第13回	事例研究報告１	受講生が選択したテーマについて報告する。お互いに評価をおこなう。	2	事例研究報告の準備をする。 事例研究報告の振り返りを行う。	 4
第14回	事例研究報告２	受講生が選択したテーマについて報告する。お互いに評価をおこなう。	2	事例研究報告の準備をする。 事例研究報告の振り返りを行う。	 4
第15回	事例研究報告３	受講生が選択したテーマについて報告する。お互いに評価をおこなう。	2	事例研究報告の準備をする。 事例研究報告の振り返りを行う。	 4

担当者から

講義名	環境計画学							担当教員	瀧　健太郎
講義コード	1200560	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212BTR203,313ARC206								

授業概要

講義前半は、数理計画法を基礎を学び、計画立案の実務のベースとなる技能を習得する。進捗に応じて講義内容に関する小テストを２回実施し習得度を確認する。講義後半は、自然環境と社会経済活動との関係性に着目しながら、環境計画の歴史的変遷、意義・分類・手法・実例を体系的に解説する。

到達目標

(1) 国内の主要な環境計画の変遷と目的・内容について体系的に説明できる。
(2) 代表的な数理的計画手法を習得する。
(3) 計画策定プロセス・進行管理について体系的に説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)(2)(3)について、定期試験で評価する。 (1) 15% (2) 30%
レポート課題		
上記以外	40	到達目標(1)(2)(3)について、小テストで評価する。 (1) 10% (2) 20%

３分の１以上欠席した場合は、評価の対象としない。届けのない欠席については、一回５点の減点とする。

授業外学習

毎回、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義ごとに配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境計画・政策研究の展開 ー 持続可能な社会づくりへの合意形成	原科幸彦	岩波書店	4000224735
2	新版数理計画入門	福島雅夫	朝倉書店	4254280041
3	土木計画学ー公共政策の社会科学	藤井聡	学芸出版社	4761531665

前提学力等

履修資格

講義名	環境計画学							担当教員	瀧　健太郎
講義コード	1200560	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212BTR203,313ARC206								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	計画学基礎 ― 計画とは何か①	計画の基礎（基本概念、種別など）について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第2回	計画学基礎 ― 計画とは何か②	計画の基礎（策定・実施プロセス、行政計画の分類など）について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第3回	環境計画・開発計画の変遷	わが国の環境計画と開発計画の明治期から今日に至るまでの変遷について、時代背景と共に両者を対比しながら解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第4回	環境基本計画（国）	国が策定する環境基本計画の概要（位置づけ、策定プロセス、内容とその特徴など）について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第5回	環境基本計画（自治体）	都道府県および市町村の環境基本計画の概要（位置づけ、策定プロセス、内容とその特徴など）について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第6回	数理計画法 ― 線形計画法①	シンプレックス法による線形計画問題の解法について解説する。	6	
第7回	数理計画法 ― 線形計画法②	二段階シンプレックス法による線形計画問題の解法について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第8回	数理計画法 ― 非線形計画法③	双対シンプレックス法による線形計画問題の解法について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第9回	数理計画法 ― 非線形計画法①	制約条件のない非線形計画問題の解法について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第10回	数理計画法 ― 非線形計画法②	制約条件（等式）のある非線形計画問題の解法について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第11回	数理計画法 ― 非線形計画法③	制約条件（不等式）のある非線形計画問題の解法について解説する。	6	
第12回	数理計画法 ― 非線形計画法④	最急勾配法、ニュートン法による解法について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第13回	人工知能入門	人工知能の基礎および人工知能を用いた計画立案手法について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第14回	機械学習 その①	ロジスティクス回帰、ランダムフォレスト、勾配ブースティング決定木などの機械学習の方法について解説する。	6	講義内容を復習するための宿題を課
第15回	機械学習 その②	pythonによる機械学習のプログラミングの基礎について学ぶ。	6	講義内容を復習するための宿題を課

担当者から

講義名	環境経済演習							担当教員	林　宰司
講義コード	1200571	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	112ETR202								

授業概要

本科目では経済学の基本的な考え方、思考方法を身につけ、環境を経済学的に分析できるようになることを目的とする。　経済学は他の学問分野に比べて、独特な思考方法や概念、専門用語、論理構成が多く、初学者にとっては近づきがたい側面があるかもしれない。本科目ではこのような経済学独特の考え方について解説するとともに、環境分析の際に経済学的思考ができるための準備をする。

到達目標

(1)経済学の基本的な考え方・思考方法を身につけ、環境問題を経済学的に分析・説明できるようになること。(2)経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、環境問題について、定性的・定量的分析ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標（1)30%，（2)30%
レポート課題	20%	到達目標（1)10%，（2)10%
上記以外	20%	講義時間中に実施するテスト 到達目標（1)10%，（2)10%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎回，予復習をしっかり行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	2022-23年合格目標 公務員試験 本気で合格！過去問解きまくり！⑬ミクロ経済学	東京リーガルマインド LEC総合研究所 公務員試験部	東京リーガルマインド	
2				
3				

教科書については、改訂された場合、新しい版を使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境経済演習							担当教員	林　宰司
講義コード	1200571	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	112ETR202								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	消費者理論(1)	無差別曲線	2	教科書第1編第1章SECTION1を予習。 教科書第1編第1章SECTION1の内容、	0. 0.
第2回	消費者理論(2)	最適消費	2	第1編第1章SECTION2を予習。 教科書第1編第1章SECTION2の内容、	0. 0.
第3回	消費者理論(3)	所得の変化	2	教科書第1編第2章SECTION1を予習。 教科書第1編第2章SECTION1の内容、	0. 0.
第4回	消費者理論(4)	価格変化・財の分類	2	教科書第1編第2章SECTION2を予習。 教科書第1編第2章SECTION2の内容、	0. 0.
第5回	消費者理論(5)	需要の価格弾力性	2	教科書第1編第3章SECTION1を予習。 教科書第1編第3章SECTION1の内容、	0. 0.
第6回	消費者理論(6)	異時点間の消費、余暇と労働	2	教科書第1編第4章SECTION1・2を予 教科書第1編第4章SECTION1・2の内	0. 0.
第7回	中間まとめテスト および	第1～6回の内容の確認テスト および	2	第1～6回の内容の復習。 確認テストの復習。	0. 0.
第8回	生産者理論(2)	費用最小化	2	教科書第2編第1章SECTION2を予習。 教科書第2編第1章SECTION2の内容、	0. 0.
第9回	生産者理論(3)	費用曲線	2	教科書第2編第2章SECTION1を予習。 教科書第2編第2章SECTION1の内容、	0. 0.
第10回	市場理論(1)	パレート最適	2	教科書第3編第1章SECTION3を予習。 教科書第3編第1章SECTION3の内容、	0. 0.
第11回	市場理論(2)	独占	2	教科書第3編第2章SECTION1を予習。 教科書第3編第2章SECTION1の内容、	0. 0.
第12回	市場理論(3)	複占・寡占	2	教科書第3編第2章SECTION2を予習。 教科書第3編第2章SECTION2の内容、	0. 0.
第13回	市場理論(4)	ゲーム理論	2	教科書第3編第3章SECTION1を予習。 教科書第3編第3章SECTION1の内容、	0. 0.
第14回	市場理論(5)	不確実性の経済学、情報の非対称性	2	教科書第3編第5章SECTION1・2を予 教科書第3編第5章SECTION1・2の内	0. 0.
第15回	まとめ	第1～14回の復習	2	第1～14回の内容を復習する。 教科書、講義ノートを復習し、教科	0. 0.

担当者から

講義名	環境経済学							担当教員	林　宰司
講義コード	1200580	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312ETC303,214BRM291								

授業概要

環境経済学の基礎理論と、その環境政策への応用を学ぶ。環境経済学は応用経済学の一分野であり、経済学的な思考方法を習得することが前提となる。そのための基本的な経済学の概念お理解は避けて通れない。ひとつの理論体系を習得することがねらいであるので、毎回の予習・復習、講義時のノート・テイキングは不可欠である。毎回の講義内容の理解の積み重ねが重要なので、理解不十分な点に関しては放置せず、各回ごとに必ず質問し、解決すること。

到達目標

(1)経済学の基礎理論を理解し、環境問題の現象が起きるメカニズムを説明できること。
(2)環境問題を理論的に分析でき、環境政策の評価を定量的・定性的に行うことができること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	到達目標（1)35%，(2)35%
レポート課題	30%	到達目標（1)15%，（2)15%
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎回，予復習をしっかり行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	グラフィック環境経済学	浅子和美，落合勝昭，落合由紀子	新世社	978-4-88384-221-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

環境経済学入門および経済学Ｉの内容を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境経済学							担当教員	林　宰司
講義コード	1200580	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312ETC303,214BRM291								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	環境問題とは	環境問題の類型	2	第1章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第2回	環境経済学とは	環境経済学の目的と課題	2	第2章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第3回	資源配分と所得分配	効率性と衡平性	2	第2章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第4回	余剰分析	消費者余剰と生産者余剰、	2	第2章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第5回	厚生経済学の基本定理	市場機構と効率性、エッジワースのボックスダイアグラム	2	第2章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第6回	市場の失敗(1)	公共財	2	第3章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第7回	市場の失敗(2)	外部性	2	第3章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第8回	市場の失敗(3)	費用逓減産業と自然独占	2	第3章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第9回	政府の失敗		2	第3章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第10回	直接規制		2	第4章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第11回	経済的手法(1)	ピグー的手法：環境税と補助金	2	第4章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第12回	経済的手法(2)	排出権取引	2	第4章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第13回	交渉による解決手法	コースの定理	2	第4章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第14回	環境評価手法	費用便益分析、環境経済・統合勘定、持続可能性指標	2	第5章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2
第15回	地球環境問題と持続可能性		2	第5章を読む 教科書、講義ノートを復習し、章末	2 2

担当者から

講義名	環境経済学入門							担当教員	高橋　卓也／林　宰司
講義コード	1200581	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	211FFM203,112ETC101,113ARC203,114BRM194								

授業概要

人間社会にとっての環境問題を考察、解決するうえで、経済学的思考は強力なツールとなりえる。また、現代社会に生きる市民として、経済学は必要不可欠な一般教養でもある。本講義では、環境問題、資源問題を具体的に紹介し、経済学的思考に触れ、今後、どのような学びが必要かについて自覚してもらうことを目標とする。具体的問題としては、公害、地球温暖化、廃棄物、再生可能天然資源（森林、水産業）、非再生天然資源（鉱業）、土地利用などを取り扱う。それぞれの問題を中心の話題として講義を進める。この授業は、環境経済、環境経営系の一連の授業の導入にあたる。

到達目標

(1)環境・資源問題に応用される経済的政策手法のうち、簡単な事例について説明できるようになる。
(2)経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、環境・資源問題について定性的・定量的な予測・評価ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)および(2)について、試験（50%:（1)25%,（2)25%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)および(2)について、各回の課題作業（50%:（1)25%,（2)25%）で評価する。

授業外学習

林：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。
高橋：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経済学をつかむ 第3版（テキストブックス[つかむ]）	栗山浩一、馬奈木俊介	有斐閣	978-4641177246
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境経済学入門							担当教員	高橋　卓也／林　宰司
講義コード	1200581	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	211FFM203,112ETC101,113ARC203,114BRM194								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス　-授業方針。環境問題と経済	授業の進め方についての説明、および環境問題を分析する際の経済学的思考方法について	2	unit 0～3 の内容およびunit0～10 unit 0～3、講義ノートの内容を復	 4
第2回	外部性と市場の失敗	外部不経済の発生により市場の失敗が生じるメカニズムについて理解する。	2	unit 4 を読む。 unit 4、講義ノートの内容を復習	 4
第3回	公共財とフリーライダー	公共財の性質と、フリーライダー問題発生の構造を理解する。	2	unit 5, 6 を読む。 unit 5, 6、講義ノートの内容を復	 4
第4回	直接規制と経済的手法	直接規制による環境政策と市場機構を活用した経済的手法による環境政策を比較し、経済的手法の効率性について理解する。	2	unit 7 の導入部分を読む。 unit 7、講義ノートの内容を復習	 4
第5回	環境税と補助金	経済的手法を用いた環境政策のうち、環境税と補助金の効率性と両者の対称性、および分配影響の違いを理解する。	2	unit 8 を読む。 unit 8、講義ノートの内容を復習	 4
第6回	直接交渉による解決	直接交渉により市場が形成された場合の環境問題解決のしくみについて理解する。	2	unit 9 を読む。 unit 9、講義ノートの内容を復習	 4
第7回	排出量取引	経済的手法を用いた環境政策のうち、排出量取引のしくみとその効率性について理解する。	2	unit 10 の導入部分を読む。 unit 10、講義ノートの内容を復習	 4
第8回	中間まとめ	確認テストおよび第1回から第7回までの講義について振り返り、疑問点について解決をする。	2	unit 0～10 の内容および第1～7回 unit 0～10、講義ノートの内容を復	 4
第9回	資源問題と経済学：導入	資源経済学の紹介。適用分野の概観。需要供給曲線による分析方法、余剰概念の復習。	2	第10～14回で扱う教科書の該当ユ 授業中の配布資料を再読し、学んだ	 4
第10回	公共財、共有資源、クラブ財	自然資源に多く見られる公共財、共有資源、クラブ財とは何か、その特質について理解する。	2	教科書unit5、6に目を通す。 授業中の配布資料と教科書を再読	 4
第11回	自然のさまざまな価値	自然資源の有するさまざまな価値について理解する。	2	教科書unit15に目を通す。 授業中の配布資料と教科書を再読	 4
第12回	自然の価値の測定方法	自然の価値を測定する方法について概略を理解する。	2	教科書unit16、17に目を通す。 授業中の配布資料と教科書を再読	 4
第13回	自然の価値を引き出す①（地代、レント）	自然の価値が具体的に表れる地代、レントとは何か、どのようにして決まるのかを理解する。	2	予習資料に目を通す。 授業中の配布資料と教科書を再読	 4
第14回	自然の価値を引き出す②（環境支払いなど）	自然の価値をどのように引き出したらよいか、環境支払い、環境税、環境認証などの事例から理解する。	2	予習資料に目を通す。 授業中の配布資料と教科書を再読	 4
第15回	最終まとめ	第9回から第14回までの講義について振り返り、疑問点について解決をする。	2	第9回から第14回までの講義資料に 授業中の配布資料と教科書を再読	 4

担当者から

講義名	環境財政							担当教員	村上　一真
講義コード	1200582	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM205,212ETC311,313ARC306,214BRM293								

授業概要

国・自治体の財政状況が厳しい中、効率的で効果的な政策立案・実施が求められている。
効率的で効果的なミクロ政策（個人の行動変容を促す政策）として、行動経済学に基づくナッジが注目されている。
講義では、国・自治体の財政状況、政府（国、自治体）の役割分担、EBPMと政策評価・予算編成の関係等を理解したのち、行動経済学の基本事項（危険選好：リスク下での意思決定、時間選好：近視眼的な心、社会選好：他者を顧みる心）、ヒューリステック、ナッジを用いた公共政策・環境政策の理論と実際について学ぶ。

到達目標

(1)国・自治体の財政状況や事業評価等の取組み
(2)行動経済学の基本事項
(3)ナッジを用いた公共政策・環境政策
について、理論と実際を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、授業中に課すレポートを16.7（50/3）%、期末試験16.7（50/3）%で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、授業中に課すレポートを16.7（50/3）%、期末試験16.7（50/3）%で評価する。
上記以外		

授業外学習

適宜、小テスト・レポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	行動経済学：経済は「感情」で動いている	友野典男	光文社	
2	「ココロ」の経済学：行動経済学から読み解く人間のふしぎ	依田高典	筑摩書房	
3	行動経済学の使い方	大竹 文雄	岩波書店	

適宜、資料を配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境財政							担当教員	村上　一真
講義コード	1200582	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM205,212ETC311,313ARC306,214BRM293								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス	環境に係る政策・組織、環境政策情報、環境政策手段、行動経済学の概要等について解説する。	2		
第2回	政策と行動経済学	伝統的経済学と行動経済学、経済学と心理学、外発的・内発的モチベーション等について解説する。	2		
第3回	政策と財政	政府・市場・地域社会の関係、政府（国、自治体）の役割分担、経済と財政の関係、財政状況と財政の機能等について解説する。	2		
第4回	EBPM（証拠に基づく政策立案）とRCT	EBPMと政策評価・予算編成の関係、 政策評価の方法、エビデンスを創出するための分析方法、データ・評価指標（環境分野）について解	2		
第5回	政策手段としてのナッジ	経済的手法（カーボンプライシング領域）、ナッジ等について解説する。	2		
第6回	ヒューリステック	代表性、利用可能性、係留、二重過程理論、ヒューリステックとバイアスについて解説する。	2		
第7回	危険選好(1)：リスク下の意思決定	プロスペクト理論と期待効用仮説、価値関数について解説する。	2		
第8回	危険選好(2)：リスク下の意思決定	確率加重関数、保有効果と現状維持バイアス、その他の理論について解説する。	2		
第9回	フレーミング効果と選好の形成	フレーミング効果、デフォルト効果、極端回避性、情報の過負荷、選択肢の過負荷、メンタル・アカウンティング等について解説する。	2		
第10回	時間選好：近視眼的な心	時間割引、指数型割引と双曲型割引、選好の逆転、コミットメントについて解説する。	2		
第11回	社会選好(1)：他者を顧みる心	利己性と公共財ゲーム、互酬性と最後通牒ゲームについて解説する。	2		
第12回	社会選好(2)：他者を顧みる心	利他性と独裁者ゲーム、不平等回避性、他者との関わりについて解説する。	2		
第13回	行動経済学理論とナッジ	ナッジのチェックリスト、リスク選好・時間選好とナッジ、社会選好とナッジについて解説する。	2		
第14回	環境とナッジ、教育・貧困とナッジ	ナッジとRCT、環境問題に係るRCT、環境問題に係るナッジ、教育に係るRCT・ナッジ、貧困に係るRCT・ナッジについて解説する。	2		
第15回	医療・健康等とナッジ、ビジネス・政策と	医療・健康に係るRCT・ナッジ、その他のRCT・ナッジ、ビジネスに係るナッジ、政策とナッジについて解説する。	2		

担当者から

他の参考書は以下のとおり。

講義名	環境シミュレーション							担当教員	井手　慎司
講義コード	1200620	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312ETR306,314BRM395								

授業概要

環境の諸現象を再現、分析、予測するための数学モデリングおよびコンピュータ・シミュレーション技法の基礎を学ぶ。授業ではモデリングの基本的な考え方（物質収支・反応速度論）、モデルの構築手順、コンピュータ・シミュレーションとそのための数値解析（プログラミング）、シミュレーション結果のグラフィカル・プレゼンテーションなどについて解説する。

到達目標

(1)モデルが表している現象を説明できる。
(2)物質収支を計算することができる。
(3)簡単な数値計算ができる。
(4)VBAを用いてプログラムを作成できる。
(5)Excelの表計算機能やVBAを用いて、シミュレーションプログラムを作成できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)については定期試験（10%）、(2)(3)については定期試験（10%：(2)5%、(3)5%）、(4)(5)については定期試験（30%：(4)15%、(5)15%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)については課題（10%）、(2)(3)については課題（10%：(2)5%、(3)5%）、(4)(5)については課題（30%：(4)15%、(5)15%）で評価する。

課題を5回出す（50点満点）。

授業外学習

課題にまじめに取り組み、ExcelやVBAによるシミュレーションプログラムの作成に習熟すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新 Excelコンピュータシミュレーション	三井 和男	森北出版	978-4-627-84871-9
2				
3				

講義レジュメを同講義のTeams上に掲載する.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ワープロと表計算ソフトの基礎知識をもつこと。

履修資格

講義名	環境シミュレーション							担当教員	井手　慎司
講義コード	1200620	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312ETR306,314BRM395								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	囚人のジレンマ	囚人のジレンマをコンピュータシミュレーションする。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第2回	モンテカルロで乾π(1)	モンテカルロ法で円周率πを求める。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第3回	モンテカルロで乾π(2)		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第4回	ベスト・メートを探して	秘書問題の最良戦略を探す。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第5回	数値計算事始め	数値計算の基礎を学ぶ。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第6回	オイラー法（河川モデル）(1)	河川自浄モデルをオイラー法で解く。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第7回	オイラー法（河川モデル）(2)		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第8回	オイラー法（河川モデル）(3)		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第9回	栓をし忘れ浴槽に水(ルンゲ･クッター法)(1)	浴槽モデルをルンゲ・クッター法でシミュレーションする。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第10回	栓をし忘れ浴槽に水（ルンゲ･クッター法)		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第11回	食うか食われるか，生態系のカオス	捕食者・非食者モデルと生態カオスモデル。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第12回	一番いい答え	最適化手法を学ぶ。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第13回	パソコンの中の湖(1)	湖沼モデルの構築とシミュレーションについて学ぶ。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第14回	パソコンの中の湖(2)		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第15回	まとめ復習		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2

担当者から

講義名	環境社会学							担当教員	平岡　俊一
講義コード	1200630	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112ETC203								

授業概要

環境社会学は、環境問題の発生・被害構造や環境保全の方策などについて社会（人間・集団・組織）との関係性に注目しながら分析・考察を行う研究分野である。本講義では、私たちの社会が環境問題をどのように引き起こし、一方でいかなる被害を受けているのか、そして環境を保全するために誰がどのような取り組みができるのか、といったことについて、環境社会学の概念や理論を用いながら分析・考察する能力を獲得することを目指す。

講義においては、各回のテーマに関連して、その問題構造や解決法について考える事例研究（小レポート執筆）、グループワークなどを積極的に実施する。

到達目標

(1) 環境社会学の基本的な概念、理論について理解する
(2) 環境問題と人間社会の関係性について理解する
(3) 環境問題の発生・拡大の要因、被害の構造について社会学的な視点から分析する能力を獲得する
(4) 環境保全に関する担い手・体制や活動・政策について社会学的な視点から分析する能力を獲得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	レポートを課す。上記目標に関する到達度、課題設定の明確さ、考察内容の独自性などから評価する
上記以外	50	事例研究、グループワークへの参加姿勢、講義での発言内容、小レポート・小テストの内容などから評価する

授業外学習

講義期間中に数回のレポート、小テストを課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『よくわかる環境社会学』	鳥越晧之・帯谷博明編	ミネルヴァ書房	ISBN-10: 4623079341
2	『環境社会学』	舩橋晴俊	弘文堂	ISBN-10: 4335551436
3	『環境社会学―生活者の立場から考える』	鳥越晧之	東京大学出版会	ISBN-10: 4130520229

前提学力等

履修資格

講義名	環境社会学							担当教員	平岡　俊一
講義コード	1200630	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112ETC203								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス	講義の内容と進め方について説明する	2	シラバスを十分に確認しておく 講義で配布したレジュメ資料をよく	2 2
第2回	環境社会学とは	環境社会学の基本的な視点を踏まえながらその定義、成り立ち、対象領域などについて紹介する	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第3回	環境社会学の理論（1）	「被害構造論」、「受益圏・受苦圏」、「社会的ジレンマ」、「リスク社会」などについて具体的事例に当てはめながら紹介する	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第4回	環境社会学の理論（2）	「コモンズ」、「生活環境主義」、「内発的発展論」などについて具体的事例に当てはめながら紹介する	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第5回	環境保全活動（環境運動）	市民が主体となった環境保全活動の変遷、これまで果たしてきた役割、今日の現状・課題などについて、「環境運動論」の分析枠組みを	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第6回	環境保全活動の担い手、形態	市民主体の環境保全活動の担い手、形態などについて、「NPO／NGO」、「コミュニティビジネス」などの具体的じれいから考	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第7回	環境政策	主に自治体の環境政策の変遷や現状・課題について、「市民参加・協働」、「環境自治体運動」、「政策過程論」などの概念を用いながら	22	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第8回	中間まとめ	前回までの講義で学んだ内容を振り返ることを目的にしたグループワーク等を実施する	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第9回	自然環境保護	「里山」、「湖沼・湿原保全」、「ナショナルトラスト運動」などを題材に、自然環境と人間社会の関係性、関連取り組みの現状・課題に	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第10回	観光・景観	「エコツーリズム・グリーンツーリズム」や「歴史的景観の保全」などを題材に、観光活性化と地域社会の関係性や関連取り組みの変遷・	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第11回	地球環境・エネルギー問題	「温暖化問題」、「エネルギー自給」、「再生可能エネルギー」などを題材に、地球環境・エネルギー問題の社会的構造、関連取り組みの	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第12回	都市問題	「市街地衰退」、「コンパクトシティ」、「交通」などを題材に、都市問題の社会的構造、関連取り組みの変遷・現状について考える	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第13回	持続可能な地域づくり（環境まちづくり）	環境保全を通じた地域の社会・経済活動の活性化「環境まちづくり活動」を題材に、持続可能な地域づくりの現状・今後の展望について考	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第14回	事例研究	具体的事例を題材にしてこれまで学んだ環境社会学に関連する理論、視点を使った分析・考察を実施する	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2
第15回	グループワーク・まとめ	身近に存在する環境問題事例を題材に、それに関する社会構造と保全活動の方策・担い手などについて社会学的に考えてみる	2	参考図書の上記テーマに関連する部 講義で配布したレジュメ資料を改め	2 2

担当者から

講義中にグループワーク等を実施する予定である。他の受講生との議論等に積極的に参加する姿勢が求められる。
担当教員は、環境NPOの活動等に長年携わってきたので、市民・地域主体の環境保全活動に関する具体的事例を頻繁に紹介しながら講義を進めて

講義名	環境情報							担当教員	白木　裕斗
講義コード	1200645	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212ETR302								

授業概要

環境問題を含む社会科学分野に関わるデータ分析の基礎を学ぶ。公開されている計量経済学研究の実際のデータなどを用いた分析を通して、プログラミング技術と統計学の概念を身につける。統計解析ソフトを用いた演習を通じて、実際にデータ分析を経験することで、社会科学データを収集・測定・分析する際の課題と解決策を理解する。この授業では、単に環境分野を対象とするだけでなく、関連する社会経済分野も対象としてとらえる。

キーワード：プログラミング、グラフ、R studio、社会経済、データベース、統計

到達目標

(1) 社会科学におけるデータ分析方法を習得する
(2) 統計解析ソフトを用いて、実際の問題・データを分析できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標（1）は毎回のレポートで評価する。
上記以外	60%	到達目標(2)は実力テスト（１）～（３）の各回20%により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	社会科学のためのデータ分析入門　（上）	今井　耕介	岩波書店	9784000612456
2				
3				

前提学力等

2014年度以前入学生で、「環境情報演習」を履修済みの学生は履修不可。

履修資格

講義名	環境情報							担当教員	白木　裕斗
講義コード	1200645	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212ETR302								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	授業ガイダンスとRの基礎①	授業のガイダンスと、統計解析ソフトRについて学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第2回	Rの基礎②	統計解析ソフトRについて学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第3回	Rの基礎③	統計解析ソフトRについて学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第4回	因果関係①	因果関係の簡単な分析方法、Rを用いたデータの部分集合化を学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第5回	因果関係②	因果関係と反事実、ランダム化比較試験について学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第6回	因果関係③	観察研究、１変数の記述統計について学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第7回	因果関係：実力テスト	因果関係①～③の理解度を確認する実力テストを行う	2	授業中に出題されたテストを復習・	4
第8回	測定①	社会科学におけるデータの測定方法、Rを用いた欠損データの扱いについて学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第9回	測定②	Rにおけるデータのグラフ化、標本調査について学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第10回	測定③	２変量の関係の要約、クラスター化について学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第11回	測定：実力テスト	測定①～③の理解度を確認する実力テストを行う	2	授業中に出題されたテストを復習・	4
第12回	予測①	社会科学におけるデータの予測の概要、Rにおける繰り返し構文について学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第13回	予測②	線形回帰について学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第14回	予測③	回帰分析と因果関係について学ぶ	2	授業中に出題された演習問題を復習	4
第15回	予測：実力テスト	予測①～③の理解度を確認する実力テストを行う	2	授業中に出題された演習問題を復習	4

担当者から

履修定員は50名とする。
定員を超える履修がある場合、環境政策・計画学科の学生を優先する。

講義名	環境心理学							担当教員	佐々木　和之※
講義コード	1200661	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212ETC302-C								

授業概要

本講義では、環境心理学を二つの側面から扱う。
一つめの側面は、物理的な空間と人間の行動との関係性を解明し、実際の建築・建設等のデザインへの寄与を目指す、空間的課題への取り組みである。
二つめの側面は、環境問題における人々の意志決定の要因を解明し、環境問題の解消に繋がる行動促進等を目指す、社会的課題への取り組みである。
以上二つの側面を踏まえつつ、人々がどのように行動しているかを解き明かす方法として、環境心理調査手法を本講義では講義する。

到達目標

(1)環境心理学の基礎が理解できている。
(2)社会的課題、空間的課題について、環境心理調査手法を用いることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)環境心理学の基礎が理解できているについては、講義計画※印時に講義時間内に課すミニレポート（4%×9回）、 (2)社会的課題、空間的課題について、環境心理調査手法を用いることができるについては講義計画◎印の講義時間内

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境心理学―人間と環境の調和のために 第2版	羽生 和紀	サイエンス社	978-4781914435
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

前提学力等は設定しない

履修資格

講義名	環境心理学							担当教員	佐々木　和之※
講義コード	1200661	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212ETC302-C								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	環境心理学についての基礎知識１	【テーマ】環境心理学の定義、まちづくり実務、空間的課題※ 【概要】授業概要で示す「空間的課題への取り組み」を学ぶ	2時	本講義のシラバスを読んでおくこと 講義内容について振り返った上での	0. 0.
第2回	環境心理学についての基礎知識２	【テーマ】社会的課題、データの集め方、結果と考察※ 【概要】授業概要で示す「社会的課題への取り組み」を学ぶ	2時	「環境心理学についての基礎知識 講義内容について振り返った上での	0. 0.
第3回	行為（behavior）と行動（actibity）	【テーマ】人間行動の捉え方※ 【概要】人間行動観察の要点について簡単な演習を行いながら学ぶ	2時	「環境心理学についての基礎知識 講義内容について振り返った上での	0. 0.
第4回	行動観察法１	【テーマ】試行 実際に行動観察を試行する◎ 【概要】第３講までに学んだ知識を生かして実際に行動観察を行う	2時	「行為（behavior）と行動 講義内で指示した内容について、作	0. 0.
第5回	行動観察法２	【テーマ】観察結果の分析 観察結果を元にまとめに向けた作業を行う◎	2時	講義内で指示した内容について、作	1
第6回	行動観察法３	【テーマ】作業 観察結果を元にまとめに向けた作業を行う◎ 【概要】第４講で行った行動観察データのまとめ作業を行う	2時	講義内で指示した内容について、作	1
第7回	イメージマップ調査法	【テーマ】イメージマップ調査を試行し、まとめを行う※ 【概要】実際にイメージマップ調査を行い、グループワークを通じて	2時	イメージマップ調査法の施行に必要 講義内容について振り返った上での	0. 0.
第8回	行動観察法４	【テーマ】まとめ 観察結果を元にまとめにを作成する◎ 【概要】第４講で行った行動観察データのまとめ作業を行う	2時	講義内で指示した内容について、作	1
第9回	行為を演じる	【テーマ】ケーススタディとしてのパフォーマンスの視聴、演技を観る側からの考察※	2時	講義内容について振り返った上での	0.
第10回	社会課題と意志決定１	【テーマ】研究事例の紹介※ 【概要】実際の調査結果を読み解きながら「社会的課題への取り組	2時	講義内容について振り返った上での	1
第11回	社会課題と意志決定２	【テーマ】まちづくりでの実践事例の紹介※ 【概要】実際の調査結果を読み解きながら「社会的課題への取り組	2時	「社会課題と意志決定１」の講義内 講義内容について振り返った上での	0. 0.
第12回	心理評価法１	【テーマ】研究事例の紹介※ 【概要】実際の調査結果を読み解きながら心理評価法を学ぶ	2時	講義内容について振り返った上での	1
第13回	心理評価法２	【テーマ】試行 実際に調査手法を試行する○ 【概要】実際に心理評価法による調査を行う	2時	講義内で指示した内容について、作	1
第14回	心理評価法３	【テーマ】作業 調査結果を元にまとめに向けた作業を行う○ 【概要】第13講で行った心理評価法データのまとめ作業を行う	2時	講義内で指示した内容について、作	1
第15回	心理評価法４	【テーマ】まとめ 調査結果を元にまとめを作成する○ 【概要】第13講で行った心理評価法データのまとめ作業を行う	2時	講義内で指示した内容について、作	1.

担当者から

環境心理学の調査手法は、環境問題のような社会的課題だけではなく、物理的な空間と人間の行動との関係性を対象とする空間的課題にも用いることができる。

講義名	環境水文学							担当教員	大久保　卓也
講義コード	1200665	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM210,212PEL306,214BRM232								

授業概要

森林、河川等の環境における水の動きとそれを支配するメカニズムについて解説する。また、その水の動きと連動する栄養塩、土砂等の物質の動き、および、それらの動きと生物との関わりについて解説する。日本および滋賀県における水利用の歴史、水害の歴史についても解説する。

到達目標

（1）水の動きの基礎的知識と理論を習得する
（2）水利用の歴史、水害対策の歴史から先人たちの創意工夫を学ぶ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	水文学に関する用語、理論、現象の理解度、計算方法の理解度を30問程度の問題で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	毎回、宿題を出します。その提出状況と内容によって評価します。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特定の教科書は使用しないが、下記の参考書を主に引用しながら説明する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エース水文学	池淵周一ほか	朝倉書店	4-254-26478-X
2	例題で学ぶ水文学	椎葉充晴ほか	森北出版	978-4-627-49631-6
3	地域環境水文学	丸山利輔ほか	朝倉書店	978-4-254-44022-5

前提学力等

履修資格

講義名	環境水文学							担当教員	大久保　卓也
講義コード	1200665	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM210,212PEL306,214BRM232								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	概論	水の動きと人間による水利用	2	特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	2
第2回	水の循環と放射	水の循環の駆動力となっている太陽放射とそれに関わるエネルギー収支について解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第3回	降水	降水のメカニズムついて解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第4回	蒸発散	蒸発散のメカニズムついて解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第5回	積雪、融雪	積雪、融雪のメカニズムついて解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第6回	降水遮断、浸透	降水遮断、浸透のメカニズムついて解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第7回	斜面流出	斜面流出のメカニズムついて解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第8回	地下水	地下水との動きについて解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第9回	河川水文学	河川における水の動き、土砂の動き、生物の分布等の関わりについて解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第10回	湖沼・ため池水文学	湖沼・ため池における水・物質の動態と生物との関わりについて解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第11回	森林水文学	森林における水と物質の動態について解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第12回	農地水文学	農地における水と物質の動態について解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第13回	水の利用と開発の歴史	人間による水の利用と水資源開発の歴史について解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第14回	水害の歴史と対策-1	日本での台風や梅雨前線による水害の歴史と洪水対策の歴史について解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	
第15回	水害の歴史と対策-2	日本での台風や梅雨前線による水害の歴史と洪水対策の歴史について解説する。		特に必要ありません。 講義内容に関する課題を出しますの	

担当者から

授業は原則対面で行うが，新型コロナ感染症の流行状況等によっては，リモート形式で行う場合がある．それに伴って，内容や成績評価手法も変更する場合がある．

講義名	環境政策学							担当教員	上河原　献二／和田　有朗
講義コード	1200700	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM206,212BTR202,213ARC205,214BRM295								

授業概要

環境政策が成立する背景、環境政策に関わる組織と制度、環境政策の目標と手段など、環境政策の体系に関する理解を目指す。環境政策は、環境問題を解決するために実践された様々な試みが成立の根拠となっている。現在では、汚染管理、自然環境保全、地球環境保全、さらには放射性汚染対策まで拡大している。ここでは主要な政策の形成過程にとどまらず、その実施過程と成果を概観して、当該政策の意義と問題点を説明する。さらに、政策の実効性を高めるためには、政府だけではなく多元的な主体が関与する必要があるので、環境ガバナンスを巡る課題について解説する。

到達目標

（1）環境問題と環境政策の関連について説明できる
（2）環境政策の性格と機能を理解できる
（3）環境政策の目標と手段を説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	65	各授業中に作成するレポート 到達目標(1)について10% 到達目標(2)について10%
上記以外	35	中間試験 到達目標(2)について10% 到達目標(3)について15%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

予習については、昨年度の授業資料を別途オンライン上に掲示するので、各授業の前にそれを読むこと。
（同リンクについては、履修登録者に4月上旬に連絡する。）

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境社会検定試験ECO検定公式テキスト	東京商工会議所編	日本能率協会マネージメントセンター	ISBN978-4-8207-4924-0
2	よい環境規制は企業を強くする	三橋規宏監修	海象社	978-4-907717-96-4
3	新版原子力の社会史	吉岡斉	朝日新聞出版	978-4-02-259983-4

前提学力等

環境政策は、環境問題に対応して発達する。
従って、環境問題についての一般常識を身に付けていることが望ましい。そのため日頃から紙媒体の新聞に目を通し、環境問題・環境政策に関する

履修資格

講義名	環境政策学							担当教員	上河原　献二／和田　有朗
講義コード	1200700	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM206,212BTR202,213ARC205,214BRM295								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	環境政策とは	①環境政策とは、②環境政策の性格、③環境政策の基本的な枠組み、⑤環境政策の基本的な理念	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第2回	環境問題の性格	①環境問題、②公害、③環境規制、④公共の利益	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第3回	環境問題の歴史(1)	①戦後復興と高度経済成長前半期（激甚公害の発生）、②高度経済成長後半期（環境政策形成期）	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第4回	環境問題の歴史(2)	①低成長期と都市化・生活型公害（環境立法・政策の停滞）、②環境問題の国際化と環境政策の新展開、③環境基本法の制定	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第5回	環境政策の主体	①政策形成過程における多様な主体の役割、②環境政策の形成と実施における政府の役割、③環境の保全に関する基本的施策	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第6回	環境政策の目標と手段	①環境目標・基準の背後にある考え方、②環境目標・基準設定の実際、③環境政策の費用負担に関する原則	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第7回	政策統合の必要性と方法	①環境政策の手段と執行、②政策手段の活用と組み合わせ－ポリシー・ミックスへ	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第8回	環境ガバナンス	①環境保全の権利と責務、②政府機構改革、③政策決定プロセスの改革、④財政システムの改革、⑤統合的環境政策手段の導入を推進する	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第9回	気候変動対策	①気候変動とは、②気候変動対策の体系、③日本の温室効果ガス排出状況、④日本の気候変動対策	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第10回	大気・水環境管理	①目標設定（環境基準）、②規制値設定、③環境モニタリング（測定網整備）、④遵守確保と⑤最近の課題	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第11回	化学物質対策	①化学物質と環境問題、②基本的考え方、③主要な国内法制度	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第12回	廃棄物対策	①循環型社会の形成、②廃棄物対策、③災害廃棄物対策、④国際的な資源循環とバーゼル条約	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第13回	生物多様性保全	①生物多様性とは何か、②生物多様性保全基本法と他の制度への浸透、③生物多様性国家戦略、④外来種対策、⑤自然再生	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第14回	原子力汚染対策	①福島第一原発事故とその被害、②その後の汚染対策に関する法整備、③高レベル放射性廃棄物処理、④経済性、⑤温暖化への影響（二	2	昨年度の授業資料を読むこと 授業中に示す参考文献を読むこと	2 2
第15回	原子力汚染対策（発表会）	第14回講義の終わりに提示するレポートの構成に基づいて作成したレポートを発表する。	2	レポート発表に備えた内容再確認と 最終レポートを作成提出すること	2 2

担当者から

講義名	環境生物学Ⅰ							担当教員	浦部　美佐子
講義コード	1200770	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111DFM108,112PEL204,114BRM120								

授業概要

環境と生物のかかわりを理解するために必須である生物学の基礎事項、すなわち生物の体を形作る基本となっいる細胞の構造と働き，有機高分子（タンパク質、脂質、炭水化物、核酸）の構造とそれらの主な働き、エネルギー交代・物質交代のしくみ、遺伝と進化のしくみについて説明する。

到達目標

(1)生物体の構造と機能について基礎的な用語と概念を理解すること。
(2)生体内で起こっている現象について，論理的に推論できること。
(3)講義で学んだ知識を用いて，一般社会および自己の生活の中でみられる生物学的事象を科学的に理解できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	小テストの得点と合計して60点以上を可､70点以上を良､80点以上を優、90点以上を秀とする。 （遠隔授業が含まれる場合）定期試験は30点とする。小テスト、毎週の授業課題と定期試験を合わせて60点以上を可、70点以上を良､80点以上を優、90点以上を秀とする。
レポート課題		
上記以外	40	小テストの評価とする。 （遠隔授業が含まれる場合）小テストは20点とし、その他に毎回の授業で課題を１つ課す。授業課題は合計50点とし、定期試験と合わせて100点満点とする。

５回以上無断欠席した者は原則として定期試験の受験を認めない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新・大学生物学の教科書　第２巻「分子遺伝学」		講談社ブルーバックス	
2	新・大学生物学の教科書　第３巻「生化学・分子生物学」		講談社ブルーバックス	
3				

小テスト・期末試験において、テキスト内の問題から一部出題する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	細胞の分子生物学　第６版	Albertほか	ニュートンプレス	
2	進化の教科書	ジンマー/エムレン	講談社ブルーバックス	
3	新・大学生物学の教科書　第１巻「細胞生物学」		講談社ブルーバックス	

前提学力等

高校で化学あるいは生物を履修していること

履修資格

講義名	環境生物学Ⅰ							担当教員	浦部　美佐子
講義コード	1200770	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111DFM108,112PEL204,114BRM120								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	生命を学ぶ	生命を定義づける現象である代謝・恒常性の維持・遺伝・進化の概念を学び、それらの関係について学習する。	2	シラバスを読み、全15回の授業の概 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第2回	タンパク質、糖質、脂質／核酸と生命の起源	生命を構築する高分子物質の性質、および物質から生命へ（化学進化）、自己複製機構の進化について学習し、地球の生物の歴史につい	2	前回の授業の要点をもう一度確認し 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第3回	細胞：生命の機能単位	原核生物・真核生物の細胞の構造と細胞小器官について学ぶ。	2	前回の授業の要点をもう一度確認し 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第4回	細胞膜	細胞膜を初めとする生体膜の構造と、膜輸送の種類としくみ、浸透圧について学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認し 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第5回	細胞周期と細胞分裂	有糸分裂における分裂周期、分裂を制御するしくみ、および微小管のはたらきについて学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第6回	遺伝、遺伝子と染色体	核酸が遺伝子の役割を担っていることを学び、その構造と複製のしくみについて学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第7回	DNAと遺伝におけるその役割	DNAの変異と修復のしくみ、PCR反応、遺伝子発現における転写について学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第8回	DNAからタンパク質へ：遺伝子発現（１）	遺伝子発現における翻訳と遺伝子暗号について学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第9回	DNAからタンパク質へ：遺伝子発現（２）	遺伝子発現の制御、および原核生物と真核生物における遺伝子発現のプロセスについて学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第10回	小テスト エネルギー、酵素、代	これまでの学習内容をふりかえり、到達確認のための小テストを実施する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第11回	化学エネルギーを獲得する経路（１）	酸素呼吸の４つの段階（解糖・ピルビン酸酸化・クエン酸回路・電子伝達系）のしくみと呼吸における酸化還元反応について学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第12回	化学エネルギーを獲得する経路（２）	酸素呼吸の４つの段階（解糖・ピルビン酸酸化・クエン酸回路・電子伝達系）のしくみと呼吸における酸化還元反応について学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第13回	光合成・日光からのエネルギー	光合成の２つの段階（光化学系・カルビン回路）のしくみについて学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第14回	ゲノム	原核生物・真核生物・ウイルスのゲノムの特徴について学習する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認す 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3
第15回	進化と系統	生物の各ドメインについて解説し、生物進化に関する最近の知見を紹介する。	2	前回の授業の要点をもう一度確認し 授業の要点をふりかえり、課題を実	1 3

担当者から

講義名	地球科学Ⅰ[環境地球科学Ⅰ]							担当教員	堂満　華子
講義コード	1200890	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	211DFM205,212PEL303,214BRM123								

授業概要

地球は46億年前に誕生してからさまざまな変遷を経て今日に至っている．現在の地球環境の成立について理解するため，本講義ではおもに，動く大地についての考え方や地球の環境がどのようにしてつくられてきたのかについて解説する．

到達目標

地球とその歴史に関する基礎知識を修得し，現在の地球環境の成り立ちを理解する．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標の達成度を定期試験（100%）で評価する． 100点満点で採点し，60点以上を合格とする．
レポート課題	0	
上記以外	0	

授業計画と成績評価方法は多少なりとも変更があり得ます．たとえば，なんらかの理由で休講になる場合，レポートを課すことがあるかもしれません．受講生の理解度を確認しながら進むため，授業計画を見直すかもしれません．したがって，シラバス上の授業計画と成績評価方法はめやすと受け取ってください．ただし，授業計画と成績評価方法を変更する際は授業中に説明します．

授業外学習

教科書や課題プリントを用いた予習を前提とした授業の進め方をします．
復習のための課題プリントも課します．

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図解・プレートテクトニクス入門（ブルーバックス）	木村　学・大木勇人	講談社	4062578344
2	地学のツボ―地球と宇宙の不思議をさぐる（ちくまプリマー新書）	鎌田浩毅	筑摩書房	4480688048
3				

毎回授業に持参すること．

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地震・プレート・陸と海―地学入門（岩波ジュニア新書92）	深尾良夫	岩波書店	4005000924
2	ニューステージ新地学図表		浜島書店	4834340120
3				

参考書を適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	地球科学Ⅰ[環境地球科学Ⅰ]						担当教員	堂満　華子
講義コード	1200890	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講	
ナンバリング番号	211DFM205,212PEL303,214BRM123							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	固体地球の層構造	地球の形，地球の内部構造，地殻の構造について学ぶ．	2	教科書「図解プレートテクトニクス 教科書「図解プレートテクトニクス	2 2
第2回	陸と海のちがい	アイソスタシーの原理について学ぶ．	2	教科書「図解プレートテクトニクス 教科書「図解プレートテクトニクス	2 2
第3回	大陸移動説	後々のプレートテクトニクスという考え方につながる，大陸移動説の成り立ちについて学ぶ．	2	教科書「図解プレートテクトニクス 教科書「図解プレートテクトニクス	2 2
第4回	海洋底拡大説１	大陸移動説はのちに海洋底拡大説へと発展する．その背景には，地球科学のさまざまな分野で研究の進展があった．地磁気，岩石の残留磁	2	教科書「図解プレートテクトニクス 教科書「図解プレートテクトニクス	2 2
第5回	海洋底拡大説２	海洋底の地形，磁気異常の縞模様，ホットスポット，海洋底拡大説の成立について学ぶ．	2	教科書「図解プレートテクトニクス 教科書「図解プレートテクトニクス	2 2
第6回	前半まとめ	第1～5回の補足や演習によって学習内容の定着をはかる．	2	教科書やノート，配布プリントをも 教科書やノート，配布プリントをも	2 2
第7回	プレートテクトニクス１	海洋底拡大説はプレートテクトニクスへと発展する．プレートの構造（リソスフェアとアセノスフェア），となり合うプレートどうしの境	2	教科書「図解プレートテクトニクス 教科書「図解プレートテクトニクス	2 2
第8回	プレートテクトニクス２	地震や火山活動，造山運動など地球表面で起こるさまざまな現象とプレート境界との関係について学ぶ．	2	教科書「図解プレートテクトニクス 教科書「図解プレートテクトニクス	2 2
第9回	地球と生命の歴史１：冥王代・太古代	地質時代の区分，冥王代（46億～40億年前）と太古代（40億～25億年前）のおもなできごとについて学ぶ．	2	教科書「地学のツボ」の6－B「太陽 教科書「地学のツボ」の6－B「太陽	2 2
第10回	地球と生命の歴史２：原生代	原生代（25億～5.4億年前）のおもなできごとについて学ぶ．	2	教科書「地学のツボ」の3－B「地球 教科書「地学のツボ」の3－B「地球	2 2
第11回	中間まとめ	第7～10回の補足や演習によって学習内容の定着をはかる．	2	教科書やノート，配布プリントをも 教科書やノート，配布プリントをも	2 2
第12回	地球と生命の歴史３：古生代	古生代（5.4億～2.5億年前）のおもなできごとについて学ぶ．	2	教科書「地学のツボ」第4章「地球 教科書「地学のツボ」第4章「地球	2 2
第13回	地球と生命の歴史４：古生代の終わり	ペルム紀末（2.5億年前）の大量絶滅とそのシナリオについて学ぶ．	2	教科書「地学のツボ」の4－B「古生 教科書「地学のツボ」の4－B「古生	2 2
第14回	地球と生命の歴史５：プルームテクトニクス	ペルム紀末の大量絶滅事件はスーパープルームの活動と関連すると考えられている．プルームテクトニクスという新しい考え方について学	2	教科書「図解プレートテクトニクス 教科書「図解プレートテクトニクス	2 2
第15回	後半まとめ	第12～14回の補足や演習によって学習内容の定着をはかる．	2	教科書やノート，配布プリントをも 教科書やノート，配布プリントをも	2 2

担当者から

○受講にあたっての心構え
・毎回時間どおりに授業に出席すること．授業は時間どおりに始めて時間どおりに終わります．

講義名	環境フィールドワークⅠ							担当教員	学部教員／井手　慎司／迫田　正美／伴　修平／陶器　浩一／須戸　幹／丸尾　雅啓／村上　修一／杉浦　省三／
講義コード	1200960	単位数	3	開講期	前期	授業方法	実習		
ナンバリング番号	111FFM102-C,112BTC101-C,113ARC101-C,114BRM100-C								

授業概要

実際の地域環境問題が生起するフィールドに足を運び、自分自身の五感を通して環境問題に触れ、それを図、文字、数値データに記録する方法を学ぶ。また、自分自身で記述した記録から、地域環境問題がどのような問題構造をもったものであるか、グループ討議を通して組み立てる演習を行う。具体的には、４つのテーマが設定され、１テーマあたり３～４週を１クールとして学習する。

到達目標

（1）フィールドワークに必要な基本的スキルを身につける。
（2）指定された項目について、文章で表現できる。
（3）調査結果を考察し、その内容を他者に説明できる基礎力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	（項目1）フィールドワークの基本スキルの修得：40% （項目2）指定された項目に対する文章表現：30% （項目3）調査結果を考察し、それを他者に説明する能力：30%

各項目についての成績評価方法は各テーマで異なるので，各テーマの授業開始時に説明をうけること。

授業外学習

各テーマの実習・演習終了時あるいは実施中にレポート等が課されることが原則である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フィールドワーク心得帖 新版	滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会	サンライズ出版	978-4883255627
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワークⅠ							担当教員	学部教員／井手　慎司／迫田　正美／伴　修平／陶器　浩一／須戸　幹／丸尾　雅啓／村上　修一／杉浦　省三／
講義コード	1200960	単位数	3	開講期	前期	授業方法	実習		
ナンバリング番号	111FFM102-C,112BTC101-C,113ARC101-C,114BRM100-C								

授業計画

４つのグループに分かれて、３～４週（１週は３、４、５時限の合計３時限）でひとつのテーマ、合計４つのテーマについてフィールド実習・演習を行う。具体的なテーマは「県大キャンパスの魅力を探せ」、「愛知川周辺の農村地域の自然・社会環境」、「エコキャンパス・バイコロジー」、「水辺の小さな自然再生」である。各グループ実習・演習の中で、フィールド観察、施設・機関の見学などを行う。また、４回のグループ実習・演習ごとにその観察結果をまとめ、グループでプレゼンテーションを行うとともに、各個人がレポートを提出する。
各テーマでの授業計画については、各テーマ開始時に示される。
授業時間：6時間×15回＝90時間
予習・復習時間：3時間×15回＝45時間

担当者から

授業は原則対面で行うが，新型コロナ感染症の流行状況等によっては，リモート形式等で行う場合がある．それに伴って，内容や成績評価手法も変更する場合がある．

講義名	環境フィールドワークII							担当教員	学部教員／井手　慎司／迫田　正美／伴　修平／陶器　浩一／須戸　幹／丸尾　雅啓／村上　修一／杉浦　省三／
講義コード	1200970	単位数	3	開講期	前期	授業方法	実習		
ナンバリング番号	211FFM202-C,212BTC201-C,213ARC201-C,214BRM200-C								

授業概要

地域環境にかかわる情報は多分野にまたがり、性質も多様である。これらの環境情報を収集し解析するために、対象地域あるいは問題対象を特定し、フィールドワークを通じて、自然調査や社会調査の基本的な手法を学んでいく。ねらいは、フィールドワークの手法を地域の環境問題の解析に適用することにより、現場に即した調査態度と解析手法、レポートに作成、発表の方法を学ぶことである。具体的には、10個のテーマが設定され、その１つのテーマについて１５週の授業を受ける。

到達目標

（1）なんらかの課題に対し、教員の指導の下でフィールドデータを取ることができる。
（2）取得したデータに対し、基礎的な分析を行うことができる。
（3）データの分析結果に基づき、論理的に議論できる。
（4）データの分析結果を適切な文章で表現できる。
（5）初歩的な報告書を書くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	（項目１）フィールドワークのパフォーマンス：６０％ （項目２）データ分析のパフォーマンス：１０％ （項目３）プレゼンテーションのパフォーマンス：１０％

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フィールドワーク心得帖 新版	滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会	サンライズ出版	978-4883255627
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワークII							担当教員	学部教員／井手　慎司／迫田　正美／伴　修平／陶器　浩一／須戸　幹／丸尾　雅啓／村上　修一／杉浦　省三／
講義コード	1200970	単位数	3	開講期	前期	授業方法	実習		
ナンバリング番号	211FFM202-C,212BTC201-C,213ARC201-C,214BRM200-C								

授業計画

学生はAからJまでの9グループに分かれる。グループ編成は学生の希望にもとづき、教員側で決定する。前期を通じて同じグループで授業を受ける。授業の成果を報告集として作成することを目標とする。各テーマでの授業計画については、授業開始時に示される。
授業時間：6時間×15回＝90時間
予習・復習時間：3時間×15回＝45時間

担当者から

授業は原則対面で行うが，新型コロナ感染症の流行状況等によっては，リモート形式等で行う場合がある．それに伴って，内容や成績評価手法も変更する場合がある．

講義名	環境フィールドワークIII							担当教員	学部教員／井手　慎司／迫田　正美／伴　修平／陶器　浩一／須戸　幹／丸尾　雅啓／村上　修一／杉浦　省三／
講義コード	1200980	単位数	3	開講期	通年集中	授業方法	実習		
ナンバリング番号	311FFM302-C,312PEL301-C,313ARC301-C,314BRM310-C								

授業概要

各教員が提示する専門的なテーマごとのグループに分かれ、その教員の指導の下で、１５週にわたってフィールドワークを主体とした調査を行う。
最終的には調査報告書を作成する。
グループの配属では、履修登録期間前に環境フィールドワーク委員会から配布される「各グループのテーマおよび内容」を参照して、どのテーマのグループに所属したいかを記した希望票を提出すること。

到達目標

（１）特定の課題に対し、教員の指導を受けつつ自発的にフィールドデータを取ることができる。
（２）取得したデータに対し、専門的知見を交えた分析を行うことができる。
（３）データの考察を行い、その結果を適切な文章で表現できる。
（４）考察を交えた報告書を書くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	（項目１）フィールドワークのパフォーマンス：６０％ （項目２）データ分析のパフォーマンス：２０％ （項目３、４）報告書作成のパフォーマンスおよび文章の質：２０％

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワークIII							担当教員	学部教員／井手　慎司／迫田　正美／伴　修平／陶器　浩一／須戸　幹／丸尾　雅啓／村上　修一／杉浦　省三／
講義コード	1200980	単位数	3	開講期	通年集中	授業方法	実習		
ナンバリング番号	311FFM302-C,312PEL301-C,313ARC301-C,314BRM310-C								

授業計画

授業計画は各教員によって異なり、各テーマでの授業計画については、授業開始時に示される。
授業時間：6時間×15回＝90時間
予習・復習時間：3時間×15回＝45時間

担当者から

授業は原則対面で行うが，新型コロナ感染症の流行状況等によっては，リモート形式等で行う場合がある．それに伴って，内容や成績評価手法も変更する場合がある．

講義名	環境物理学Ⅰ							担当教員	小泉　尚嗣
講義コード	1200990	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111DFM110,112PEL203,114BRM122								

授業概要

この講義では、物理学の基本である力学を扱う。大学レベルの物理学の基本を扱うので、微分・積分・ベクトルを使用する。特に、微分・積分については前期に開講している「基礎数学I」程度の内容は理解していることを前提とする。ただし、必要な数学的知識について最小限の復習は行う。また新たな数学的手続きを使用する場合、丁寧な解説を行う。この講義では、力学の基本的現象を理解したうえで、それを数式化して解析することを学ぶ。物理学を「道具」として使えるように，物理法則適用の前提を明らかにした上で，基本的な演習問題を解くと共に，身近な現象に物理学がどのように適用できるかも考える．

到達目標

(1) 基礎的な力学を理解する．
(2) 微分積分およびベクトルの基礎を用いて，力学の基礎的問題を解けるようになる．
(3) 基本的な物理現象について，力学の用語を用いて説明できるようになる．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	
レポート課題	60%	１５回の授業期間中に，12回程度の演習問題を課す．この演習問題の点数に出席状況を考慮して評価する。
上記以外		

授業外学習

１５回の授業期間中に，12回程度の演習問題を課す．授業内にできなかったものが宿題となる．演習問題（宿題）は毎回添削のうえ返却する．宿題は1週間以内に提出を原則とする．出席状況も加味した毎回の演習問題（宿題）の点数が成績評価の６割をしめる．

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	工科系のための基礎力学	井上光・鈴木貴・他	東京数学社	
2	理工系の基礎物理　力学	原　康夫	学術図書出版社	
3				

授業中にプリントを配布する．微積分について苦手意識のない人は参考書を買う必要はない．迷う場合は，授業が始まってから判断しても大丈夫で

前提学力等

高校程度の微分積分およびベクトルを理解していること．微分積分の知識が不足している場合は，前期の「基礎数学Ⅰ」を履修していること．

履修資格

講義名	環境物理学Ｉ							担当教員	小泉　尚嗣
講義コード	1200990	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111DFM110,112PEL203,114BRM122								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス，１次元運動の導入	速度や加速度を表現するのに微分・積分を使用できる理由とその利点を学ぶ。	2	高校数学の微分・積分について復習 与えられた課題を実施する。	1 3
第2回	１次元の運動	１次元の位置・速度・加速度を微分と積分を用いて求める方法を学ぶ。	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第3回	２次元・３次元の運動	２次元・３次元の運動を微分・積分で求める方法を学ぶ。	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第4回	ニュートンの第１・第２・第３法則-1	力のつりあい・作用反作用・力と加速度の関係を学ぶ。	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第5回	ニュートンの第１・第２・第３法則-2	ニュートンの第２法則（運動方程式）を用いて，変位・速度・加速度の計算を行う．	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第6回	力積と運動量	運動方程式を運動量の方程式に拡張する。力積での作用反作用関係を理解する。	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第7回	運動量保存の法則	運動量保存則の理解および衝突の式について学ぶ．	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第8回	力や運動の合成と分解-1	ベクトルを用いて，力や運動の合成と分解を考える．垂直抗力と摩擦力について学ぶ．	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第9回	力や運動の合成と分解-2	垂直抗力と摩擦力について、引き続き学ぶ。	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第10回	仕事と力学的エネルギー	仕事および力学的エネルギーの定義を理解し、仕事を内積で求める方法を学ぶ。	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第11回	力学的エネルギー保存の法則	力学的エネルギー保存則について、その前提条件も含めて学ぶ．	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第12回	等速円運動	微分を用いて等速円運動の特徴を理解する。	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第13回	単振動	等速円運動の知識を基本として単振動について学ぶ．。	2	宿題である演習問題を解く。講義内	0 4
第14回	誤差	実際の観測（実験）には誤差が必ず含まれる．誤差の評価の仕方について学ぶ．	2	誤差について調べておく。精度・角 誤差の評価について復習する。	2 2
第15回	まとめ	講義全体のまとめを行う．	2	与えられたレジュメ等に基づき，講	2 4

担当者から

授業は原則対面で行うが，新型コロナ感染症の流行状況等によっては，リモート形式で行う場合がある．それに伴って，内容や成績評価手法も変更する場合がある．

講義名	環境法							担当教員	上河原　献二／小松　直樹※
講義コード	1201039	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	311FFM211,312ETC306,314BRM297								

授業概要

環境法は、環境政策の柱である。1970年代に整備された環境法は、公害・自然破壊から環境保全へ、更に地球環境問題と対象とする問題が変化するにつれて対応する法体系も大きく変容してきている。この講義では、法と社会という広い観点に立って、国の法律、地方自治体の条例、地球環境条約など環境を守るルールについて、その基本的な考え方と論点について学ぶ。講師は、それぞれ環境省と滋賀県琵琶湖環境部で長年環境行政に携わった経験を有するので、生きた環境法を学ぶことができる。

到達目標

（１）環境法全体の歴史、性格、行政主体の役割の基本的事項を理解するとともに説明できる。（２）個別分野の環境問題に関する法律の対象問題、基本的構造及び課題について理解するとともに、説明できる。（３）環境法に関する横断的事項・手法を理解するとともに、それらを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	授業中レポート 到達目標（１）について10% 到達目標（２）について10%
上記以外		

以下を単位取得要件とする。
①10回以上の出席、②宿題レポート２回以上の提出、③期末レポートの提出

授業外学習

環境法をよく理解できるためには、普段から紙媒体で新聞を読んで、環境問題、環境政策、環境訴訟の動向を把握しておくことを勧める。大学図書館に主要新聞がそろっているので、活用しよう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	考えながら学ぶ環境法	畠山武道	三省堂	9784385322451
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

環境法は、環境問題を改善するためにできている。従って、環境法を理解するためには、環境問題についてのニュースを日頃から読んでおくことを勧める。

履修資格

講義名	環境法							担当教員	上河原　献二／小松　直樹※
講義コード	1201039	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	311FFM211,312ETC306,314BRM297								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	環境問題と環境法の歴史	①環境問題とは何か？②環境問題の歴史、③環境政策の基本的な考え方、④環境法の歴史、⑤環境法の特徴	2	教科書第１，2,4講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第2回	規制的手法	①環境汚染対策の手法、②規制的手法の原則と仕組み、③規制的手法の意義と限界、④現在の課題	2	教科書第3,5講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第3回	化学物質対策に係る法制度	①化学物質問題とは、②農薬取締法、③化学物質審査規制法、④化学物質把握管理促進法	2	教科書第3項を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第4回	環境行政における国と地方自治体の役割	①環境基本法と環境基本計画、②環境基準と規制基準、③国、都道府県、市町村の役割、④上乗せ規制と横出し規制、⑤公害防止計画、⑥	2	別添の昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第5回	環境影響評価の考え方とその法制度	①目的、②経緯、③仕組み、④地方自治体による制度、⑤実績・実例	2	教科書第8講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第6回	大気汚染、悪臭、騒音・振動に係る法制度	①大気汚染の歴史と大気汚染防止法、②悪臭防止法、③騒音防止法、④振動防止法	2	教科書第9講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第7回	水質汚濁・土壌汚染に係る法制度	①水質汚濁の歴史と水質汚濁防止法、②地下水汚染対策、③農用地土壌汚染対策、④市街地土壌汚染対策	2	教科書第9講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第8回	廃棄物の処理・リサイクルに係る法制度	①歴史、②循環型社会形成推進のための法体系、③廃棄物処理法による適正処理、④廃棄物処理の課題、⑤「３Ｒの推進」に向けた法体系	2	教科書第11講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第9回	自然公園制度	①自然公園制度の目的、②自然公園制度の歴史、③営造物公園と地域制公園、④管理制度、⑤課題	2	教科書第10講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第10回	生物多様性保全制度	①生物多様性条約、②生物多様性基本法、③鳥獣保護法、④種の保存法、⑤外来生物法	2	教科書第10，14講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第11回	原子力汚染対策法	①原子力基本法、②原子炉等規正法、③特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律、④原子力災害特別措置法、⑤放射性汚染対処特別措置	2	教科書第12講を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第12回	環境法の国際的形成と気候変動条約	①行政分野の国際協力制度、②国際的環境保全制度の発展、③地球環境条約制度の仕組み、④気候変動条約制度	2	別添の昨年度講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第13回	地球温暖化対策に関する法制度	①地球温暖化対策推進法、②温暖化対策税、③再生可能エネルギー導入対策、④省エネ法	2	別添の昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第14回	環境保全に関する費用負担	①誰が負担してきたか、②汚染者負担原則、③拡大生産者責任、④受益者負担原則	2	教科書第7講を読むこ 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第15回	被害救済制度	①損害賠償制度（民法、国家賠償請求法、原子力損害賠償法）、②取消請求制度（行政事件訴訟法）、③公害紛争調停制度	2	教科書第13講を読む 最終レポートを作成・提出すること	2 2

担当者から

講義名	環境マネジメント演習							担当教員	高橋　卓也
講義コード	1201060	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	312ETR304								

授業概要

企業等の組織の環境経営に例をとった実習課題に取り組むことによって、環境経営、さらには卒業研究に有益なスキルを身に付ける。その過程で、組織の多面性・複雑性、マーケティング、組織外部とコミュニケーションの取り方、オペレーションリサーチ、財務・会計などの概念および実際について学ぶ。

到達目標

(1)環境マネジメントに役立つ手法の仕組みについて理解する。(2)環境マネジメントに役立つ手法の適用ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)環境マネジメントに役立つ手法の仕組みについて理解する、および(2)環境マネジメントに役立つ手法の適用ができるようになる、について、演習作業状況（20%：(1)10%，(2)10%）、成果報告（80%：(1)40%，(2)40%）で評価する。

４回以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

講義の復習及び報告のための準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	適宜、資料を配布する。			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	自然資本の経済―「成長の限界」を突破する新産業革命	ポール・ホーケン、L．ハンター・ロビンス、エイモリー・B．ロ	日本経済新聞社	978-4532148713
2	ディープエコノミー 生命を育む経済へ	ビル・マッキベン	英治出版	978-4862760296
3	グリーン・トゥ・ゴールド―企業に高収益をもたらす「環境マネジメント」戦略	ダニエル・C．エスティ	アスペクト	978-4757214927

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境マネジメント演習							担当教員	高橋　卓也
講義コード	1201060	単位数	1	開講期	前期	授業方法	①演		
ナンバリング番号	312ETR304								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	導入、環境ビジネスの立ち上げ（1）	全体の進め方についてのオリエンテーション。 環境ビジネスの立ち上げの事例から、企業、組織の多面性・複雑性に	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第2回	環境ビジネスの立ち上げ（2）：　実習・報	事例を分析し、その結果の報告を行う。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第3回	マーケティング調査（1）：　講義・実習	環境マーケティング調査手法についての講義・実習。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第4回	マーケティング調査（2）：　実習	環境マーケティング調査を実施し、分析を行う。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第5回	マーケティング調査（3）：　報告	環境マーケティング調査についてお互いに報告し、フィードバックを行う。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第6回	環境報告書を読む（環境コミュニケーショ	環境報告書についての講義と実習を行う。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第7回	環境報告書を読む（環境コミュニケーショ	環境報告書を読み分析する。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第8回	環境報告書を読む（環境コミュニケーショ	環境報告書の分析結果についてお互いに報告し、フィードバックを行う。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第9回	環境オペレーションリサーチ（1）：　講	環境オペレーションリサーチ（最適化手法）についての講義を行う。 最適化手法を体験する。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第10回	環境オペレーションリサーチ（2）：　実習	最適化手法による問題解決を実践する。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第11回	環境オペレーションリサーチ（3）：　報告	問題解決の結果についてお互いに報告し、フィードバックを行う。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第12回	環境財務・会計（1）：　講義、実習	環境財務・会計について講義を行う。財務・会計情報に親しむ。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第13回	環境財務・会計（2）：　実習	環境財務・会計についての実習。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第14回	環境財務・会計（3）：　報告	環境財務・会計についての実習結果をお互いに報告し、フィードバックを行う。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	 1
第15回	まとめ・質疑応答	全体についてふりかえり、今後の発展の可能性について考える。	2	予習資料に目を通す。 配布資料を熟読し理解を深める。	 1

担当者から

講義名	環境公正論							担当教員	土屋　正春※
講義コード	1201085	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312ETC304,313ARC207								

授業概要

今や小学生でさえ「地球環境問題」という言葉を知っています。この時代に生きる私達は歴史的にも前例のない努力と配慮を求められていますが、その内実の極めて複雑な状況はよく知られている通りです。

代表的な例を挙げると、2010年に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）では資源供給国と利用国との激しい対立が展開されたことがあります。それでも2015年12月にパリ協定として全ての国が協調して温暖化問題に取り組む枠組みが採択されたのは、問題の深刻さが広く国際社会で広く共有されたためだと言えるでしょう。

しかしながら、一昨年の Thunberg v. Trump の応酬、国益第一を理由とするアメリカのパリ協定からの脱退、新大統領 Biden による協定への復帰、昨年11月開催の第26回国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP26）での平均気温上昇限度「1.5度」の目標設定とその背景事情などには　「権利」と「義務」とで成り立つ「制度」には、避けることができない「仕組みとしての限界」が潜んでいることを示しています。

このため、地球環境問題を考えるためには、これとは別のチャネルの共有が強く求められるようになりました。人間の行動をより広い正義や公正

到達目標

(1)　これまでの環境思想の流れの理解を通じて今後への時代認識を得ること。
(2)　そうした思想を産んだ社会的な問題の推移と相互関係について正確な理解を得ること。
(3)　また、生命についての考え方との関係を理解できること。
(4)　そして、一番大切なことですが、自分の考えを持てるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	・ 到達目標(1)について、論述式及び穴埋め式試験を行います。 ・ 到達目標(2)について、論述式及び穴埋め式試験を行い
レポート課題	30	・ 到達目標(4)について、授業各回の到達度を確認するために短い文章作成を行います。
上記以外		

・ 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

・ 今後の予習課題掲載ページに注意願います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・ 教科書は使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・ 各回の授業に際して関連する資料を印刷の上配布します。

前提学力等

・ 前提とする学習内容が多岐にわたるので3年次以上の履修としているので注意願います。

履修資格

講義名	環境公正論							担当教員	土屋　正春※
講義コード	1201085	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312ETC304,313ARC207								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	環境公正論の基本テーマ	深刻化と拡大化をたどる環境問題について、先進国を中心として新しい思潮が登場したのは1970年代の初期でした。それまでの考え方の	2	いわゆる「環境問題」が水や大気 一連の学界活動はそれなりの成果	2 2
第2回	水俣からの問い	1956年は現代日本社会にとって時代を画するものとなりました。「もはや戦後ではない」と経済白書が戦後復興経済の立ち上がりを宣	2	水俣病の発生確認当時、地域社会 現れた社会的な対応には多様性が	2 2
第3回	社会変化のバランスシート	水俣を代表とする公害問題は「公害日本」のレベルにまでなりました。その背景には経済成長と便利生活を求める社会の動きがあり、そ	2	急速な経済成長を遂げた日本社会 大きな変化が遺産として残したも	2 2
第4回	成長の限界と持続的な発展	1972年に発表された「成長の限界論」と1987年に発表された「持続的発展論」は、　現代社会の抱える深刻な課題を私達に投じていま	2	成長の限界論の要点を調べて理解 成長の限界論と持続的発展論との	2 2
第5回	現代開発論とＳＤＧｓ	人間はさまざまな外的環境への働きかけを通じて生活基盤を確立強化してきましたが、これまでにその限界もまた明確になっています。	2	SDGs論が登場するまでに、それと SDGs論では17もの目標が掲げられ	2 2
第6回	功利主義と環境問題	観点を変えてみます。現在の社会のあり方を方向づけてきたのは資本主義と功利主義だとの見方があります。であるとすれば、最大多数	2	功利主義の内容について、その概 功利主義に由来する弊害が具体的	2 2
第7回	共時性と通時性というツール	ここまでに扱われた、一時的で、かつ、一地域的な性格を大きく超えるような問題については共時性と通時性というツールで整理するこ	2	地域環境から地球環境へと考察範 このツールで実際の問題を考察し	2 2
第8回	将来世代に対する責任について	共時性の観点に立つと国際的な相互支援体制づくりがゴールですが、通時性の場合にはどうなるのか。代表的なものは、そもそも将来	2	SDGs での目標の立て方が将来の 未だ存在しない人々との関係が理	2 2
第9回	前半中間まとめ	ここまでは人間世界の内側をいくつかのポイントを通じて考察してきました。実際の場面では現実問題の複雑さを反映するような議論が	2	汚染問題から世代間の責任問題ま 人間界と外界との関係への考察に	2 2
第10回	保全と保存という考え方	「子、孫の代まで漁が続けられるように」とする意見広告を長崎県壱岐市の漁業団体が世に問うたのは3年前のことでした。私達人間界	2	似ているように見える二つの言 人間界とその外界との関係につい	2 2
第11回	共生論と共同体論	ＵＳＰの初代学長であった日高先生は「自然との共生」という表現には批判的でした。人間も自然の一部なので共生どころではないとい	2	人間は自然と対峙する存在なの レオポルドによる「土地倫理」が	2 2
第12回	自然の権利、動物の権利	人間も含めて自然の構成員が平等であるなら、強すぎる人間に対して弱い構成員が自らを守る権利があって当然だ、という考え方が登場	2	権利の主体としての位置づけは、 自然や動物に権利があるとして、	2 2
第13回	「種の差別」という議論	すべての生き物は平等な配慮を受けて当然だとする考え方は更に分析的な様相を呈し、ヒトであるとかイヌであるとかの「種」を超えた	2	生き物は共同体を構成し、その内部 相手がイヌである、バッタであ	2 2
第14回	人格論の展開	ヒトはいつまでヒトであり、どうなったらヒトではなくなるのか。私達は一体何を守ろうとしているのか。大きな枠組である「環境」で	2	それぞれの特性を備えた生き物 それが究極の人間の場合はどうな	2 2
第15回	講義全体のまとめ	私達はもっと周りに対する見方をソフトにし、将来に向けて選択の幅を広げねばなりません。学んできたように成長が社会にもたらす魅	2	資本主義がもたらす成長と繁栄に 「新しい資本主義」などの考え方	2 2

担当者から

・ 前述のように各回の授業で到達度の確認を兼ねて短い文章作成を行い、全員の成果の共有を図ります。他の受講生の考え方や書き方についての関心も高く、今年度も引き続き実施します。

講義名	基礎数学Ⅰ							担当教員	清瀬　周※
講義コード	1201110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111FFM105,112PEL101,113ARC104,114BRM190								

授業概要

自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、数学的な見方・考え方の力を身につけ、様々な分野で数学が利用されていることを学習する。

到達目標

(1)漸化式が解けること。
(2)数列の極限が求められること。
(3)ベクトル・行列の扱いに慣れること。
(4)いろいろな曲線の表し方を理解すること。
(5)確率の計算・確率分布・平均・分散が求められること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	到達目標(1),(2),(3),(4),(5)について、理解を問うためのレポート課題を課す。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎数学Ⅰ							担当教員	清瀬　周※
講義コード	1201110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111FFM105,112PEL101,113ARC104,114BRM190								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	いろいろな数列	数列の定義、等差数列	2		
第2回	いろいろな数列	等比数列	2		
第3回	漸化式	漸化式の原理、簡単な解法の例	2		
第4回	数列の極限	概念、様々な例	2		
第5回	数列の極限	等比数列の極限、数列の極限の公式	2		
第6回	級数	有限和	2		
第7回	級数	無限和	2		
第8回	平面上のベクトル	定義、和とスカラー倍、成分表示	2		
第9回	2次行列	集合と写像、2次行列と平面ベクトルの積	2		
第10回	2次行列	平面の一次変換と2次行列	2		
第11回	2次行列	2次行列同士の積、2次行列の行列式	2		
第12回	2次行列	逆行列、連立一次方程式と行列	2		
第13回	平面ベクトルの内積	定義と性質、成分表示	2		
第14回	平面曲線	曲線の方程式、媒介変数表示、極座標と極方程式	2		
第15回	確率 確率分布	標本空間、根元事象、事象、確率の定義、確率の加法性 確率変数、確率分布、期待値、分散と標準偏差	2		

担当者から

講義名	基礎数学II							担当教員	清瀬　周※
講義コード	1201120	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111FFM106,112PEL102,113ARC105,114BRM191								

授業概要

自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、直感を重視しながら数学的な見方・考え方の力を身につけ、また環境問題を扱う上でしばしば見受けられる三角関数・指数関数・対数関数を軸として、関数の微少な変化を調べてその結果を知るための微分・積分の基礎的概念を学習する。

到達目標

(1)三角・指数・対数関数の計算ができること。
(2)平均変化率・導関数の計算ができること。
(3)置換積分・部分積分の計算ができること。
(4)簡単な微分方程式が解けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	到達目標(1),(2),(3),(4)について、理解を問うためのレポート課題を課す。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎数学Ⅱ							担当教員	清瀬　周※
講義コード	1201120	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	111FFM106,112PEL102,113ARC105,114BRM191								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	三角関数	三角比による定義と、より広い角度への拡張	2		
第2回	三角関数	sin, cos, tan のグラフ	2		
第3回	指数関数	自然数、0、整数、有理数、実数の指数の定義	2		
第4回	指数関数 対数関数	指数関数のグラフ 対数の定義	2		
第5回	対数関数	指数法則と対数の基本性質	2		
第6回	対数関数 関数の極限	対数関数のグラフ 関数の極限の概念	2		
第7回	関数の極限 平均変化率と微分係数	関数の極限の概念 極限による微分係数の計算原理	2		
第8回	平均変化率と微分係数	極限による微分係数の計算原理	2		
第9回	導関数	導関数の定義 三角関数の微分についても解説する。	2		
第10回	平均値の定理と微分の応用	平均値の定理による、関数の増減・極値・グラフの凹凸の調べ方の原理	2		
第11回	微分の応用 不定積分	近似式 不定積分の定義	2		
第12回	不定積分	置換積分と部分積分の準備（合成関数の微分公式・ライプニッツの公式）	2		
第13回	不定積分	置換積分の公式	2		
第14回	不定積分 定積分	部分積分の公式 定積分の定義と微分積分学の基本定理	2		
第15回	定積分	定積分の計算例や公式、応用例（面積、体積、曲線の長さ） 12，13，14，15回では導関数と不定積分の覚えておくべき公式につい	2		

担当者から

講義名	基礎統計							担当教員	村上　一真
講義コード	1201130	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112BTR201								

授業概要

統計資料の分析を進めていくため、統計学の基礎知識を学ぶ。各種の統計データの読み方やそこから作られる図表の読み方を習得し、基本的な計算やグラフの作成ができるようにする。具体的には官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワークによる論文が読め、単純集計・度数分布・代表値・クロス集計などのデータを読めるようにする。また統計をどうして学ばなければならないか、統計が社会でどのように役立つかについても、理解していく。

到達目標

(1) 統計学における基礎的な統計概念について、説明できること。
(2) 記述統計学における基礎的な統計量について、計算できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	定期試験の結果で評価。 到達目標(1)について、20%。 到達目標(2)について、20%。
レポート課題	20	2回の宿題の結果で評価。 到達目標(1)について、10%。 到達目標(2)について、10%。
上記以外	40	中間ふりかえりの結果で評価。 到達目標(1)について、20%。 到達目標(2)について、20%。

特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した場合は、成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	数学嫌いのための社会統計学（第２版）	津島昌寛・他	法律文化社	ISBN978-4-589-03619-3
2				
3				

教科書は、初回授業から持参すること。持参を前提に、授業を実施する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎統計							担当教員	村上　一真
講義コード	1201130	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112BTR201								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	社会を数字で捉える	本講義の全体ガイダンスと、「社会を数字で捉える」ことの意味と方法を講義する。	2	
第2回	可能性で考える	確率と確率分布について講義する。	2	
第3回	ばらばらのデータを図表にまとめる	度数分布について講義する。	2	
第4回	分布の特性を数字でつかむ	代表値とちらばりについて講義する。	2	
第5回	ふたつの離散変数を同時に扱う	クロス表について講義する。	2	
第6回	関連の強さをどう測る？①	属性相関について講義する。	2	
第7回	関連の強さをどう測る？②	前回に続き、属性相関について講義する。	2	
第8回	中間ふりかえり	第７回講義までのふりかえりを実施する。	2	
第9回	連続変数同士の関連を分析する（散布図と相	散布図と相関係数について講義する。	2	
第10回	連続変数同士の関連を分析する（散布図と相	前回に続き、散布図と相関係数について講義する。	2	
第11回	連続変数同士の関連を分析する（回帰分析）	回帰分析について講義する。	2	
第12回	連続変数同士の関連を分析する（回帰分析）	前回に続き、回帰分析について講義する。	2	
第13回	みえない関係を探る①	多重クロス表と偏相関係数について講義する。	2	
第14回	みえない関係を探る②	前回に続き、多重クロス表と偏相関係数について講義する。	2	
第15回	授業のまとめ	授業のまとめを行なう。	2	

担当者から

講義名	景観計画							担当教員	村上　修一
講義コード	1201160	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	212PEL307,213ARC302,214BRM287								

授業概要

ランドスケープは，自然と人為の関わり合いから形成される場の様相である。本科目では，ランドスケープの特徴や仕組みを分析して課題を抽出し，課題の解法を創造するための計画（プランニング）手法を説明する。単に知識を得るだけでなく，未来社会にふさわしい新たなランドスケープ・プランニングの手法を実践的に習得するために，毎回，（１）目標と課題を提示し，（２）課題を解くために必要な手法を講述し，その上で，（３）各自が課題の解法を描くワークシート作成の時間を授業内に設ける。

到達目標

講述する手法を用いたランドスケープ・プランニングができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標について，第2回から第15回までの各回に実施する14回分の課題成果物の点数を合計し（100点／回，1400点満点），100点満点に換算して評点とする（100%）。課題は，講義の内容によって，計画図などを作成する形式や，小クイズ形式などがある。

授業外学習

本科目で習得した手法を，設計演習や卒業設計における課題制作に際して，積極的に活用し，その手法を確実に身につけてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ランドスケープデザイン	佐々木葉二，曽和治好，村上修一，久保田正一	昭和堂	
2	環境デザイン学‐ランドスケープの保全と創造	森本幸裕，白幡洋三郎編	朝倉書店	
3	テキスト　ランドスケープデザインの歴史	武田史朗，山崎亮，長濱伸貴編	学芸出版社	

追加の参考書：「実践 風景計画学－読み取り・目標像・実施管理－」（古谷勝則他編　朝倉書店）

前提学力等

履修資格

講義名	景観計画							担当教員	村上　修一
講義コード	1201160	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	212PEL307,213ARC302,214BRM287								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	序論	ランドスケープ・プランニングの概要	2	あなたの身近にある美しい景観を楽 授業で言及されたタイトルをキー	2 2
第2回	都市公園	近代都市公園の先例を参考にして，公園の計画図を描けるようになる。	2	パリ市のビュット=ショーモン公園 授業内容にもとづき，あなたの身近	2 2
第3回	レジリエントデザイン	気候変動適応策として，治水安全度の向上と親水性の向上とを両立させる公園の計画図を描けるようになる。	2	ボストン市の気候変動適応策 授業内容にもとづき，あなたの身近	2 2
第4回	グリーンインフラ	都市における降雨の地表面流出を植物と土壌で遅らせるよう，緑地の計画図を描けるようになる。	2	ポートランド市のグリーンインフラ 授業内容にもとづき，あなたの身近	2 2
第5回	パークシステム	都市の骨格を成す公園緑地系統の概念図を描けるようになる。	2	ボストン市のエメラルド・ネックレ 授業内容にもとづき，彦根市の公園	2 2
第6回	京都ランドスケープデザイン展の各自見学	（会期により前後の回と入れ替える可能性がある）Web上の展覧会で学生によるランドスケープデザイン作品を見学し，表現方法やデザイ	2	Teamsで予告するリンク先より京都 視聴した作品についてのコメントを	2 2
第7回	京都ランドスケープデザイン展の作品レ	（会期により前後の回と入れ替える可能性がある）京都ランドスケープデザイン展における特筆すべき作品の解説を聞き，表現方法やデザ	2	視聴した作品について記述したコメ 授業内容にもとづき，展示作品に認	2 2
第8回	シナリオデザイン	時間をかけて土地利用を変えて行くためのシナリオを，各段階の土地利用図で表現できるようになる。	2	Downsview Park 設計競技について 授業内容にもとづき，身近な空地に	2 2
第9回	ランドスケープ・エコロジー	リチャード・フォアマンが提唱する，生物多様性のための土地利用の原則を学び，緑地配置の計画に応用できるようになる。	2	リチャード・フォアマンによるラン 授業内容にもとづき，あなたの住む	2 2
第10回	オーバーレイ・メソッド	イアン・マクハーグが考案した土地条件図の重ね合わせ法により，住宅開発に適した土地を見出せるようになる。	2	イアン・マクハーグについてサイト 授業内容にもとづき，あなたの住む	2 2
第11回	オルタナティブ・メソッド	カール・スタイニッツが考案した複数シナリオによる意思決定支援の手法にもとづき，最善のシナリオを見出せるようになる。	2	カール・スタイニッツの地理情報シ 授業内容にもとづき，あなたの住む	2 2
第12回	文化的景観	自然条件に即して生業や生活が成り立つよう人為によって形成された景観の特徴を分析し，問題解決策を案出できるようになる。	2	文化庁の重要文化的景観のサイトを 授業内容にもとづき，あなたが後世	2 2
第13回	川の景観	川と共生してきた人の営みによって形成された景観の特徴を分析し，新しい景観の見方を提案できるようになる。	2	あなたの身近にある川を地図などで 授業内容にもとづき，あなたの身近	2 2
第14回	湖岸の景観	湖岸の移動にともなって体験されるシークエンス景観を記譜法で記述し，課題を特定して，問題解決策を案出できるようになる。	2	琵琶湖の湖岸道路を検索サイト地図 授業内容にもとづき，琵琶湖の湖岸	2 2
第15回	沿岸域の景観	陸域と水域のせめぎあいの痕跡を読み解き，水の痕跡としての活用策を描けるようになる。	2	今昔マップ on the web のサイトを 授業内容にもとづき，今昔マップ	2 2

担当者から

(1)遅刻をしないこと。各回の講義の冒頭で目標を説明し課題を提示する。遅刻すると目標や課題の理解が不十分な状態で課題に取り組むことになる。

講義名	経済学Ⅰ							担当教員	林　宰司
講義コード	1201170	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112ETC204,114BRM195								

授業概要

現代経済学は、個別の経済活動を集計した一国経済全体を扱うマクロ経済学と、経済主体の最小単位である消費者、企業が活動を行う市場の分析を対象とするミクロ経済学に大きく分けられる。本講義では、主に後者のミクロ経済学の基礎理論を理解することを目的とする。

到達目標

(1)消費者・生産者の経済行動の簡単な事例について、説明できるようになること。
(2)ミクロ経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、市場経済のしくみについて定性的・定量的な分析価ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)20%，(2)20%
レポート課題	30%	到達目標(1)15%，(2)15%
上記以外	30%	中間まとめ 到達目標(1)15%，(2)15%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公務員試験 テキスト ゼロからはじめる！クイックマスター ミクロ経済学	東京リーガルマインド	東京リーガルマインド	978-4-8449-0483-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

グラフ、一次方程式、確率計算、微分計算などの初歩的な数学の知識を前提とする。

履修資格

講義名	経済学Ⅰ							担当教員	林　宰司
講義コード	1201170	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112ETC204,114BRM195								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	市場理論(1)	需要と供給	2	unit１～3を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第2回	市場理論(2)	価格弾力性	2	unit4を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第3回	市場理論(3)	完全競争市場と市場均衡	2	unit5を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第4回	市場理論(4)	均衡の安定性	2	unit5を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第5回	市場理論(5)	余剰分析	2	unit6，17，18を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第6回	市場理論(6)	余剰分析の応用	2	unit19，20を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第7回	生産者行動(1)	生産関数	2	unit12を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第8回	生産者行動(2)	費用曲線	2	unit13,14を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第9回	中間まとめ 生産者行動(3)	中間まとめテスト 費用曲線	2	第1～6回の内容の復習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第10回	生産者行動(4)	費用最小化	2	unit13,14を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第11回	生産者行動(5)	利潤最大化	2	unit15を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第12回	生産者行動(6)	長期費用曲線	2	unit16を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第13回	消費者行動(1)	無差別曲線・限界代替率	2	unit7,8を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第14回	消費者行動(2)	効用最大化	2	unit9を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2
第15回	消費者行動(3)	所得変化効果と代替効果	2	unit10,11を予習 教科書・講義ノートの復習、教科書	2 2

担当者から

講義名	経済学Ⅱ（国際経済を含む）							担当教員	村上　一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212ETC201,337ILA302								

授業概要

マクロ経済学の基本について講義する．マクロ経済学の標準的な理論を解説するだけでなく，実際の統計データや現実の経済現象に着目し，日本や関西が抱える経済問題を，マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す．
講義では，現在の日本経済を理解する上で最小限必要なトピックスについて，新聞記事も使って解説を行うことで，理論と実際を結びつけながら解説し，理論，経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ．
最終的には日本経済新聞の内容を理解でき，就職活動における「円安が当社に与える影響は？」「最近の景気をどうみる？」などに答えられるように、仕事における経済環境の変化（為替、金利など）に伴う意志決定に役立つように，日常生活における消費・貯蓄行動、資産運用に活かせるようなレベルを目指す．

到達目標

(1)マクロ経済学の基礎概念
(2)家計，企業，政府の行動理論と現状
(3)マクロ政策の理論と現状
を理解し，説明できる．

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7（50/3）%、期末試験16.7（50/3）%で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7（50/3）%、期末試験16.7（50/3）%で評価する。
上記以外		

授業外学習

新聞やテレビ，インターネットでは毎日多くの経済問題が取り上げられている．講義に出席して終わりにするのではなく，講義を通じて得たマクロ経済学の知識を使って，現実に生じている経済問題の原因や対策を自分の頭で考えるトレーニングをしてみること．

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にレジメ配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学・入門（第5版）	福田慎一・照山博司	有斐閣	
2				
3				

授業中にレジメ配布

前提学力等

履修資格

講義名	経済学Ⅱ（国際経済を含む）							担当教員	村上　一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212ETC201,337ILA302								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	ガイダンス、マクロ経済学の概要	講義の進め方と評価方法，講義を通じて何を学ぶかを説明する．	2	
第2回	GDP（国内総生産）とマクロ経済学の基礎概念	マクロ経済で最も重要なGDPの概要と，「名目」と「実質」のような重要な概念について説明する．	2	
第3回	GDPの概念と決定メカニズム	GDPの決定メカニズムについて説明する．	2	
第4回	物価（インフレとデフレ）	物価（インフレとデフレ）について説明する．	2	
第5回	為替、景気循環	為替、景気循環について説明する．	2	
第6回	家計の消費と貯蓄行動	消費と貯蓄について，代表的な理論を解説し，実際のデータで確認する．	2	
第7回	企業等の投資行動	企業の投資について，代表的な理論を解説し，実際のデータで確認する．	2	
第8回	金融と株価	国全体のお金の流れについて解説し，金融・株式市場について理解を深める．	2	
第9回	貨幣の需要と供給	貨幣(お金)に関する理論を解説し，実際のデータを確認する．	2	
第10回	乗数理論とIS-LM分析	マクロ経済政策の中で最も重要な財政・金融政策の概要と，経済に与える影響について解説する．	2	
第11回	経済政策の必要性と有用性	経済政策はなぜ必要なのか，その有用性について解説する．	2	
第12回	政府支出の課題（財政赤字と国債）	政府の借金の問題について，財政赤字に関する理論を解説する．	2	
第13回	雇用と失業	失業はどうして発生するのか．理論の紹介だけでなく，実際にデータを見ながら解説する．	2	
第14回	経済成長理論	なぜ貧しい国と豊かな国に分かれるのか．その鍵を握る経済成長のメカニズムについて解説する．	2	
第15回	国際マクロ経済、まとめ	為替レートや国際収支など国際マクロ経済について解説し，実際のデータで確認する．	2	

担当者から

講義名	合意形成支援技法・演習							担当教員	吉川　直樹
講義コード	1201331	単位数	3	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212ETR304								

授業概要

廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（ブレーンストーミング法、ブレーンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、ＡＨＰ法）および問題構造化技法（ＩＳＭ法）である。

到達目標

(1) 要素抽出技法（技法なし、ブレーンストーミング法、ブレーンライティング法）について、比較結果を論理的に説明できること。
(2) 代替案評価技法（衆目評価法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
(3) 代替案評価技法（ＡＨＰ法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
(4) 問題構造化技法（ＩＳＭ法）について、問題構造化グラフを論理的に導けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	91	提出レポートで評価する。 到達目標(1)について15% 到達目標(2)について15%
上記以外	9	３回の発表の際に、受講者は、他グループ発表の評価を、評価シートに記載する。その記載内容で、評価する。 到達目標(3)について6% 到達目標(4)について3%

特段の事情（病気等；病院領収書等の提示が必要）がない限り、５回以上欠席した者は、成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は、特になし（資料配付）。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

行列、表計算の基礎知識を有すること。

履修資格

講義名	合意形成支援技法・演習							担当教員	吉川　直樹
講義コード	1201331	単位数	3	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212ETR304								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	要素抽出技法＋代替案評価技法「衆目評価	ガイダンス、要素抽出技法＋代替案評価技法「衆目評価法」の講義およびグループ演習を行なう。	4	予め配付される資料を読んでおく 授業の要点を確認し、「衆目評価	5
第2回	要素抽出技法＋代替案評価技法「衆目評価	第１回のグループ演習で得られたデータを用いて、「衆目評価法」の評価シートをグループごとに作成し、受講者に配布する。	4	第１回のグループ演習で得られた 他グループから配布された評価シー	 5
第3回	要素抽出技法＋代替案評価技法「衆目評価	第2回のグループ演習で作成した評価シートへの回答を回収し、衆目評価をグループごとに行なう。	4	演習を円滑に進められるよう、「衆 評価結果を取りまとめ、レポートを	5
第4回	代替案評価技法「ＡＨＰ法」①	代替案評価技法であるＡＨＰ法の講義及び演習を行なう。	4	予め配付される資料を読んでおく 授業の要点を確認し、「ＡＨＰ法」	5
第5回	代替案評価技法「ＡＨＰ法」②	AHP法のグループ演習を、身近な問題をテーマに、グループごとに行なう。	4	予め配付される資料を読んでおく グループ演習の結果を取りまとめる	5
第6回	代替案評価技法「ＡＨＰ法」③	前回に引き続き、AHP法のグループ演習を、身近な問題をテーマに、グループごとに行なう。	4	グループ演習に必要な追加的な調査 AHP法による評価結果を取りまと	5
第7回	代替案評価技法「ＡＨＰ法」④	AHP法のグループ演習（身近な問題）の、発表を行なう。	4	発表資料を作成し、発表の予行練習 発表に対する質疑や意見を踏まえ、	5
第8回	代替案評価技法「ＡＨＰ法」⑤	AHP法のグループ演習を、環境問題をテーマに、グループごとに行なう。なお、調査実施者と合意形成主体を別々とし、後者による評価は	4	予め配付される資料を読んでおく グループ演習の結果を取りまとめる	5
第9回	代替案評価技法「ＡＨＰ法」⑥	前回に引き続き、AHP法のグループ演習を、環境問題をテーマに、グループごとに行なう。	4	グループ演習に必要な追加的な調査 AHP法による評価結果を取りまと	5
第10回	代替案評価技法「ＡＨＰ法」⑦	AHP法のグループ演習（環境問題）の、発表を行なう。	4	発表の予行練習を適宜行う 発表に対する質疑や意見を踏まえ、	5
第11回	問題構造化技法「ＩＳＭ法」①	問題構造化技法であるＩＳＭ法の講義及び演習を行なう。	4	予め配付される資料を読んでおく 授業の要点を確認し、「ＩＳＭ法」	5
第12回	問題構造化技法「ＩＳＭ法」①	ISM法のグループ演習を行なう。	4	予め配付される資料を読んでおく グループ演習の結果を取りまとめる	5
第13回	問題構造化技法「ＩＳＭ法」②	前回に引き続き、ISM法のグループ演習を行なう。	4	グループ演習に必要な追加的な調査 AHP法による評価結果を取りまと	5
第14回	問題構造化技法「ＩＳＭ法」③	ISM法のグループ演習の、発表を行なう。	4	発表の予行練習を適宜行う 発表に対する質疑や意見を踏まえ、	5
第15回	まとめ	授業のまとめを行なう。	4	授業で取り上げた手法や演習の結果 授業資料を精読するとともに講義内	5

担当者から

講義名	国際環境資源論							担当教員	高橋　卓也／林　宰司
講義コード	1201380	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	312ETC305,314BRM393								

授業概要

グローバル経済のなか、日本国内の環境政策は国際的な状況を考慮に入れなくては、有効な政策を構想できない。また、新たな政策を打ち出すにあたっては、海外の政策が参考にされることが多くある。この講義では、森林環境政策（第１回～第８回。高橋担当）および地球温暖化防止政策（第９回～第１５回。林担当）の国際的な展開過程を跡づけるとともに、農林環境政策および地球温暖化防止政策に伴う理論的・実際的諸問題を考える。

到達目標

（１）国際的な視野のもとで、環境・資源問題に応用される経済的政策手法の事例について説明できるようになる。
（２）経済学の理論を使って、国際的な環境・資源問題について、その原因及び解決策について数式および図解により分析・説明ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標（１）について、授業内容に関するプレゼンテーション・レスポンスペーパーを課す。（50%）　到達目標（２）について、自らの考えを問うためのレポートを課す。（50%）
上記以外		

授業外学習

森林環境政策及びその関連分野についてレポートをとりまとめる（高橋担当分）。
地球温暖化防止政策及びその関連分野についてレポートをとりまとめる（林担当分）。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	適宜、資料を配布する。			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	国際環境資源論							担当教員	高橋　卓也／林　宰司
講義コード	1201380	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	312ETC305,314BRM393								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	導入、日本・世界の森林・林業	日本・世界の森林問題について概観する。	2	シラバスの内容を再読し、全体の流 授業中の配布資料を再読し、学んだ	1 3
第2回	日本・世界の森林資源の概要と林産物流通	日本・世界の森林資源・木材流通について概観する。	2	予習資料を読んでくる。 授業中の配布資料を再読し、学んだ	1 3
第3回	森林と地域・地球環境：気候変動	地域レベルと地球レベルの森林と環境の関係について論じる。とくに森林と気候変動問題との関連について学ぶ。	2	予習資料を読んでくる。 授業中の配布資料を再読し、学んだ	1 3
第4回	熱帯林問題	熱帯林の現状と熱帯林減少・劣化の原因、そして対応策について学ぶ。	2	予習資料を読んでくる。 授業中の配布資料を再読し、学んだ	1 3
第5回	持続可能な森林利用：森林認証	持続可能な森林管理を推し進める国際的な運動である、森林認証の考え方と実態について論じる。	2	予習資料を読んでくる。 授業中の配布資料を再読し、学んだ	1 3
第6回	地域社会と森林：山村問題	山村政策、山村振興について論じる。	2	予習資料を読んでくる。 授業中の配布資料を再読し、学んだ	1 3
第7回	森林と健康・幸福度（ウェルビーイング）	森林と人びとの健康・幸福の関係についてさまざまな研究を参照しつつ論じる。その具体的な実践として、森林セラピー、森林レクリエー	2	予習資料を読んでくる。 授業中の配布資料を再読し、学んだ	1 3
第8回	日本の森林・林業政策の最前線	日本の森林・林業政策の最新の状況について論じる。	2	予習資料を読んでくる。 授業中の配布資料を再読し、学んだ	1 3
第9回	地球温暖化問題の概要	地球温暖化問題の主な論点について概観する。	2	配布資料を読む。 配布資料、講義ノートの内容を復習	1 3
第10回	化石燃料消費と温暖化：経済格差と各国の	化石燃料消費と温暖化：経済格差と各国の責任に関して検討する。	2	配布資料を読む。 配布資料、講義ノートの内容を復習	1 3
第11回	途上国の持続可能な発展と温暖化防止政策	途上国の持続可能な発展と温暖化防止政策について概観する。	2	配布資料を読む。 配布資料、講義ノートの内容を復習	1 3
第12回	温暖化防止政策と国際貿易：競争力、カーボ	温暖化防止政策と国際貿易：競争力、カーボン・リーケージ問題について検討する。	2	配布資料を読む。 配布資料、講義ノートの内容を復習	1 3
第13回	EUの地球温暖化防止政策	EUの地球温暖化防止政策について概観する。	2	配布資料を読む。 配布資料、講義ノートの内容を復習	1 3
第14回	日本の地球温暖化防止政策	日本の地球温暖化防止政策について概観する。	2	配布資料を読む。 配布資料、講義ノートの内容を復習	1 3
第15回	まとめ：温暖化防止政策の将来	各自、将来実施すべき温暖化防止政策に関して検討し、提案と検討、質疑応答を行う。	2	配布資料を読む。 配布資料、講義ノートの内容を復習	1 3

担当者から

講義名	サスティナブルデザイン論							担当教員	芦澤　竜一
講義コード	1201465	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312PEL303,313ARC303								

授業概要

現代における地球環境を考慮した持続可能な社会を構築するための建築デザインについて論じる。環境、社会と建築との関りに注目して、事例を分析し、地域特性、素材、環境制御技術と連動したデザインを考察する。日本建築から現代建築まで具体的な事例を取り上げ、建築におけるサスティナブルデザインの可能性を検証する。

到達目標

（1）現代の環境や社会を考慮した建築のサスティナブルデザインに関わる知識を身につける。
（2）現代の社会や環境に対して、サスティナブルデザインを提案する能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	現代建築のサスティナブルデザインについて多角的に論じることができること
レポート課題	35	授業を受け、各トピックに対する自身の意見を論じることができること
上記以外	15	出席点

1/3以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業内容をきちんと復習し、自身で調査・考察すること。定期的に出題するレポートに意見を論述する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	住まいがつたえる世界のくらし	藤木庸介編	世界思想社	978-4-7907-1689-1
2	RYUICHI ASHIZAWA ARCHITECTS &associates	RYUICHI ASHIZAWA	NemoFactory	979-11-956786-9-3
3				

授業中にプリント資料を配布する

前提学力等

履修資格

講義名	サスティナブルデザイン論							担当教員	芦澤　竜一
講義コード	1201465	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312PEL303,313ARC303								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	講義概要説明／建築と社会		6	
第2回	モダニズムデザインの検証	事例を紹介しながら考察する。	6	
第3回	自然と応答するデザイン1(光)	事例を紹介しながら考察する。	6	
第4回	自然と応答するデザイン2(風)	事例を紹介しながら考察する。	6	
第5回	自然と応答するデザイン3(水)	事例を紹介しながら考察する。	6	
第6回	自然と応答するデザイン4(音)	事例を紹介しながら考察する。	6	
第7回	地域性とデザイン1	事例を紹介しながら考察する。	6	
第8回	地域性とデザイン2	事例を紹介しながら考察する。	6	
第9回	素材とデザイン1(木)	事例を紹介しながら考察する。	6	
第10回	素材とデザイン2（土、竹）	事例を紹介しながら考察する。	6	
第11回	素材とデザイン3(ヨシ・流木)	事例を紹介しながら考察する。	6	
第12回	建築とランドスケープの融合1	事例を紹介しながら考察する。	6	
第13回	建築とランドスケープの融合2	事例を紹介しながら考察する。	6	
第14回	弱者のためのデザイン	事例を紹介しながら考察する。	6	
第15回	サスティナブル都市デザイン/総括	事例を紹介しながら考察する。	6	

担当者から

講義名	資源経済学							担当教員	高橋　卓也
講義コード	1201470	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212ETC309,314BRM390								

授業概要

環境問題はとりもなおさず資源問題である。地球温暖化問題は、化石資源をわたしたちが今後どのように使っていくかという問題であり、森林環境問題は地球上の森林資源の分配問題でもある。経済学では、資源問題を理解し解決するためのツールが提供されている。理解するためのツールとしては、費用便益分析、割引評価、限界分析、非市場経済価値評価、解決するためのツールとしては、経済的手法、指令的手法、情報的手法、基盤的手法がある。本講義では、こうしたツールについて学び、わたしたちが直面している資源・環境問題の解決の方途を探りたい。

第1回から第8回までは、経済学への導入・復習を行い、第9回から第15回で前半で学んだツールを具体的問題に適用し、経済学の観点から問題の仕組みを理解し、解決の可能性がどこにあるか考える。

後半で考える問題としては、以下のようなものがある。

- 限りある化石資源、鉱石をどのように使うのが良いのか。
- 日本の林業・水産業が復活するにはどうすれば良いのか。
- 自然公園を快適に利用してもらうにはどうすれば良いのか。
- 獣害対策はどのようにすれば効率的にできるのか。

現実の資源問題に即して講義を進めたい。

到達目標

(1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる。
(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標で示す(1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる、および(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる、について期末筆記試験（60%: (1)40%，(2)20%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標で示す(1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる、および(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる、について毎回課する作業課題（40%: (1)20%，(2)20%）で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	適宜、資料を配布する。			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	入門　自然資源経済学	バリー・C・フィールド	日本評論社	978-4-535-55798-7
2	はじめての環境経済学	ジェフリー・ヒール	東洋経済新報社	978-4492313473
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

環境経済学入門・経済学Ｉを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	資源経済学							担当教員	高橋　卓也
講義コード	1201470	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212ETC309,314BRM390								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	資源経済学の課題	資源経済学が取り扱う素材、課題について概観する。（参考書１、２章）（参考書とはフィールド『入門　自然資源経済学』。以下同	2	資源経済学の課題について予習す 資源経済学の課題について復習す	 4
第2回	経済学の方法：需要と供給	需要・供給分析について資源経済問題の観点から復習する。（参考書３、４章）	2	経済学の方法：需要と供給について 経済学の方法：需要と供給について	 4
第3回	効率性と持続可能性	効率的、持続可能性とはどういう意味なのかを理解し、資源問題にどのように適用すれば良いか考える。（参考書５、６章）	2	効率性と持続可能性について予習す 効率性と持続可能性について復習す	 4
第4回	市場と効率性	自由市場に取引を任せておくのが効率的なのかどうなのか考える。公共政策の必要性について学ぶ。（参考書７章）	2	市場と効率性について予習する。 市場と効率性について復習する。	 4
第5回	意思決定の方法：費用便益分析など	資源利用の選択肢の中から一つの政策・方針を選ぶ方法として費用便益分析手法について学ぶ。（参考書８章）	2	意思決定の方法：費用便益分析など 意思決定の方法：費用便益分析など	 4
第6回	資源価値の評価方法	市場で取引されていない財・サービス（美しい景観、生物多様性など）の経済評価方法について学ぶ。（参考書９章）	2	資源価値の評価方法について予習す 資源価値の評価方法について復習す	 4
第7回	中間まとめ	第１回から第６回までの内容について復習する。	2	中間まとめについて予習する。 中間まとめについて復習する。	 4
第8回	中間試験	小テストにより、ここまでの理解について確かめる。	2	中間試験について準備をする。 中間試験について振り返る。	 4
第9回	応用問題①鉱業、エネルギー資源	鉱業、エネルギー分野での地下資源利用のあり方について資源経済学を活用して考える。（参考書10、11章）	2	応用問題①鉱業、エネルギー資源に 応用問題①鉱業、エネルギー資源に	 4
第10回	応用問題②森林資源	森林資源利用のあり方について資源経済学を活用して考える。（参考書12章）	2	応用問題②森林資源について予習す 応用問題②森林資源について復習す	 4
第11回	応用問題③水産資源	水産資源利用のあり方について資源経済学を活用して考える。（参考書13章）	2	応用問題③水産資源について予習す 応用問題③水産資源について復習す	 4
第12回	応用問題④水資源	環境に配慮した農業のあり方について資源経済学を活用して考える。（参考書14章）	2	応用問題④水資源について予習す 応用問題④水資源について復習す	 4
第13回	応用問題⑤野外レクリエーション	野外レクリエーション管理について資源経済学を活用して考える。（参考書15章）	2	応用問題⑤野外レクリエーションに 応用問題⑤野外レクリエーションに	 4
第14回	応用問題⑥野生生物、生物多様性	野生生物、生物多様性という資源の管理について資源経済学を活用して考える。（参考書16、17章）	2	応用問題⑥野生生物、生物多様性に 応用問題⑥野生生物、生物多様性に	 4
第15回	まとめ／質疑応答／資源経済学最前線	これまでの講義を振り返り、疑問点を解決する。受講生の関心のある話題について論じる。	2	まとめ／質疑応答／資源経済学最前 まとめ／質疑応答／資源経済学最前	 4

担当者から

適宜、授業中に作業課題を課す。経済実験ゲームを取り入れて理論に対する理解を深める。

講義名	市民参加論							担当教員	平岡　俊一
講義コード	1201550	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112ETC202-C								

授業概要

今日多様化する公共的課題を解決していく上では、私たち一人一人が「市民」として各種の社会活動や公共政策に積極的に参加していく、「市民参加」の推進が非常に重要になる。本講義では、「広義の市民参加」＝社会（市民）活動への参加、「狭義の市民参加」＝自治体等の政策過程への参加の2分野に分けて、それぞれの事例、推進手法、体制などについて学び、理解を深めていく。また、市民参加に関連する概念である、「協働（パートナーシップ）」についてもあわせて取り上げていく。

また、第9回以降、地域づくり・コミュニティビジネス・市民参加等が活発に展開されている東近江市を事例とした学習・研究「東近江学」を実施する。まず、上記活動に関与されている実務家をゲスト講師として招いた講義を受けた後に、少人数グループもしくは個人に分かれて、提示されたテーマにもとづく研究を行い、最終回でその成果を発表する

市民参加・協働に関する知識を獲得すると同時に、現代社会において公共的課題に対して当事者意識をもち積極的に関わる市民をいかに増やしていくことができるか、その方策を明らかにしていくことを目指す。

。

到達目標

（1）市民参加・協働の基本的な概念、意義について理解する
（2）市民参加・協働に関する事例、推進手法、体制などについての知識を獲得する
（3）市民参加型政策・活動を企画（デザイン）するノウハウを獲得する
（4）市民意識の醸成に関心をもち、何かしらの取り組みを実践する姿勢を身に付ける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	レポートを課す。上記目標に関する到達度、課題設定の明確さ、考察内容の独自性などから評価する
上記以外	50	講義ならびにグループ研究等への参加姿勢、小レポートならびにグループ研究の発表内容などから評価する

授業外学習

講義期間中に数回の小レポートを課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『市民の政治学』	篠原一	岩波書店	ISBN-10: 4004308720
2	『まちづくりの実践』	田村明	岩波書店	ISBN-10: 4004306159
3				

前提学力等

履修資格

講義名	市民参加論							担当教員	平岡　俊一
講義コード	1201550	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112ETC202-C								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス	講義の内容、進め方について説明する	2	シラバスをよく確認しておく 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第2回	市民参加とは（1）	市民参加・協働に関する基礎的な概念、必要とされる社会背景について学ぶ	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第3回	市民参加とは（2）	市民参加・協働に関する理論や日本における変遷などについて学ぶ	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第4回	社会活動への参加（1）	主に国内の環境保全活動を題材に、多くの市民を巻き込んだ社会活動の事例、形態、担い手（NPO、協同組合、社会的企業等）について紹	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第5回	社会活動への参加（2）	第4回に続き、社会活動の事例、形態、担い手を学ぶとともに、同活動の推進を支える中間支援組織や促進制度について学ぶ	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第6回	政策過程への参加（1）	主に自治体の環境・都市政策を題材に、政策過程への市民参加に関する事例、手法などを紹介する	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第7回	政策過程への参加（2）	第6回に続き、自治体の環境・都市政策を題材に、政策過程への市民参加に関する事例、手法などを紹介する	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第8回	参加・協働による地域づくり	多様な参加・協働型の取り組みをもとに地域づくりを活発に進めている自治体の事例を紹介し、持続可能な地域づくりの可能性について考	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第9回	東近江学（1）	実務家によるゲスト講義	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第10回	東近江学（2）	実務家によるゲスト講義	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第11回	東近江学（3）	実務家によるゲスト講義	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第12回	東近江学（4）	実務家によるゲスト講義	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第13回	東近江学（5）	グループ研究	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第14回	東近江学（6）	グループ研究、研究発表の準備	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第15回	東近江学（7）	グループ研究の成果発表	2	参考図書などにおいて上記テーマに 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2

担当者から

講義中にグループに分かれてのディスカッションや研究等を実施する予定である。他の受講生との議論等に積極的に参加する姿勢が求められる。

講義名	社会学							担当教員	平岡　俊一
講義コード	1201560	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212ETC306,214BRM298								

授業概要

本講義では、社会学の概念や視点について領域を跨いで幅広く学んでいく。まず、社会学の基本的概念や主要理論などについて学んだ上で、現代社会の諸領域に存在する問題・課題について社会学的な視点から考えていく。講義を通じて、「社会学的想像力」を身に付けるとともに、現代社会の諸問題を社会学的に分析・考察していくための考え方や手法を獲得することを目指す。

定期的に講義で取り上げた内容に関して、その問題構造や解決法などをテーマにした事例研究、グループワーク、小レポートの執筆、小テストなどを行う。

到達目標

(1) 社会学の基本的な概念や主要理論について理解する
(2) 「社会学的想像力」を身に付ける
(3) 現代社会の諸領域における問題・課題について、社会学的な視点から分析・考察する能力を獲得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	レポートを課す。講義内容の理解度、上記目標の到達度などから評価する
上記以外	50	講義・グループワークへの参加姿勢、発言内容、小レポート・小テストの内容などから評価する

授業外学習

講義期間中に数回の小レポート執筆・小テストを課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『テキスト現代社会学[第3版]』	松田健	ミネルヴァ書房	ISBN-10: 4623075583
2	『社会学がわかる事典』	森下伸也	日本実業出版社	ISBN-10: 4534031734
3	『社会学〔第5版〕』	アンソニー・ギデンズ（松尾精文ほか訳）	而立書房	ISBN-10: 4880593508

前提学力等

履修資格

講義名	社会学							担当教員	平岡　俊一
講義コード	1201560	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212ETC306,214BRM298								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス	講義の趣旨や進め方などについて説明する	2	シラバスの内容を十分に確認してお 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第2回	社会学とは	社会学の定義、成り立ち、主要な社会学者について学ぶ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第3回	行為と集団	人間と社会の基礎を成す「行為」、「集団」について学ぶ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第4回	地域社会（1）	私たちにとって非常に身近な存在である「地域社会」について学ぶ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第5回	地域社会（2）	私たちにとって非常に身近な存在である「地域社会」について学ぶ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第6回	文化と比較社会	社会において多様な意味を有する「文化」について学ぶ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第7回	社会階層	多くの社会に存在する何らかの区分「社会階層」について学ぶ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第8回	家族（1）	人間にとって最も身近な集団である「家族」に関連する社会学的な概念や理論について学ぶ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第9回	家族（2）	前回に引き続き「家族」をテーマに、核家族化や少子化、ジェンダーなどに関して今日の日本が抱える諸課題について考える	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第10回	社会的逸脱	「社会的逸脱」について理解するために、関連する社会学的な概念や理論について学んだ上で、「犯罪」や「非行」等に関する社会での捉	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第11回	政治と社会（1）	「政治」をテーマに、なぜ私たちは政治に関心がもてないのか？関わろうとしないのか？悪い印象しか持てないのか？といったことについ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第12回	政治と社会（2）	「政治」をテーマに、なぜ私たちは政治に関心がもてないのか？関わろうとしないのか？悪い印象しか持てないのか？といったことについ	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第13回	福祉と社会（1）	「福祉」について理解するために、関連する社会学的な概念、理論について学んだ上で、今日の日本が抱える高齢化、社会保障などの問題	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第14回	福祉と社会（2）	「福祉」について理解するために、関連する社会学的な概念、理論について学んだ上で、今日の日本が抱える高齢化、社会保障などの問題	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2
第15回	グループワークとまとめ	講義のまとめとして、改めてこれまで学んだ概念や理論を使って、私たちの身近に存在する問題・課題について社会学的に分析してみる	2	参考文献等において上記テーマに関 講義で配布されたレジュメ資料を改	2 2

担当者から

講義中にグループワークを実施する予定である。他の受講生との議論等に積極的に参加する姿勢が求められる。

講義名	社会システム分析設計・演習							担当教員	和田　有朗
講義コード	1201621	単位数	3	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212ETR301								

授業概要

本授業では低炭素社会および循環型社会に向けて「食品ロス」「環境配慮型の自転車利用」「小型家電リサイクル」をテーマに、情報を集め、グループワークを行い、プレゼンテーション手法を学ぶ。さらに、実際にアンケート調査を行い、調査目的、方法、集計、分析といったアンケート調査の方法を実践的に体得する。

到達目標

(1)様々な方法で情報を集め、考えをまとめることができる（発想法）。
(2)グループワークにより考えをまとめることができる（発想法、図解表現法）。
(3)説得力をともなってプレゼンテーションを行うことができる（プレゼンテーション手法）。
(4)アンケート調査の目的、把握内容、方法、集計、分析を報告することができる（ロジカル・シンキング（論理的思考）、図解表現法）。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	到達目標(4)について40%
上記以外	60	到達目標(1)について20% 到達目標(2)について20% 到達目標(3)について20%

※3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
※以下の①～③を成績評価の前提とする。
　①Webアンケート調査の実施、②Webアンケート調査の単純集計・クロス集計結果の提出、③発表

授業外学習

毎回の授業で課題提出を課す。授業中に完成しない場合は宿題となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	問題解決手法の知識	高橋誠	日本経済新聞社	978-4532013417
2	発想法入門	星野匡	日本経済新聞社	978-4532110772
3				

前提学力等

履修資格

講義名	社会システム分析設計・演習							担当教員	和田　有朗
講義コード	1201621	単位数	3	開講期	後期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	212ETR301								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	システムとは	システムとは何かについて概観する。	4	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	1 4
第2回	食品ロス1	課題について情報を集め、個人で考えをまとめる。	4	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	1 4
第3回	食品ロス2	課題についてグループワークを行い、考えをまとめる。	4	予習資料を読んでくる。 グループワークを行い、考えをまと	1 4
第4回	食品ロス3	グループワークでまとめた内容をグループごとに発表する。	4	予習資料を読んでくる。 グループごとに発表した資料を復習	1 4
第5回	環境配慮型の自転車利用1	課題について情報を集め、個人で考えをまとめる。	4	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	1 4
第6回	環境配慮型の自転車利用2	課題についてグループワークを行い、考えをまとめる。	4	予習資料を読んでくる。 グループワークを行い、考えをまと	1 4
第7回	環境配慮型の自転車利用3	グループワークでまとめた内容をグループごとに発表する。	4	予習資料を読んでくる。 グループごとに発表した資料を復習	1 4
第8回	小型家電リサイクル法1	課題について情報を集め、個人で考えをまとめる。	4	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	1 4
第9回	小型家電リサイクル法2	課題についてグループワークを行い、考えをまとめる。	4	予習資料を読んでくる。 グループワークを行い、考えをまと	1 4
第10回	小型家電リサイクル法3	グループワークでまとめた内容をグループごとに発表する。	4	予習資料を読んでくる。 グループごとに発表した資料を復習	1 4
第11回	アンケート調査1（個人）	個人でテーマに沿った調査目的、把握内容を考える。 個人で考えた調査目的、把握内容をもとに、アンケート調査票を作成	4	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、作成	1 4
第12回	アンケート調査2（個人）	Webアンケート調査の方法を学び、実際に個人でWebアンケートを作成する。	4	予習資料を読んでくる。 作成したWebアンケート資料を復習	1 4
第13回	アンケート調査3（個人）	個人でアンケート調査の単純集計およびクロス集計を行い、その内容をまとめる。	4	実際にWebアンケート調査を実施す アンケート調査の単純集計およびク	1 4
第14回	アンケート調査4（個人）	個人でアンケート調査の分析を行い、その内容をまとめる。	4	予習資料を読んでくる。 アンケート調査の分析を行い、その	1 4
第15回	アンケート調査5（個人）	アンケート調査の集計および分析した内容を個人で発表する。	4	予習資料を読んでくる。 個人で発表した資料を復習し、発表	1 4

担当者から

講義名	社会調査実習（政策）							担当教員	平岡　俊一／林　宰司／村上　一真／白木　裕斗
講義コード	1201630	単位数	1	開講期	通年	授業方法	実習		
ナンバリング番号	312ETR301-C,330S0C303,335S0C320								

授業概要

本科目は、社会調査の企画から報告書の作成までを、個人もしくはグループで取り組むことによって、社会調査の全過程を理解できるように実習形式で実施する。調査の準備段階から、調査の実施、さらには調査報告書の執筆を体験することによって、実社会に出てからも社会調査に従事できるような技術を習得することを目的とする。社会調査のテーマ設定から綿密に指導し、現場での調査方法を詳しく説明する。インタビューやアンケートなどの調査手法は、調査対象者の属性の違いを踏まえて、各履修者が検討することになる。

到達目標

社会調査士の資格認定において最後の履修科目となる場合が多いので、社会調査について学べることの集大成を目指す。具体的には、(1)社会調査実施、(2)プレゼンテーション、(3)質疑応答、(4)調査報告書執筆、ができるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	(1)社会調査を実施し、分析・考察することができる 60% (4)調査報告書を執筆することができる 20%
上記以外	20	(2)レジュメを作成し、発表形式の報告ができる 15% (3)他の履修生の発表に対して、コメントを述べることができる 5%

授業外学習

授業時間以外に各自の社会調査について計画し、調査の実施および報告書の作成に従事する。調査の進行状況については随時、授業で報告してもらう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

地域調査法、地域調査法演習、基礎統計、応用統計学Ⅰ、応用統計学Ⅱを受講していなければならない。

履修資格

講義名	社会調査実習（政策）							担当教員	平岡　俊一／林　宰司／村上　一真／白木　裕斗
講義コード	1201630	単位数	1	開講期	通年	授業方法	実習		
ナンバリング番号	312ETR301-C,330S0C303,335S0C320								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス（調査目的と調査倫理の説明）	ガイダンス（調査目的と調査倫理の説明）	1	シラバスの内容を確認しておく 講義で配布されたレジュメ資料を改	0. 0.
第2回	調査方法の説明（先行研究の参照、資料の扱	調査方法の説明（先行研究の参照、資料の扱い方）	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第3回	調査の企画と仮説の構成	調査の企画と仮説の構成	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第4回	調査の項目の選定	調査の項目の選定	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第5回	調査票の作成	調査票の作成	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第6回	調査対象の設定（対象者および対象地域）	調査対象の設定（対象者および対象地域）	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第7回	サンプリングの方法	サンプリングの方法	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第8回	データ分析の方法	データ分析の方法	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第9回	分析結果の表現方法	分析結果の表現方法	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第10回	調査案の報告	調査案の報告	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第11回	調査案の検討	調査案の検討	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第12回	調査修正案の報告	調査修正案の報告	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第13回	調査修正案の検討	調査修正案の検討	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第14回	調査実習のスケジュール作成	調査実習のスケジュール作成	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第15回	社会調査の準備	社会調査の準備	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第16回	調査の実施（調査票の完成）	調査の実施（調査票の完成）	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第17回	調査の実施（調査票の配布）	調査の実施（調査票の配布）	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第18回	調査の実施（調査票への質問の対応）	調査の実施（調査票への質問の対応）	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第19回	調査の実施（調査票の回収）	調査の実施（調査票の回収）	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第20回	関係者への聞き取り	関係者への聞き取り	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第21回	聞き取り調査のまとめ方	聞き取り調査のまとめ方	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第22回	調査票の集計	調査票の集計	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第23回	単純集計結果の検討	単純集計結果の検討	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第24回	集計結果の統計分析	集計結果の統計分析	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第25回	分析結果の検討	分析結果の検討	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第26回	仮説の検証	仮説の検証	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第27回	調査結果のまとめ	調査結果のまとめ	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第28回	調査結果の報告	調査結果の報告	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第29回	報告書の提出方法	報告書の提出方法	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.
第30回	報告書の完成	報告書の完成	1	社会調査協会学生サイト（https: 講義で配布されたレジュメ資料等を	0. 0.

担当者から

講義名	森林環境学							担当教員	野間　直彦
講義コード	1201790	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211STR211,212PEL304,214BRM283								

授業概要

森林環境を理解するために必要となる内容を講義する。地球上での森林の分布パターンと気候の関係、森林の動態・構造、樹木の生活史と種の共存、森林と人間の関わりについて解説する。

到達目標

1)様々な森林に共通して見られるパターンとそれを形成するプロセスについて理解をする。
2）気候・環境による森林の分布、森林の構造と維持機構、森林の生物とそれらの相互作用について理解する。
3）森林への人為の影響について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

必要に応じて課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	森林生態学	日本生態学会	共立出版	ISBN978-4-320-05736-4
2	Plant Ecology: Origins, Processes, Consequences	Paul Keddy	Cambridge university press	ISBN978-1107114234
3	植物の繁殖生態学	菊沢喜八郎	蒼樹書房	ISBN4789130541

寺島一郎ほか著『植物生態学』（朝倉書店）ISBN4-254-17119-6

前提学力等

履修資格

講義名	森林環境学							担当教員	野間　直彦
講義コード	1201790	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211STR211,212PEL304,214BRM283								

授業計画			
回数	テーマ	概要	予習／復習
第1回	森林の分布１	地球上の森林の分布と環境の関係について講義する。	
第2回	森林の分布２	森林の分布と気候変動の関係について講義する。	
第3回	森林の動きを捉える１	森林の遷移について講義する。	
第4回	森林の動きを捉える２	森林における撹乱及びギャップダイナミクスについて講義する。	
第5回	森林の構造と環境を知る1	森林の水平構造について講義する。	
第6回	森林の構造と環境を知る2	森林の垂直構造について講義する。	
第7回	森林の構造と環境を知る3	森林の地下の世界（土壌・微生物）について講義する。	
第8回	樹木の生活史を知る１	植物の繁殖生態学、植物の性表現について講義する。	
第9回	樹木の生活史を知る２	植物の繁殖生態学、植物の送粉・種子散布戦略について講義する。	
第10回	樹木の生活史を知る３	樹木の個体群生態学について講義する。	
第11回	樹種の共存を考える１	競争と種の共存について講義する。	
第12回	樹種の共存を考える２	森林の種多様性とその定量方法について講義する。	
第13回	樹種の共存を考える３	森林の種多様性及び種の共存の理論について講義する。	
第14回	人間活動と森林１	衛星観測による森林の状況の把握やリモートセンシングについて講義する。	
第15回	人間活動と森林２	人類と森林の関わりの歴史・利用について講義する。	

担当者から

講義名	政策計画演習Ⅰ							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201930	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	312BTC401								

授業概要

「問題設定の方法」では、過去の卒業論文を評価することにより、研究という様式の理解とテーマ設定について学ぶ。「研究計画の設計」では、調べて、考えて、書いて、そしてまとめる、という一連の作業でもっとも軽視されがちなこの段階をめぐり、作業目的と作業方法との関連づけを再確認する。「分析と総合化の手順」では、文献資料および基礎的データのリサーチ方法の取得、その読み込みなどを行う。「総合化と見直し」では、問題設定と結論までの直線性と幅の確保に留意する。

到達目標

(1)卒業研究の計画設計にむけた方法論の基礎について、積極的に学び、理解する。
(2)卒業研究の計画設計にむけた準備作業に取り組む。
(3)卒業研究の計画設計について、指導教員が指定する課題に取り組み、それを完成させる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(2)卒業研究の計画設計にむけた準備作業に取り組む。（35%） (3)卒業研究の計画設計について、指導教員が指定する課題に取り組み、それを完成させる。（15%）
上記以外	50	(1)卒業研究の計画設計にむけた方法論の基礎について、積極的に学び、理解する。（50%）

課題への取り組み85%、課題内容15%

到達目標の

授業外学習

1クールの1つのミニレポートを提出する。演習全体が終了したのち、夏期の課題レポートを作成する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「社会調査」のウソーリサーチ・リテラシーのすすめ	谷岡一郎	文春新書	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習Ⅰ							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201930	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	312BTC401								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	ガイダンス、個別クラス分け	ガイダンス、個別クラス分け	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第2回	問題の設定と再構成①	解説・準備作業指示	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第3回	問題の設定と再構成②	解説・全員に課題（卒業研究の再評価）	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第4回	問題の設定と再構成③	個別クラス・課題の点検	1	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第5回	研究計画の設計①	解説・準備作業指示	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第6回	研究計画の設計②	解説・全員に課題（研究計画を立ててみる）	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第7回	研究計画の設計③	個別クラス・課題の点検	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第8回	分析と総合化の手順①	解説・準備作業指示	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第9回	分析と総合化の手順②	解説・全員に課題（仮説を検証できるかどうか）	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第10回	分析と総合化の手順③	個別クラス・課題の点検	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第11回	総合化と見直し①	解説・準備作業指示	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第12回	総合化と見直し②	解説・全員に課題（首尾一貫しているかどうか）	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第13回	総合化と見直し③	個別クラス・課題の点検	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第14回	まとめと質疑	まとめと質疑	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.
第15回	レポート作成の解説	レポート作成の解説	2	担当教員からの指示にもとづいて実 担当教員からの指示にもとづいて実	0. 0.

担当者から

講義名	政策計画演習Ⅱ							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201940	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	312BTC402								

授業概要

前期の6月に、学生が指導を受けたい教員を選ぶ。学生の選択にもとづき、教員1人あたり数名の学生でゼミを構成する。研究室単位で、学生は指導を受ける。学生自ら調査したことを文章化してゼミのなかで発表し、それに対するコメントを受け、それに反論、再考察するというプロセスの繰り返しを通じて、学生は自らの研究テーマを発掘していく。学期の後半になると、学外において現地調査を始める学生が増えてくる。最後に、卒論着手発表会で成果を、パワーポイントを用いて発表する。

到達目標

(1)卒業研究の計画設計にむけた方法論について、配属された研究室の専門分野の知識を理解し、積極的に学ぶ。
(2)卒業研究の着手発表会にむけた準備作業に取り組む。
(3)卒業研究着手発表会で、研究計画や進捗状況を発表する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)卒業研究の計画設計にむけた方法論について、配属された研究室の専門分野の知識を理解し、積極的に学ぶ。（25%） (2)卒業研究の着手発表会にむけた準備作業に取り組む。（25%）

卒論への取り組み 30%　発表形式 20%　発表内容 50%

内容の評価項目：①テーマの独創性、②目的達成の可能性、③研究計画の具体性、④調査の進行度（自分の調査がなされているか），発表の評価項

授業外学習

ゼミでの報告と卒論着手発表会での報告

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要な参考文献は各ゼミで指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要な参考文献は各ゼミで指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習Ⅱ							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201940	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	312BTC402								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	研究室単位でプログラムを決める	研究室単位でプログラムを決める	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第2回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第3回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第4回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第5回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第6回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第7回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第8回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第9回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第10回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第11回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第12回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第13回	同　上	同　上	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第14回	卒論着手発表会①	卒論着手発表会①	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.
第15回	卒論着手発表会②	卒論着手発表会②	2	担当教員の指示にもとづいて実施 担当教員の指示にもとづいて実施	0. 0.

担当者から

講義名	政策計画演習III							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201950	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	412BTC401								

授業概要

研究は「問い」から始まる。それに答えることが研究に他ならない。専門的には、問いを仮説、答える行為を検証と呼んでいる。研究成果の独創性は、仮説の独創性で決まる。仮説をうまく設定して、その検証方法を示すことが研究方法の策定である。ゼミ単位で訓練を受けることにより、この作業の進め方が納得できるようになる。後半の時間で、自ら調査を進め、資料の収集、整理、解析を通じて、自分の思考を開発していく。

到達目標

1)自分が関心をもつ課題について、調査計画を立てることができる。
2)仮説を解明していくために、調査等を通じて必要な資料を収集し、整理・分析することができる。
3)資料の整理、分析によって、自分がたてた仮説を検証することができる。
4)自分の仮説と検証のプロセスについて、人前で報告することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	1)自分が関心をもつ課題について、調査計画を立てることができる。15% 2)仮説を解明していくために、調査等を通じて必要な資料を収集し、整理・分析することができる。15% 3)資料の整理、分析によって、自分がたてた仮説を検証することができる。50%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習III							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201950	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	412BTC401								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	研究計画の作成	研究計画の作成	3		
第2回	研究仮説（目標規定文）の作成	研究仮説（目標規定文）の作成	3		
第3回	研究対象の決定	研究対象の決定	3		
第4回	関連情報の収集	関連情報の収集	3		
第5回	現地調査や文献調査などの調査実施	現地調査や文献調査などの調査実施	3		
第6回	収集した情報の整理	収集した情報の整理	3		
第7回	研究仮説の再検討	研究仮説の再検討	3		
第8回	研究計画と研究仮説の再構築	研究計画と研究仮説の再構築	3		
第9回	プレ調査あるいはプレ分析実施	プレ調査あるいはプレ分析実施	3		
第10回	分析手法の決定	分析手法の決定	3		
第11回	卒論中間発表用の要旨作成とチェック	卒論中間発表用の要旨作成とチェック	3		
第12回	卒論中間発表用の要旨作成とチェック、プレ	卒論中間発表用の要旨作成とチェック、プレゼンテーション資料作成とチェック	3		
第13回	卒論中間発表会1	卒論中間発表会1	3		
第14回	卒論中間発表会2	卒論中間発表会2	3		
第15回	まとめ	まとめ	3		

担当者から

講義名	政策計画演習Ⅳ							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201960	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	412BTC402								

授業概要

設定した仮説を検証するための対象・方法を選び、具体的な調査計画を立てる。また、調査によって得られた情報をどのように分析していくかについて、ゼミ単位の指導から学ぶ。これらの作業を進めることによって、自分が最初に抱いた「問い」に答えることができているだろう。それが、「結論」である。こうした、仮説から結論にいたる一連の流れを論文としてまとめあげる様式や表記方法についても学んでいく。

到達目標

策定した研究計画にもとづき、調査・分析等を実施し、研究を論文としてまとめられる。
1)自分の発表に対する質問やコメントをもとに、当初の仮説を再検討することができる。
2)仮説の再検討にもとづいて、必要な資料の収集・整理・分析をすることができる。
3)資料の整理・分析によって、修正された仮説を検証することができる。
4)仮説の設定から検証に至る研究プロセスを、論文としてまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	1)自分の発表に対する質問やコメントをもとに、当初の仮説を再検討することができる。10% 2)仮説の再検討にもとづいて、必要な資料の収集・整理・分析をすることができる。10% 3)資料の整理・分析によって、修正された仮説を検証することができる。10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習Ⅳ							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201960	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	412BTC402								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	調査分析計画の作成	調査分析計画の作成	3		
第2回	調査対象の確定	調査対象の確定	3		
第3回	調査実施1	調査実施1	3		
第4回	調査実施2	調査実施2	3		
第5回	調査情報の整理	調査情報の整理	3		
第6回	補足調査実施	補足調査実施	3		
第7回	分析開始	分析開始	3		
第8回	分析継続	分析継続	3		
第9回	分析結果の検討	分析結果の検討	3		
第10回	結論の構想	結論の構想	3		
第11回	研究の構成案構築―目次作成―	研究の構成案構築―目次作成―	3		
第12回	結論の作成	結論の作成	3		
第13回	論文執筆1	論文執筆1	3		
第14回	論文執筆2	論文執筆2	3		
第15回	論文執筆3	論文執筆3	3		

担当者から

講義名	政策計画基礎演習Ⅰ							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201961	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	212BTC202								

授業概要

環境政策・計画分野では、社会との関わりの中で課題を発見し解決する力が求められる。本演習では、その基礎的な力として、講義を通じて自らの問題意識を明確化し、現場における調査に向けて問いを立て調査を計画的に実施する力を養うことを目指す。この内容を通じて、社会とのかかわりの中にある環境政策・計画分野を体系的に把握するとともに、その調査の方法を習得し、より高度な演習や卒業研究の取り組みに向けた基礎を築く。

到達目標

(1) 社会の現場における環境政策・計画分野の課題を把握し、問題を設定できるようになる。
(2) 課題解決に向けた適切な調査計画を立案することができるようになる。
(3) 実施しようとする調査の概要・経過をレポートとしてまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	(3) ・・・初回レポート10点+最終レポート20点
上記以外	70	(1) + (2) ・・・少人数クラス各回への取り組み

授業外学習

文献調査と経過報告の準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画基礎演習Ⅰ							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201961	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	212BTC202								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	個別クラス	各少人数クラスゼミでのガイダンス	3		
第2回	研究最前線①	学科教員３名が政策・計画分野の最近の研究について紹介・解説する。	3		
第3回	研究最前線②	学科教員３名が政策・計画分野の最近の研究について紹介・解説する。	3		
第4回	研究最前線③	学科教員３名が政策・計画分野の最近の研究について紹介・解説する。	3		
第5回	研究最前線④	学科教員３名が政策・計画分野の最近の研究について紹介・解説する。	3		
第6回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第7回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第8回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第9回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第10回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第11回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第12回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第13回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第14回	個別クラス	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		
第15回	まとめ	各少人数クラスゼミで課題を絞り込み、調査計画の立案・実施、レポートの作成を行う。	3		

担当者から

講義名	政策計画基礎演習 II							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201962	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	212BTC203								

授業概要

本演習の目的は、卒業研究につながる問題関心を現場から発掘し、育てることである。環境政策・計画学分野の中から関心領域・課題を絞り込み、実際に調査を行いながら各自の専門性を高める。個別クラスの担当教員の指導のもと、それぞれの課題の探求に必要な調査を実施し、レポートとしてまとめ、発表を行う。この演習で得られた経験・成果を卒業研究や進学・就職に繋げていく。

到達目標

(1) 課題解決に向け必要な調査を計画的に実施できるようになる。
(2) 調査内容をレポートとしてまとめられるようになる。
(3) 調査内容をプレゼンテーションにより説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	(1)･･･少人数クラス30点 (2)・・・最終レポート30点
上記以外	40	(3) ・・・発表会のプレゼンテーション及び質疑応答、参加への取り組み40点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて各ゼミで指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画基礎演習 II							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201962	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	212BTC203								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	個別クラス	ガイダンス	3		
第2回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第3回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第4回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第5回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第6回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第7回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第8回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第9回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第10回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第11回	個別クラス	調査の実施、各ゼミでの経過報告・レポート	3		
第12回	全体報告会		3		
第13回	全体報告会		3		
第14回	全体報告会		3		
第15回	全体報告会		3		

担当者から

講義名	政策形成・施設演習							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201970	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112BTC102								

授業概要

学生が自分の進路を定めてそれを達成するために大学時代に何をなすべきか？　この命題への答えを見つけること、すなわち「自分の発見」が、この授業のねらいです。当学科の教員が１週ないし２週の演習を受け持ち、その中で教員の専門分野の最先端を講義・ディスカッションあるいは現場ツアーを通じて学生にやさしく伝達します。学生は各演習に出席した後、あらかじめ指示された課題に関するレポートを１週間以内に提出する。このような作業の繰り返しを通じて次第にアイデンティティが形成されます。

到達目標

学生は自分の進路を定め、それに必要とされる能力を身につける方法を見出す。具体的には、
(1)環境政策の現場に触れ、また環境関連の職業従事者の話を聞き、その実際を理解できる、
(2)環境問題とその解決方法について考え、それをレポートにまとめる能力を高める、
(3)自身の進路について考え始める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標の(1)～(3)それぞれについて、 学外現場演習レポート・報告：10＋10＝20点満点 最終レポートA・B：5点×2＝10点満点
上記以外	70%	到達目標の(1)～(3)それぞれについて、 第1～14回：各回5点満点（5点満点×14回＝70点満点）

授業外学習

レポート提出（第1～14回）、学外現場演習レポート提出・報告（第15回）、最終レポート（2種類）提出。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし（資料配布）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策形成・施設演習							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1201970	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112BTC102								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	講義・ディスカッション	この授業をこう利用しよう/環境政策・計画学科で何を学ぶか	6		
第2回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第3回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第4回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第5回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第6回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第7回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第8回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第9回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第10回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第11回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第12回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第13回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第14回	外部講師による講義／環境関連施設の見学な	具体的な内容は担当教員により提示される。	6		
第15回	まとめ	学外現場演習（イベント、ボランティア参加）の報告会、および、政策形成・施設演習の全体まとめ	6		

担当者から

講義名	政治学Ⅰ							担当教員	松本　浩延※
講義コード	1201980	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212PEL301,235LAH304								

授業概要

本講義の目的は、現代政治学の基礎的知識の修得を通じて、国内外の政治的諸問題について自ら理解し、考察する力を養うことである。本講義を通じて、受講生自らが、政治や社会について考えるときの「手助け」となるような政治学を学ぶ。
以上の目的を達成するにあたり、本講義では、まず、政治の基本概念を取り上げ、過去から現在にかけて政治を位置づけてきた重要キーワードを紹介する。そして、現代の多様な政治現象を分析するために、政治に関わる制度やモデル、事例、争点を学ぶ。日常生活において、市民である私たちと政治が密接に関連していることを理解するために、適宜、時事問題も積極的に取り上げる予定である。
本講義の最終的な目標は、私たちが現代社会を生きていくなかで出会う「政治」を客観的に捉え直し、受講生が市民として主体的な意見を形成できるようになることである。
本講義の内容は、公務員試験（教養試験「社会科学（政治）」や専門試験「政治学」）にも対応しているので、同試験の受験を考えている学生は積極的に受講してもらいたい。

到達目標

（1）市民として政治を考えるために必要な政治学の基礎的知識を修得できるようになる。
（2）現代の政治現象に対する問題意識を持つことができるようになる。
（3）学術的な知識をもとに、自らの考えを整理し、論理的に述べることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	政治に関連する基礎的な知識を正確に修得できているかを確認する。また提示された問題に対して、修得した知識を用いながら、論理的かつ分かりやすく回答できているものを評価する。
レポート課題		
上記以外	30	毎回コメントペーパーを提出してもらいます。

授業外学習

（1）毎回の授業内容について、スライドや自分のノートを用いて復習すること。
（2）新聞やニュースに目を通して政治・社会に関する時事問題に関心を持つこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『政治学　補訂版』	久米郁男、川出良枝、古城佳子、田中愛治、真渕勝	有斐閣	978-4641053779
2				
3				

・各講義テーマに関連した参考書は、講義内で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	政治学Ⅰ							担当教員	松本　浩延※
講義コード	1201980	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212PEL301,235LAH304								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	導入	政治とは何か？	2	政治とは何か？という問いに対し 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第2回	政治の基本概念①	政治と経済	2	政治と経済の関係性・共通点・相違 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第3回	政治の基本概念②	自由と平等	2	自由と平等の意味・関係性について 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第4回	政治の基本概念③	国家と権力	2	国家と権力の意味・関係性について 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第5回	政治の基本概念④	デモクラシー	2	民主主義とは何か？という問いに対 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第6回	政治の基本概念⑤	ナショナリズム	2	ナショナリズムとは何か？という問 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第7回	政治制度と政治過程①	各国の政治制度	2	主要な国の政治制度やその成り立ち 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第8回	政治制度と政治過程②	立法府の制度	2	立法府の役割や意義について考察し 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第9回	政治制度と政治過程③	行政府の制度	2	行政府の役割や意義について考察し 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第10回	政治制度と政治過程④	選挙と選挙制度	2	選挙の役割や現行の選挙制度につい 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第11回	政治制度と政治過程⑤	政党と政党システム	2	政党の役割やイメージ、政党をとり 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第12回	政治制度と政治過程⑥	世論と圧力団体	2	世論とは何か？圧力団体とは何か？ 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第13回	政治制度と政治過程⑦	政治の意識と行動	2	自分自身の政治意識や、身近な政治 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第14回	政治の理論	政治理論の紹介	92	政治理論とは何か？という問いに対 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第15回	まとめ	講義全体の振り返り	2	これまでの講義を通じて浮かんだ疑 講義全体の振り返りを経たうえで、	2 2

担当者から

本講義は、講義形式で実施します。講義内容に関して質問や聞き逃した点があれば、コメントペーパーに記入してください。次週の冒頭で回答します。

講義名	政治学Ⅱ（国際政治を含む）							担当教員	松本　浩延※
講義コード	1201990	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212PEL305,235LAH305								

授業概要

本講義の目標は、政治学を構成する専門分野「政治外交史」と「国際政治」を主に取り上げることで、政治に対する理解を深めていくことである。
現在、我々が日々ニュースなどで耳にする政治に関わる概念や制度の多くは、歴史的に形成されてきた。また、私たちの日常生活は、国内政治のみならず、国際政治の動向から多分に影響を受けている。こうした政治の歴史展開を理解することは、現在の生活をより深く理解することにもつながるのである。
本講義を通じて、政治外交史・国際政治に関する基礎的な知識の修得を目指す。さらに、受講生がグローバルな視点から市民として主体的な意見を形成し、異なる（政治的）意見を理解し尊重できるための知的基盤の形成も目標としている。
本講義の内容は、公務員試験（教養試験「社会科学（政治）」や専門試験「政治学」「国際関係」）にも対応しているので、同試験の受験を考えている学生は積極的に受講してもらいたい。

到達目標

（1）政治外交史・国際関係論の基礎的な知識を修得することができる。
（2）国際政治の仕組みと争点を学び、グローバルな視点で現代の政治を理解できるようになる。
（3）学術的な知識をもとに、自らの考えを整理し、論理的に述べることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	政治外交史・国際政治学に関連する基礎的な知識を正確に修得できているかを確認する。また提示された問題に対して、修得した知識を用いながら、論理的かつ分かりやすく回答できているものを評価する。
レポート課題		
上記以外	30	毎回コメントペーパーを提出してもらいます。

授業外学習

（1）毎回の授業内容について、スライドや自分のノートを用いて復習すること。
（2）新聞やニュースに目を通して政治・社会に関する時事問題に関心を持つこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『国際政治学をつかむ　新版』	村田晃嗣、君塚直隆、石川卓、栗栖薫子、秋山信将	有斐閣	978-4641177222
2				
3				

・各講義テーマに関連した参考書は、講義内で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	政治学Ⅱ（国際政治を含む）							担当教員	松本　浩延※
講義コード	1201990	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212PEL305,235LAH305								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	導入	歴史とは何か？国際政治は国内政治と何が異なるのか？	2	歴史とは何か？という問いに対し 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第2回	国際関係史①	主権国家体制の誕生と国民国家の普及	2	主権国家の誕生と国民国家の役割に 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第3回	国際関係史②	2つの世界大戦から現代まで	2	2つの世界大戦から現代に至るまで 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第4回	日本政治外交史①（戦前期）	戦前期日本の政治と外交	2	戦前日本の政治や外交の歴史につい 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第5回	日本政治外交史②（戦後期）	戦後期日本の政治と外交	2	戦後日本の政治や外交の歴史につい 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第6回	国際政治①	国際秩序	2	国際政治における秩序とは何か？そ 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第7回	国際政治②	国際関係理論	2	国際関係理論にはどのようなものが 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第8回	国際政治③	安全保障と対外政策	2	安全保障とは何か？対外政策とは何 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第9回	国際政治④	国際紛争	2	国際紛争の歴史や動向について、事 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第10回	国際政治⑤	平和と軍縮	2	平和とは何か？という問いに対し 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第11回	国際政治⑥	国際機構・地域機構・非国家主体	2	どのような国際機構や地域機構が存 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第12回	国際政治⑦	国際政治経済	2	国際政治と国際経済の関係性や国際 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第13回	国際社会①	国際社会の諸問題	2	現在の国際社会はどのような問題を 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第14回	国際社会②	現代国際社会の情勢	2	現代の国際社会の情勢について、事 授業内容について、授業内で提示し	2 2
第15回	まとめ	講義全体の振り返り	2	これまでの講義を通じて浮かんだ疑 講義全体の振り返りを経たうえで、	2 2

担当者から

本講義は、講義形式で実施します。講義内容に関して質問や聞き逃した点があれば、コメントペーパーに記入してください。次週の冒頭で回答します。

講義名	卒業研究Ⅰ（環境政策・計画）							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1202441	単位数	3	開講期	前期研究	授業方法	演習		
ナンバリング番号	412BTC403								

授業概要

卒業論文作成に指導教員の指導を受けつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、①オリジナリティ（新規性・独創性）、②有用性（利用できるか）、③論理性（論理が整然としているか）、④完結性（論文として完成しているか）できまる。分析方法として多変量解析やGISなどを習得する。（2015（平成27）年度より開講）

到達目標

(1)学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過した証＝人類の知に新たな知を追加したことを作ること
(2)学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何かを知ること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標を卒業論文で評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究Ⅰ（環境政策・計画）							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1202441	単位数	3	開講期	前期研究	授業方法	演習		
ナンバリング番号	412BTC403								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	研究テーマの模索	研究テーマの模索	9	
第2回	研究仮説の検討	研究仮説の検討	9	
第3回	調査対象の検討	調査対象の検討	9	
第4回	関連研究の調査	関連研究の調査	9	
第5回	検証仮説の作成	検証仮説の作成	9	
第6回	第1回卒業研究中間発表	第1回卒業研究中間発表	9	
第7回	修正作業	修正作業	9	
第8回	調査実施1	調査実施1	9	
第9回	調査実施2	調査実施2	9	
第10回	分析実施1	分析実施1	9	
第11回	分析実施2	分析実施2	9	
第12回	分析結果の検討	分析結果の検討	9	
第13回	結論の構想	結論の構想	9	
第14回	卒業論文の目次案作成	卒業論文の目次案作成	9	
第15回	第2回卒業研究中間発表会	第2回卒業研究中間発表会	9	

担当者から

講義名	卒業研究Ⅱ（環境政策・計画）							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1202442	単位数	3	開講期	後期研究	授業方法	演習		
ナンバリング番号	412BTC404								

授業概要

卒業論文作成に指導教員の指導を受けつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、①オリジナリティ（新規性・独創性）、②有用性（利用できるか）、③論理性（論理が整然としているか）、④完結性（論文として完成しているか）できまる。分析方法として多変量解析やGISなどを習得する。（2015（平成27）年度より開講）

到達目標

(1)学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過した証＝人類の知に新たな知を追加したことを作ること
(2)学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何かを知ること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標を卒業論文で評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究Ⅱ（環境政策・計画）							担当教員	学科教員／井手　慎司／高橋　卓也／香川　雄一／林　宰司／上河原　献二／村上　一真／平山　奈央子／和田　有朗／
講義コード	1202442	単位数	3	開講期	後期研究	授業方法	演習		
ナンバリング番号	412BTC404								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	データ解析1	データ解析1	9	
第2回	データ解析2	データ解析2	9	
第3回	解析結果の検討	解析結果の検討	9	
第4回	再調査あるいは確認作業1	再調査あるいは確認作業1	9	
第5回	再調査あるいは確認作業2	再調査あるいは確認作業2	9	
第6回	卒業論文の目次案作成	卒業論文の目次案作成	9	
第7回	結論の確定	結論の確定	9	
第8回	卒業論文の執筆1	卒業論文の執筆1	9	
第9回	卒業論文の執筆2	卒業論文の執筆2	9	
第10回	卒業論文の執筆3	卒業論文の執筆3	9	
第11回	卒業論文の執筆4	卒業論文の執筆4	9	
第12回	卒業論文の執筆5	卒業論文の執筆5	9	
第13回	卒業論文の要旨作成・プレゼンテーションの	卒業論文の要旨作成・プレゼンテーションの準備	9	
第14回	卒業論文審査会	卒業論文審査会	9	
第15回	卒業論文最終版の作成	卒業論文最終版の作成	9	

担当者から

講義名	地域開発論							担当教員	平山　奈央子
講義コード	1202550	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	212ETC303,214BRM294								

授業概要

地域開発のうち，この授業では『水環境』の視点から約100年の政策変遷を紐解く．具体的には，「①水環境保全に関する国内政策」と「②琵琶湖流域の地域開発と環境保全に関する政策」の歴史について学ぶ．

①水環境保全に関する国内政策では，感染症対策として始まり，近年では公共用水域の環境保全等を目的としている下水処理政策について紹介する．日本の下水処理システムは詳細な区分では10種類以上にも分かれ，複数の担当省庁・部局がそれぞれの事業を行っている．戦前の下水処理の状況や下水道の普及が進まなかった経緯，複数の下水処理方法が出現した歴史について紹介する．

②琵琶湖流域の地域開発と環境保全に関する政策では，まず，1972年から1997年に実施された琵琶湖総合開発とそれに関する滋賀県の地域開発の概要を学んぶ．その上で，水質改善政策が主に進めらていた時代から森林や農地を含む琵琶湖流域の環境保全にシフトした政策変遷について学ぶ．

さらに，水環境政策における市民参加や合意形成のあり方について紹介し，今後のあり方について考える．

到達目標

1．水環境保全に関する国内政策の歴史について理解できる
2．琵琶湖流域の地域開発と環境保全に関する政策の歴史について理解できる
3．水環境政策における住民参加のあり方について考察できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	中間レポート：国内の水環境政策に関するレポート 最終レポート：水環境政策の市民参加に関するレポート
上記以外	60%	小レポート（主要な回で実施）

※レポートについて，提出期限を過ぎた場合は採点しない．

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域開発論							担当教員	平山　奈央子
講義コード	1202550	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	212ETC303,214BRM294								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	導入	時代背景の理解 1900年頃～2020年の社会・暮らし・環境の変化	2		2 2
第2回	水環境政策の変遷	水環境保全に関する政策や法律の概要	2		2 2
第3回	下水処理政策１	戦前から戦後の下水処理の現状	2		2 2
第4回	下水処理政策２	浄化槽と下水道	2		2 2
第5回	下水処理政策３	下水道と農村集落排水事業	2		2 2
第6回	下水処理政策４	下水道の財政システム	2		2 2
第7回	小括	中間レポートの作成	2		2 2
第8回	琵琶湖総合開発1	琵琶湖総合開発の計画段階と実施段階の概要	2		2 2
第9回	琵琶湖総合開発2	水資源開発と環境保全に関する事業の紹介	2		2 2
第10回	琵琶湖総合開発3	滋賀県の地域開発に関する事業	2		2 2
第11回	琵琶湖総合開発4	琵琶湖流域のリゾート開発	2		2 2
第12回	琵琶湖流域の保全１	水質保全から流域環境保全へ	2		2 2
第13回	琵琶湖流域の保全２	多様な主体による琵琶湖保全のための目標や活動	2		2 2
第14回	市民参加・合意形成	水環境保全における市民参加・合意形成の紹介	2		2 2
第15回	総括	最終レポートの作成	2		2 2

担当者から

講義名	地域環境政策論							担当教員	香川　雄一／瀧　健太郎
講義コード	1202580	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM212,212ETC304								

授業概要

環境問題は時代と地域によってさまざまなパターンで発生する。したがって過去の環境政策も具体的な問題に応じて実施されてきた。本授業ではとくに地域や時期による環境政策の違いをいくつかの具体例を紹介しながら説明していく。また環境政策の効果と課題を時代の変遷から眺めていく。具体例では国内の代表的な事例と身近な地域の事例を取り上げることにした。環境政策の理論と環境計画の現実を実際の経験から学んでもらいたい。

到達目標

(1) 環境問題が発生した地域の概要を説明することができる。
(2) 日本における環境問題の歴史的発生パターンを理解ことができる。
(3) 地域における環境政策の成果と課題について検討することができる。
(4) 対象地域を設定して、環境問題の原因・発生過程・対策・課題を批判的に論述することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	・対象地域を設定して、環境問題の原因・発生過程・対策・課題を批判的に論述することができる。（50%）
上記以外	50	・環境問題が発生した地域の概要を説明をすることができる。（25%） ・日本における環境問題の歴史的発生パターンを理解ことができる。（15%） ・地域における環境政策の成果と課題について検討することができる。（10%）

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業内容の予習に関するレポート、授業の理解度を問う課題を出すことがある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

日本の各地方における地誌を理解しておくことが望ましい。

履修資格

講義名	地域環境政策論							担当教員	香川　雄一／瀧　健太郎
講義コード	1202580	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM212,212ETC304								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	地域環境政策についての諸概念	地域の環境政策を理解するために必要な概念の説明	6	
第2回	地域環境政策の原点	足尾銅山の鉱山公害問題と環境政策	6	
第3回	都市環境政策の原点	東京における都市環境問題の発生と環境政策	6	
第4回	工業都市の環境政策（1）	関東地方・川崎における工場公害問題の発生と環境政策	6	
第5回	工業都市の環境政策（2）	中部地方・四日市における工場公害問題の発生と環境政策	6	
第6回	工業都市の環境政策（3）	九州地方・水俣における工場公害問題の発生と環境政策	6	
第7回	地域開発と環境政策（1）	中国／四国地方・瀬戸内海沿岸の地域開発と環境政策	6	
第8回	地域開発と環境政策（2）	北海道･東北地方の地域開発と環境政策	6	
第9回	身近な地域の環境政策（1）	琵琶湖・淀川流域圏の開発と環境政策の歴史① ー 水政策編	6	
第10回	身近な地域の環境政策（2）	琵琶湖・淀川流域圏の開発と環境政策の歴史② ー 森林・農地・都市政策編	6	
第11回	身近な地域の環境政策（3）	琵琶湖・淀川流域圏の開発と環境政策の歴史③ ー 統合的流域管理に向けた取り組み	6	
第12回	地域環境政策の展開（1）	身近な水辺の小さな自然再生 ー 滋賀県の取り組みを中心として	6	
第13回	地域環境政策の展開（2）	環境学習・防災学習最前線 ー 滋賀県の取り組みを中心として	6	
第14回	地域環境政策の展開（3）	参加型計画の展開 ー 滋賀県の取り組みを中心として	6	
第15回	防災文化とまちづくり	防災まちづくりの近代と現代の比較 ー 滋賀県の取り組みを中心として	6	

担当者から

講義名	地域システム論							担当教員	和田　有朗
講義コード	1202640	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	112ETC201-C								

授業概要

地域システム論は人間や人間集団および生活や生産活動の空間、広がりを対象とするが、それらはひとつに統合された主体・広くは環境系という様々な主体間のつながりをもつシステムをなしている。人間の生活や様々な団体・組織の活動とその環境を統合して全体を地域とみなし、その成り立ちと機能を明らかにしていく。国や地方の地域の状態、地域政策のあり方、地域政策の問題点、今後の課題と方向について、事例等を交えて講義する。人間を中心とする自然的、経済的、社会的な複合体を対象とする。

到達目標

(1)大都市圏からコミュニティに至る各空間スケールでの地域の成り立ちと機能を理解できる。
(2)各空間スケールに対応した地域問題の性格とそれへの対応策を理解できる。
(3)地域のガバナンスにおいて重要な役割を果たす自治体の性格と機能を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)(2)(3)について、定期試験で評価する。 (1) 20% (2) 20%
レポート課題		
上記以外	40	到達目標(1)(2)(3)について、課題で評価する。 (1) 10% (2) 20%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	地域システム論							担当教員	和田　有朗
講義コード	1202640	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	112ETC201-C								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	地域システムとは	①地域とは何か、②地域のとらえ方、③存在実体としての「地域」、④地域の特性	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第2回	地域と地域問題の関わり	①地域問題の発生、②地域問題の多様性と複雑性、③地域経済の問題、④地域社会の問題、⑤地域環境の問題	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第3回	都市圏の構造変化	①都市圏と生活圏の変化、②都市と都市圏整備政策、③都市問題と製造業－住工混在問題、④産業集積と住工混在、⑤住工混在問題への取	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第4回	都市圏の地域問題	①都市農業と農地問題、②土地利用の混在問題、③都市農業の実態、④市民農園の普及	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第5回	コミュニティをめぐる地域問題(1)	(1)地域社会組織としての町内会、①町内会単位の地域社会、②近代化と住民組織、③町内会の制度化、④小学校区とコミュニティ	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第6回	コミュニティをめぐる地域問題(2)	(1)コミュニティと防犯、①犯罪機会、②都心部における犯罪分布、③防犯のまちづくり	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第7回	地域格差	①日本の地域間所得格差、②人口構造の地域特性、③大都市のインナーシティ問題、④地方都市中心市街地の空洞化	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第8回	就業構造と地域特性	①産業の空洞化と大都市就業構造の変化、②都市型工業の地方分散とグローバリゼーション、③製造業就業者数の変化、④就労機会の地域	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第9回	サービス経済化と都市の就業問題	①サービス経済化、②減少する人口と就業者、③地方都市の就業構造、④中心商店街の課題	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第10回	産業構造の地域特性	①産業立地の変化と農山漁村の就業問題、②工業の地方分散と農家の多就業化、③工場の海外移転、④公共事業の削減と建設業の農業への	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第11回	産業振興による地域政策	①巨大都市圏の産業集積、②中小都市圏の産業集積、③地域産業政策、④地域ブランド	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第12回	グローバル化と産業空間のネットワーク化	①産業集積と生産ネットワークの広域化、②エネルギー資源の供給構造、③食糧輸入と安全性、④観光立国日本の可能性	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第13回	グローバル化による国際移動・国際交流	①エスニックコミュニティ（民族的コミュニティ）、②外国人労働者の流入、③外国人留学生、④NGOの国際活動	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第14回	地域再生の方法(1)	①地域活性化策の推移、②「地域再生」の考え方、③特区の限界と地域再生、④特区モデルの課題、⑤地域再生ミッションの再構築	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4
第15回	地域再生の方法(2)	①制度スキームの設計、②財政支援措置のあり方、③地域再生税制、④再チャレンジ支援寄附金税制、⑤地域再生税制の活用事例	2	予習資料を読んでくる。 配布資料を熟読し理解を深め、疑問	4

担当者から

講義名	地域調査法							担当教員	香川　雄一
講義コード	1202660	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112BTC201,114BRM196								

授業概要

地域調査と社会調査についての基本的事項を学習する。フィールドワークのための基礎知識を習得することが目的である。社会調査についての歴史や意義を理解するとともに、調査方法の基礎と注意事項について説明する。調査の種類について質的調査と量的調査があることを学んだ後に、それぞれの具体的データについて例示しながら紹介していく。さらに資料やデータの収集から分析に至るまでにどのようなプロセスが必要になるのかを理解していく。

到達目標

(1) 地域調査のために、適切な資料を集めることができ、それらの説明をすることができる。
(2) 地域で発生する問題から、地域調査のために必要なキーワードを導き出すことができる。
(3) 身近な地域について関心を持ち、調査すべき課題を見つけ出すことができる。
(4) 地域調査を準備するために、具体的で実現可能性のある調査計画を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(4) 地域調査を準備するために、具体的で実現可能性のある調査計画を作成することができる。
上記以外	50	(1) 地域調査のために、適切な資料を集めることができ、それらの説明をすることができる。・・・20% (2) 地域で発生する問題から、地域調査のために必要なキーワードを導き出すことができる。・・・10% (3) 身近な地域について関心を持ち、調査すべき課題を見つけ出すことができる。・・・20%

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。３分の１以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業の理解度を問う課題を出す。地形図の購入や統計書の検索を課すことがある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジオ・パルNEO（第2版）	野間晴雄ほか編著	海青社	9784860993153
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

調査法についての文献が読めること

履修資格

講義名	地域調査法							担当教員	香川　雄一
講義コード	1202660	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	112BTC201,114BRM196								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	ガイダンス	大学で地域調査を学ぶ理由を説明する。	6	
第2回	地域調査・社会調査の意義（社会調査の目	地域調査や社会調査がどのような目的で実施されているか、調査の意義という観点から説明する。	6	
第3回	地域調査・社会調査の歴史および種類	過去の地域調査や社会調査の歴史や種類を実際の調査例から紹介する。	6	
第4回	資料の利用方法（文献）	調査において文献をどのように利用するのかを説明する。	6	
第5回	資料の利用方法（地図）	調査において地図をどのように利用するのかを説明する。	6	
第6回	情報検索の方法	地域調査と社会調査における情報検索の方法を説明する。	6	
第7回	基本文献の紹介	地域調査と社会調査の基本文献を紹介する。	6	
第8回	統計の種類（国勢調査と官庁統計）	代表的な統計の種類を紹介する。	6	
第9回	統計の利用（統計的調査と事例研究法）	統計の利用方法を紹介する。	6	
第10回	資料と統計の組み合わせ	集めた資料と統計データをどのように組み合わせていくかを説明する。	6	
第11回	地域調査・社会調査の準備（調査方法論と調	地域調査や社会調査の実施に当たっての心構えを説明する。	6	
第12回	地域調査・社会調査の種類（実際の調査例…	調査方法が参考となる実際の調査例を紹介する。	6	
第13回	地域調査・社会調査の方法（調査票調査およ	地域調査や社会調査の方法を考える。	6	
第14回	データの収集から分析へ（量的調査と質的調	調査後のまとめ方について説明する。	6	
第15回	授業のまとめ	各自が調査計画をつくるにあたっての注意事項を説明する。	6	

担当者から

講義名	地域調査法演習							担当教員	香川　雄一
講義コード	1202670	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	112BTC202-C								

授業概要

実際に地域調査や社会調査を扱っている研究例から調査の実施方法を学んでいく。さまざまな資料やデータがどのようにして収集され、分析されているのかを具体的に解説する。先行研究例にならって、調査目的や調査方法の決め方、調査企画と調査設計の作り方について習得していく。調査方法に関しては、準備から実施、分析に至る前の過程をサンプリング方法やデータのコーディング方法にも触れつつ具体的に説明する。インタビューの仕方やフィールドノートの作成方法についても解説する。

到達目標

(1) 地域調査の準備について、目的・方法・企画・地域概要の説明をすることができる。
(2) 地域調査の実例を学ぶために、グループワークにより先行調査の内容を報告することができる。
(3) 適切な調査対象の選択と、サンプリングの方法について理解することができる。
(4) 地域調査を準備するために、具体的な対象を想定した質問調査票を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(1) 地域調査の準備について、目的・方法・企画・地域概要の説明をすることができる。・・・25% (4) 地域調査を準備するために、具体的な対象を想定した質問調査票を作成することができる。・・・25%
上記以外	50	(2) 地域調査の実例を学ぶために、グループワークにより先行調査の内容を報告することができる。・・・30% (3) 適切な調査対象の選択と、サンプリングの方法について理解することができる。・・・20%

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。３分の１以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

調査を準備するための宿題を出す。グループ別に授業時の作業課題を出す。個人別にアンケート調査票を作成する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新・社会調査へのアプローチ	大谷信介ほか編著	ミネルヴァ書房	9784623066544
2				
3				

前提学力等

地域調査法を受講していること

履修資格

講義名	地域調査法演習							担当教員	香川　雄一
講義コード	1202670	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	112BTC202-C								

授業計画				
回数	テーマ	概要		予習／復習
第1回	ガイダンス	調査票調査の概要を説明する。	3	
第2回	地域調査・社会調査の実例から学ぶこと	調査票調査の実例を紹介する。	3	
第3回	調査目的を考える	各自が調査票調査の調査目的を考える。	3	
第4回	調査方法の決め方	各自が調査票調査の調査方法を考える。	3	
第5回	調査の企画と設計	各自が調査票調査の企画を設計する。	3	
第6回	調査対象のサンプリング（全数調査と標本調	調査対象のサンプリング方法を説明する。	3	
第7回	調査の実施方法（1）	グループワークで調査の実施方法を検討する。	3	
第8回	調査の実施方法（2）	グループワークで調査の実施方法を検討する。	3	
第9回	調査の実施方法（3）	グループワークで調査の実施方法を検討する。	3	
第10回	調査の実施方法（4）	グループワークで調査の実施方法を検討する。	3	
第11回	調査票の作成方法	調査票の作り方を説明する。	3	
第12回	調査の準備（調査票・質問文の作り方）	カバーレターの書き方を説明する。	3	
第13回	仮説の構成	調査票調査における仮説の作り方を説明する。	3	
第14回	データ分析の視点	調査データの分析方法を説明する。	3	
第15回	授業のまとめ	調査票調査の計画作成方法を説明する。	3	

担当者から

講義名	地球環境システム論							担当教員	上河原　献二
講義コード	1202710	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM213,212ETC307,214BRM286								

授業概要

人間活動の巨大化が地球環境システムに卓越的影響を与える時代『人新世』を迎えている。
本講義では、今日77億人に達した人類の活動に伴って地球環境システムがどのように変化してきたのかを概観した上で、人類の最重要課題の1つである地球環境問題とその改善のための地球環境条約等の国際協力制度につき、多面的に検証し、理解を深める。そして、地球環境問題の解決と持続可能な社会の構築に向けた方策を考えるための能力を養う。
キーワード：地球環境問題、気候変動、持続可能な発展、食糧生産と環境、国際協力制度
昨年度の講義資料をONEDRIVE上に掲示するので、各講義前に読むこと（リンクは履修登録者に対して４月上旬に通知する。）。

到達目標

(1) 何が地球環境システムを変化させてきたのかについて理解し基本的な説明ができるようになる。
(2) 地球環境システムの現状について理解し基本的な説明ができるようになる。
(3) 地球環境システムを保全する政策について理解し基本的な説明ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	65%	課題図書に関するレポート（３回）（４５％） 目標１（１５％）、目標２（１５％）、目標３（15％）
上記以外	35%	レスポンスペーパー（15%）：各目標（5%） 中間テスト（２０％）：目標１（5%）、目標２（10%）、目標３（5%）

①講義出席10回以上、②最終レポート提出が単位取得要件となる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「関連する画像・文書」の添付文書を参照

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	eco検定公式テキスト	東京商工会議所	日本能率協会マネージメントセンター	978-4-8207-4924-0
2	生態系サービスと人類の将来	Millennium Ecosystem Assessment	オーム社	978-4-274-20380-0
3	地球をめぐる不都合な物質	日本環境化学会編	講談社	978-4-06-516393-1

気候変動に関する政府間パネル（第５次報告書）の「政策形成者向け要約」が政府のwebサイトに形成されている。

前提学力等

地球環境問題とそれに関する国際社会の対応についての基礎知識を身に付けておくことが望ましい。そのため、日常において新聞で地球環境問題に関するニュースを読んでおくことを勧める。

履修資格

講義名	地球環境システム論							担当教員	上河原　献二
講義コード	1202710	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM213,212ETC307,214BRM286								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	地球環境システム論	①地球環境システム論とは何か？②人間活動の巨大化、③地球環境の有限性、④国際社会の対応	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第2回	オゾン層とその保護（その１）	①オゾン層とは、②オゾン層の元応、③オゾン層破壊の仕組み、④オゾン層破壊の影響、⑤オゾン層破壊に関する科学論争	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第3回	オゾン層とその保護（その２）	①オゾン層保護のためのウィーン条約、②オゾン層破壊物質に関するモントリオール議定書（評価パネル、規制とその強化、基金）、③最	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第4回	気候変動とその対策（その１）	①気候変動の状況、②気候変動の将来予測、③気候変動の影響、④国際科学評価の仕組み	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第5回	気候変動とその対策（その２）	①国連気候変動枠組条約、②京都議定書、③マラケシュ合意とその対策、④京都議定書の実施状況	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第6回	気候変動とその対策（その３）	①コペンハーゲン合意、②パリ協定、③トランプ政権下のアメリカの対応、④オゾン層保護対策と気候変動対策の違いはなぜか？⑤日本は	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第7回	生物多様性とその保全（その１）	地球の生物の多様な発展、②生物多様性の恵み、③生物多様性の喪失	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第8回	中間まとめ	授業の中間まとめとしてテストを行うとともに、その内容を解説する。	2	第７回までの講義資料を再度読んで 中間まとめのテストに出た事項につ	2 2
第9回	生物多様性とその保全（その２）	①生物多様性条約、②バイオセーフティーに関するカルタヘナ議定書、③遺伝子資源に関する名古屋議定書	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第10回	野生動植物種の国際貿易管理	①ワシントン条約の仕組み、②ワシントン条約の背景と経緯、③野生動植物貿易管理の成功例（ワニ・ビクーニャ）、④野生動植物貿易管	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第11回	海洋水産資源とその管理	①地球の海洋漁獲量の推移、②資源評価の状況、③国際的な漁獲構造変化、④日本の立場の変化、⑤公海漁業管理体制と「責任ある漁業」	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第12回	廃棄物・再生資源の国際取引と管理	①廃棄物の国際的な増大、②廃棄物・再生資源の国際取引の状況、③廃棄物・再生資源の国際取引による環境問題の事例、④バーゼル条約	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第13回	地球規模の化学物質汚染とその対策	①「沈黙の春」、②残留性有機汚染物質とは、③残留性有機汚染物質は地球環境をどのように汚染しているのか？④POPs条約制度	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第14回	地球規模の食糧供給システムとその環境影響	①食料供給システムを支える地球環境システムは、②人類はどのようにして75億の人口を支えるようになったのか、そしてその影響は、③	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2
第15回	越境大気汚染	①越境大気汚染とは、②越境大気汚染の日本への影響、③東アジアにおける大気汚染の状況、④東アジアにおける国際協力	2	昨年度の講義資料を読むこと 講義中に紹介する参考文献を読むこ	2 2

担当者から

講義名	動物生態学							担当教員	高倉　耕一
講義コード	1202750	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312PEL305,214BRM262								

授業概要

生物社会における個体・個体群・群集の各階層における現象を取り扱う行動生態学・個体群生態学・群集生態学を概観し、生態現象をもたらし維持しているメカニズムとそのプロセスについて講義する。生物群集の成立要因として議論されている仮説について、最近の論争を含めて紹介する。

到達目標

(1) 進化生物学的な視点から、動物の行動およびその他の形質の適応進化をもたらすメカニズムについて理解し、それにもとづいて生物現象を説明したり仮説を立てたりすることができる。
(2) 個体群生態学における基本的な数理モデルについて理解し、それらの性質および解析法について説明することができる。また、現実の現象との関連についても説明することができる。
(3) 群集生態学における基本的な数理モデルについて理解し、それらの性質および解析法について説明することができる。また、現実の現象との関連、および最新の仮説についても説明することができる
(4) 動物生態学における研究法・調査法の基礎について理解し、それぞれの適用可能性と限界について説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	生態学の主要テーマに関する基本的な理解、およびその知識の具体的な運用能力を問う。
レポート課題	50	講義内容の振り返りを行う。また、与えられた課題に対して、適切な資料を検索・引用できる能力、それを読み解き説得力のある議論を展開できる能力を問う。
上記以外		

感染症流行等の状況によっては、期末試験を他の課題で代用するなどの変更が生じる場合がある。

授業外学習

3回程度のレポート課題を課す。予習課題を課すことがある。
メディア（TVプログラム、ネットのニュース記事等)の生物・環境関連記事に対し日頃から関心を持ち、批判的に視聴することを求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生態学	ベゴンほか	京都大学学術出版会	978-4876985791
2	行動生態学 原著第4版	デイビスほか	共立出版	978-4320057333
3	繁殖干渉	高倉・西田	名古屋大学出版会	978-4815809256

前提学力等

履修資格

講義名	動物生態学							担当教員	高倉　耕一
講義コード	1202750	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	312PEL305,214BRM262								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	序論：生態学とは何か、生態学の定義と分	生態学の目的について理解する。生態現象および生態学における階層構造について理解し、生態学における各分科とその目標、および分科	2	授業の内容を整理し、理解する。	4
第2回	適応進化と最適戦略	生物の適応進化についてその仕組を理解する。動物の様々な行動や形質は、適応度を最大化する戦略として選択されたものであることを理	2	様々な適応進化について調べる。 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第3回	最適採餌理論	餌パッチ利用における最適戦略を題材に、限界値定理について理解する。生態学のあらゆる場面で現れるトレードオフとその解決法を、卵	2	自身の潮干狩りや栗拾いなどの経験 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第4回	パッチ滞在時間、最適卵サイズ、表現型可塑	まず「2種の餌がある場合に、どの餌を食べるべきか？」という問題をモデル化し、それをn種の餌に拡張して最適採餌理論を導出する。	2	学内や自宅近辺で、シジュウカラな 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第5回	進化的に安定な戦略1：ゲーム理論入門	ゲーム理論入門。ある戦略の適応度が他個体の戦略に影響をうける場合、どのような戦略が安定なのかについて、代表的なゲームを例に理	2	囚人のジレンマゲームを復習する。 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第6回	進化的に安定な戦略2・Fisher性比	適応進化のもう一つの原理である進化的安定戦略ESSの例として、今回は進化的に安定な性比（Fisher性比）およびその例外を理解する。	2	ヒトにおける出生時性比とその理由 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第7回	性選択1：オス間闘争とメスによる選択	性選択における2つの過程、オス間闘争とメスによる選択について知り、性的形質の進化の原理を理解する。優れた操作実験の要件を学	2	動物界における様々な性的二型につ 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第8回	性選択2：性役割と性的対立	性役割の逆転現象から、性のあり方を決める要因について理解する。同種のオスとメスでも潜在的に対立関係にあることを理解する。	2	様々な昆虫の交尾行動について調べ 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第9回	個体群動態モデルの基礎：マルサス方程式と	個体群動態を記述する基本的な数理モデル、それらが示す個体群成長のパターンを理解する。	2	高校数学での微分積分についておさ 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第10回	生物間相互作用：ニッチ理論と資源競争1	生物の生活史のあり方を理解する概念としてニッチ概念を学び、もっとも基本的な種間相互作用の一つとして資源競争の性質とその意味を	2	近縁種間で生じている棲み分けや食 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第11回	生物間相互作用：資源競争モデル	資源競争の基本的な性質を記述する数理モデルを理解し、自然界における種間関係に資源競争がおよぼす影響についての理解を深める。	2	同じ餌を食べる動物が共存している 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第12回	生物間相互作用：食う-食われる関係と個体群	食う－食われる生物の関係を単純なモデルで考え、現実と似ているところ異なるところを明らかにする。捕食－被食関係を安定化させるメ	2	オオヤマネコの餌やカワリウサギの 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第13回	生物間相互作用：捕食回避・寄生・共生	捕食被食関係の実際について。共生関係を進化的な視点から問い直す。	2	寄生関係と共生関係についていくつ 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第14回	群集生態学	共生関係のコスト・ベネフィットについて考える。繁殖干渉についてその原理を理解し、実証例について知る。	2	アズキゾウムシとヨツモンマメゾウ 授業の内容を整理し、理解する。	2 2
第15回	動物生態学の研究法と全体まとめ	動物生態学の調査・研究法について実例を上げながら、それぞれの利点・欠点を含めて説明する。これまでの講義の内容を振り返り、各分	2	ハーベストベイスドモデルの応用例 授業の内容を整理し、理解する。	2 2

担当者から

講義資料の掲示、出席、ミニテストなどにTeamsの機能を用います。参加方法は初回講義およびUSPoの講義連絡で説明します。

講義名	廃棄物管理論							担当教員	吉川　直樹
講義コード	1202950	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	312ETC301								

授業概要

資源・廃棄物問題の概略と廃棄物管理の技術・政策の基礎について学ぶ。具体的には、資源の利用と循環、廃棄物問題の歴史、廃棄物処理の法律、廃棄物の処理とリサイクル、処理施設への住民意識、処理コストなどについて講義する。また、各自が興味あるテーマについて調査し発表する（グループまたは個人）。このように、講義を聴くことと、自分で調べて発表・質疑すること、この両面を行うことで廃棄物管理についての理解をより深めることを、ねらいとしている。

到達目標

(1)　廃棄物を適正に管理するために必要な基礎的事項を、説明できること。

(2)　廃棄物管理において各自が興味あるテ-マについて、調査目的・調査方法・調査結果および考察・結論を明確にした、調査・発表・質疑をできること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)については、各回の小課題（小テストまたはレポート）で評価する（60%）。 到達目標(2)については、調査・発表・質疑を前提として、質疑での指摘（教員＋受講者）への対応表、修正パワーポ

特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ごみ問題の総合的理解のために	松藤敏彦	技法堂出版	ISBN : 978-4-7655-3423-9
2				
3				

初回から、教科書を持っていることを前提に授業を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	リサイクル・適正処分のための廃棄物工学の基礎知識	田中信壽(編著)	技報堂出版	4765531899
2	SDGs時代の食・環境問題入門	吉積 巳貴，島田 幸司，天野 耕二，吉川 直樹	昭和堂	9784812221037
3				

前提学力等

特にないが、後半の学生発表は、パワーポイントで行う。

履修資格

講義名	廃棄物管理論							担当教員	吉川　直樹
講義コード	1202950	単位数	2	開講期	前期	授業方法	①講		
ナンバリング番号	312ETC301								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	資源循環から見る社会	ガイダンス後、資源の循環と廃棄物の現状にいて概説する。	2	予め配付される資料を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第2回	廃棄物問題の歴史	ガイダンス後、廃棄物問題の歴史について講義する。	2	教科書の該当する章を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第3回	廃棄物管理に関わる法制度	廃棄物管理に関わる法律および制度について講義する。	2	教科書の該当する章を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第4回	廃棄物の処理（焼却）	廃棄物の処理（焼却）について講義する。	2	教科書の該当する章を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第5回	廃棄物の処理（埋立）	廃棄物の処理（埋立）について講義する。	2	教科書の該当する章を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第6回	廃棄物のリサイクル（総論）	廃棄物のリサイクル（総論）について講義する。	2	教科書の該当する章を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第7回	廃棄物のリサイクル（容器包装）	廃棄物のリサイクル（容器包装）について講義する。	2	教科書の該当する章を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第8回	廃棄物処理施設への住民意識	廃棄物処理施設への住民意識について講義する。	2	教科書の該当する章を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第9回	廃棄物処理のコストと有料化	廃棄物処理のコストとごみ処理有料化施策について講義する。	2	教科書の該当する章を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第10回	学生発表に向けた調査	学生発表に向けたテーマの検討と調査を実施する。	2	学生発表のテーマ候補について考え テーマを決定するとともに調査を進	4
第11回	リサイクルは「環境にやさしい」のか？	ライフサイクルアセスメント（LCA）による廃棄物管理の環境影響評価について説明する。	2	予め配付される資料を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第12回	食品廃棄物問題とプラスチック廃棄物問題	近年問題となっている、食品廃棄物問題とプラスチック廃棄物問題について概説する。	2	予め配付される資料を読んでおく 授業内容を確認するとともに小課題	4
第13回	学生発表1	学生発表および質疑を実施する。	2	調査と発表準備を進める 発表と質疑内容を振り返り、よりよ	4
第14回	学生発表２	前回に続いて、学生発表および質疑を実施する。	2	調査と発表準備を進める 発表と質疑内容を振り返り、よりよ	4
第15回	学生発表３およびまとめ	前回に続いて、学生発表および質疑を実施するとともに、授業全体のまとめを行う。	2	調査と発表準備を進める 発表と質疑内容を振り返り、質疑で	4

担当者から

講義名	ファシリテーション技法・演習							担当教員	平山　奈央子
講義コード	1203061	単位数	3	開講期	後期	授業方法	③ア		
ナンバリング番号	112ETR201-C								

授業概要

ファシリテーションとは，集団による問題解決，アイディア創造などの現場において，それらの話し合いをスムーズにそして創造的に進むように意見や想いの交通整理をすることを意味する．このファシリテーションの方法によって，話し合いから生み出される成果や参加者の納得度・満足度が大きく異なる．そのため，ファシリテーションには技（技術）と頭（思考）と心（心構え）が必要である．
この授業では，
前半は，「場のデザインのスキル」「対人関係のスキル」を段階的に学び，意見を引出し，収束させるまでのファシリテーションについて実践できる状態にする．
後半は，主に「構造化のスキル」として議論の可視化について学ぶ．
本講義で身に付けたファシリテーションの基礎を独自のスキルとして確立することで，行政の計画作りや地域課題解決のための様々な活動において多様な主体の参画の場づくりのために応用することができる．

到達目標

（1）ワークショップを企画することができる（場のデザインのスキル）30%
（2）意見を引出し，自分の言葉で整理することができる（対人関係のスキル）40%
（3）話し合いの内容を可視化することができる（構造化のスキル）30%

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	課題
上記以外	80	各回の取り組み状況 ファシリテーションスキル習得レベルの確認（第12回から第15回）

授業外学習

ファシリテーションが必要な現場は多くあります．自分自身の活動の中から積極的に現場を探し，実践することを勧めます．

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ファシリテーション技法・演習							担当教員	平山　奈央子
講義コード	1203061	単位数	3	開講期	後期	授業方法	③ア		
ナンバリング番号	112ETR201-C								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	概論	ファシリテーションとは何か ファシリテーターが担う役割・必要性	4		3 2
第2回	事例紹介	地域ワークショップの事例	4		3 2
第3回	対人関係のスキル1	コミュニケーションの基本	4		3 2
第4回	対人関係のスキル2	参加者の意見や思いを引き出す手法	4		3 2
第5回	場のデザインのスキル1	発言しやすい環境を作る（アイスブレイク）	4		3 2
第6回	場のデザインのスキル2	「場」をデザインするためのステップ	4		3 2
第7回	場のデザインのスキル3	「場」をデザインするための事前準備	4		3 2
第8回	構造化のスキル1	議論の構造化の基本的手法	4		3 2
第9回	構造化のスキル2	議論の構造を視覚的に表現する	4		3 2
第10回	演習1	議論の組み立て方と論点整理	4		3 2
第11回	演習2	議論の組み立て方と論点整理	4		3 2
第12回	実践1	ワークショップデザインとファシリテーションの実践	4		3 2
第13回	実践2	ワークショップデザインとファシリテーションの実践	4		3 2
第14回	実践3	ワークショップデザインとファシリテーションの実践	4		3 2
第15回	実践4	ファシリテーションの評価と全体のまとめ	4		3 2

担当者から

講義名	法学概論（国際法を含む）							担当教員	坂田　雅夫※
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212PEL302,137ILA202								

授業概要

この授業では法律に関する基本知識を講義します。隣の人が自分の家の壁を壊した。怒って訪問しても、のらりくらりとして、金を払うどころか、謝りさえしない。訴えてやりたいけど、どうすれば良いのか。ある朝、家にいきなり警察が来て、心当たりがないことで、逮捕された、自分はどうなってしまうのか。こういった、本当は余り身近に来てほしくないけど、運が悪ければいつかやってくる厄介ごと。皆さんが思い浮かべる法律とは、こうした問題にからむものばかりでしょう。もちろん、こういう問題もこの授業では取り上げます。それ以外にも法律は、皆さんの日常生活にいろいろと深く結びついています。ニュース、街角、そして日常生活でみるいろいろな問題や単語が法律と結びついているのか理解してもらえるのがこの授業の目標です。

又、この授業では国際法についても講義します。国際問題が我々の生活や社会にどのように関係するのか、取り上げていきます。

到達目標

（1）ニュースで出てくる法律関係の用語を理解できるようになる。
（2）公務員試験の法律・政治学関係の問題に対する勉強を始めるに当たって、その前提となる基礎的知識を習得する
（3）上述の諸知識の繋がりを適切な文章により説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

初回講義時に指示

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	判例法学	西村健一郎・他	有斐閣	9784641184046
2				
3				

授業で取り上げる判例などが要領よく纏まっていて良い本なのだが、いかんせん古くなってきています。より新しい判例は、授業時に補足していき

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	法学概論（国際法を含む）							担当教員	坂田　雅夫※
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	212PEL302,137ILA202								

授業計画					
回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	イントロダクション	講義内容の概説	2時	シラバスを読み込む、テキストの全	4
				シラバスを読み込む、テキストの全	2
第2回	裁判所や警察に行くことになったら	日本の裁判警察制度の概要	2時	テキストの序章第2節を読み込む。	4
				テキストの序章第2節を読み込む。	2
第3回	民法１	さあ、○○さんを裁判に訴えてみよう。ドラマ「白い巨塔」にみる民事裁判	2時	テキストの第3章第4節を読み込む。	4
				テキストの第3章第4節を読み込む。	2
第4回	民法2	結婚、離婚、遺産	2時	テキスト第2章を読み込む。	4
				テキスト第2章を読み込む。	2
第5回	刑事法	警察に捕まった大変だ・・・	2時	テキスト第5章を読み込む。	4
				テキスト第5章を読み込む。	2
第6回	憲法１（国際法１）	人権（私たちはどんな権利を持っているのか）	2時	テキスト第1章を読み込む。	4
				テキスト第1章を読み込む。	2
第7回	憲法２	国会、裁判所、内閣	2時	テキスト第6章を読み込む。	4
				テキスト第6章を読み込む。	2
第8回	前半の纏め・質問受付	前半を概観し、質問を受け付けます・	2時	テキストを読み込む	4
				テキストを読み込む	2
第9回	国際法２	平和と安全保障１：国際連盟まで	2時	テキスト第7章およびその他指示す	4
				テキスト第7章およびその他指示す	2
第10回	国際法２	平和と安全保障２：国際連合	2時	テキスト第7章およびその他指示す	2
				テキスト第7章およびその他指示す	2
第11回	国際法３（憲法3）	平和と安全保障３：平和維持活動（PKO）	2時	テキスト第7章およびその他指示す	4
				テキスト第7章およびその他指示す	2
第12回	国際法4	国際貿易	2時	テキスト第7章およびその他指示す	4
				テキスト第7章およびその他指示す	2
第13回	国際法5	海外投資	2時	テキスト第7章およびその他指示す	4
				テキスト第7章およびその他指示す	2
第14回	海洋法、日本の抱える領土問題	海に関する国際法。北方領土や竹島のように日本が抱える領土問題	2時	テキスト第7章およびその他指示す	4
				テキスト第7章およびその他指示す	2
第15回	全体の纏め・質問受付	全体を概観し、質問を受け付けます。	2時	テキストなどを読み込む	4
				テキストなどを読み込む	2

担当者から

講義名	水環境政策論							担当教員	井手　慎司
講義コード	1203150	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM208,212ETC308,214BRM296								

授業概要

琵琶湖や日本における水環境問題の現状や課題、歴史、保全に取り組んできた行政施策と住民運動の変遷を中心に解説しながら、琵琶湖および国内、世界的な水環境問題の今後の解決にむけた方途について考えていく。
毎回､最後に小テストを実施して講義の理解度を評価する。

到達目標

(1)琵琶湖における水環境問題の現状や課題、歴史を説明できる。
(2)日本における水環境に関する行政施策の変遷を説明できる。
(3)琵琶湖や日本における水環境の保全に関する住民運動の変遷を説明できる。
(4)琵琶湖および国内外の水環境問題の今後の解決にむけた方途について自らの考えを述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	到達目標で示す(1)(2)(3)については定期試験（30%：(1)10%、(2)10%、(3)10%）、(4)については定期試験（5%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	65	到達目標で示す(1)(2)(3)については、小テスト（45%：(1)15%、(2)15%、(3)15%）と課題（15%：(1)5%、(2)5%、(3)5%）、(4)については、課題（5%）で評価する。

課題を2回出す。小テストを毎回実施する。

授業外学習

予習には同科目のTeams上に掲載する前年度の当該講義の講義資料と録画動画を，
復習には同科目のTeams上に掲載する当該講義の講義資料と録画動画を参考にする．

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義資料を同科目のTeams上に掲載する．

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	水環境政策論							担当教員	井手　慎司
講義コード	1203150	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	211FFM208,212ETC308,214BRM296								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	琵琶湖の水環境問題の現状と歴史（１）	琵琶湖の水環境問題の現状と歴史について解説する。 湖と人の持続可能な関わり方とは	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第2回	琵琶湖の水環境問題の現状と歴史（２）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2
第3回	琵琶湖の水環境問題の現状と歴史（３）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第4回	琵琶湖における水環境管理の歴史（１）	琵琶湖における水環境管理の歴史について解説する。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第5回	琵琶湖における水環境管理の歴史（２）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第6回	琵琶湖における水環境管理の歴史（３）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第7回	琵琶湖における住民運動の変遷（１）	琵琶湖における住民運動の変遷について解説する。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第8回	琵琶湖における住民運動の変遷（２）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第9回	日本の水質保全行政の歩み（１）	日本の水質保全行政の歩みについて解説する。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第10回	日本の水質保全行政の歩み（２）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第11回	水環境を守る日本の住民運動の歴史（１）	水環境を守る日本の住民運動の歴史について解説する。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第12回	水環境を守る日本の住民運動の歴史（２）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第13回	水環境を守る環境基幹施設（１）	水環境を守る環境基幹施設について解説する。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第14回	水環境を守る環境基幹施設（２）		2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2
第15回	世界の水問題	世界の水問題について解説する。	2	同科目のTeams上に掲載する前年度 同科目のTeams上に掲載する当該講	2 2

担当者から

講義名	エネルギー変換工学							担当教員	河﨑　澄
講義コード	1300040	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	312PEL306,322THE303								

授業概要

環境負荷低減と省エネルギーのためのエネルギー変換工学に関わる基礎知識と現状を理解することを目的として講義を進める。すなわち，エネルギー形態，変換システム，資源や将来の見通し，風力，太陽光，バイオマスなどの新エネルギーや地球温暖化ガスによる温暖化メカニズムやその低減方法に関して説明する．さらに，ライフサイクルを考慮したエネルギー変換システムの考え方を説明する。

キーワード：エネルギー変換，熱機関，原子力，燃料電池，再生可能エネルギー，カーボンニュートラル

到達目標

(1)現代社会で利用されているエネルギー資源の種類と特徴，およびそれらのエネルギー変換経路を説明できる。
(2)移動用・発電用エネルギーシステムの動作原理を説明でき，与えられた条件の下でエネルギー変換効率を計算できる。
(3)分散型エネルギー供給システムの構成とその導入メリットを説明できる。
(4)太陽光，風力，地熱，バイオマスなどの再生可能エネルギーの原理と特徴を説明でき，与えられた条件の下で発電量を計算できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)～(4)を期末筆記試験により評価する．その割合は各15%×4項目=60%とする．
レポート課題	40	到達目標(1)～(4)を，原則として毎回の講義の最後に行うミニレポートにより評価する．その割合は各10%×4項目=40%とする．
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布する．

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「機械システム工学概論」「熱力学Ⅰ」の単位を修得していることを前提に講義を行う．

履修資格

講義名	エネルギー変換工学							担当教員	河﨑　澄
講義コード	1300040	単位数	2	開講期	後期	授業方法	①授		
ナンバリング番号	312PEL306,322THE303								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習／復習	
第1回	エネルギー・経済・環境に関わる歴史的背景	講義の目的と内容，進め方に関する解説．エネルギー・経済・環境に関わる歴史的背景と現在の課題にかんする解説．	2	エネルギー・経済・環境に関わる歴 ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第2回	化石資源の種類と特徴	石炭，石油，天然ガスの埋蔵量や化学的性質，用途，採掘技術について解説する．	2	現在利用されている化石資源にはど ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第3回	往復動式内燃機関の構造と動作原理	自動車用を中心とした，往復動式内燃機関，および電動ハイブリッド車の構造と動作原理などについて解説	2	往復動式内燃機関の仕組みと動作原 ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第4回	ガスタービン機関，蒸気タービン機関の構造	火力発電用機関であるガスタービン機関，蒸気タービン機関の構造と動作原理，現状と今後の展開について解説	2	ガスタービンエンジン，蒸気タービ ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第5回	コジェネレーションシステム	コジェネレーションシステムの概念と機器構成，エネルギー利用効率について解説	2	コジェネレーションシステムの仕組 ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第6回	ヒートポンプ・冷凍機の構造と動作原理	ヒートポンプ・冷凍機の構造と動作原理，および応用分野について解説	2	ヒートポンプ・冷凍機の仕組みと動 ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第7回	核エネルギー利用技術	原子力発電の原理，核燃料サイクル，放射性廃棄物の処理について解説	2	原子力発電の仕組みと動作原理はど ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第8回	水力発電システム	水力発電システムの原理と役割，発電効率，国内の現状について解説	2	水力発電の仕組みと動作原理はどの ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第9回	燃料電池システム	燃料電池システムの構造と動作原理，および応用分野について解説	2	燃料電池の仕組みと動作原理はどの ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第10回	再生可能エネルギー利用技術(1)太陽光発電	太陽光発電システムの構造と動作原理，発電特性，普及状況とその制御について解説	2	太陽光発電システムの仕組みと動作 ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第11回	再生可能エネルギー利用技術(2)風力発電	風力発電システムの構造と動作原理，発電特性，普及状況とその制御について解説	2	風力発電システムの仕組みと動作原 ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第12回	再生可能エネルギー利用技術(3)海洋エネル	海洋エネルギー発電および地熱発電の仕組みと動作原理，発電特性，および日本における賦存量について解説	2	海洋エネルギー発電および地熱発電 ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第13回	再生可能エネルギー利用技術(4)バイオマスエ	バイオマスエネルギーの種類と日本における賦存量，および製造方法と導入事例について解説	2	バイオマスエネルギーとはどのよう ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第14回	水素エネルギー利用技術	水素の燃料としての特徴と，工業的な製造方法，および貯蔵・変換・利用技術について解説	2	水素エネルギーとはどのようなもの ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2
第15回	スマートグリッド	スマートグリッドの概念と構成に関する解説	2	スマートグリッドとはどのようなも ・講義内ミニレポートの解答例を参	2 2

担当者から